

官
事
號

大正十一年三月二十三日

木曜日

印 刷

局

第四十五回衆議院議事速記録第三十三號	帝國監會衆議院議事速記録第三十三號
大正十一年三月二十二日(水曜日)午後一時十五分開議	大正十一年三月二十二日(水曜日)午後一時十五分開議
議事日程 第三十二號 大正十一年三月二十二日	議事日程 第三十二號 大正十一年三月二十二日
午後一時開議	午後一時開議
第一 東京帝國大學臨時政府支出金額入三關スル法律案(前川虎造君外四名提出)	第一 東京帝國大學臨時政府支出金額入三關スル法律案(前川虎造君外四名提出)
第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉	第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第三 増加恩給等ノ増額ニ關スル法律案(政府提出)	第三 增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案(政府提出)
第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉	第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第五 狩獵法中改正法律案(政府提出)	第五 狩獵法中改正法律案(政府提出)
第六 (第二號)大正十一年度歲入歲出總豫算(追加案)	第六 (第二號)大正十一年度歲入歲出總豫算(追加案)
第七 (特第一號)大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(約ヲ爲スヲ要スル件)	第七 (特第一號)大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(約ヲ爲スヲ要スル件)
第八 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約(第三號)大正十一年度歲入歲出總豫算	第八 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約(第三號)大正十一年度歲入歲出總豫算
第九 (第三號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案	第九 (第三號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案
第十 (第四號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案	第十 (第四號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案
第十一 (特第二號)大正十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案(第五號)	第十一 (特第二號)大正十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案(第五號)
第十二 (第五號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案	第十二 (第五號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案
第十三 辯護士法改正法律案(鶴澤總明君外六名提出)	第十三 辯護士法改正法律案(鶴澤總明君外六名提出)
第十四 軍機保護法中改正法律案(安藤正純君外二名提出)	第十四 軍機保護法中改正法律案(安藤正純君外二名提出)
第十五 關稅定率法中改正法律案(鈴木鉉藏君外一名提出)	第十五 關稅定率法中改正法律案(鈴木鉉藏君外一名提出)
第十六 水先法中改正法律案(阪上貞信君提出)	第十六 水先法中改正法律案(阪上貞信君提出)
第十七 非役壯丁稅法案(荒川五郎君外十一名提出)	第十七 非役壯丁稅法案(荒川五郎君外十一名提出)
第十八 第一讀會ノ續(委員長報告)	第十八 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十九 家祿引直處分法案(久下豊忠君外九名提出)	第十九 家祿引直處分法案(久下豊忠君外九名提出)
第二十 所得稅法中改正法律案(岩本平蔵君外十一名提出)	第二十 所得稅法中改正法律案(岩本平蔵君外十一名提出)
第二十一 災害地地租免除法中改正法律案(植場平君外四名提出)	第二十一 災害地地租免除法中改正法律案(植場平君外四名提出)
第二十二 「ローマ」字音及ニ關スル建議案(松本君平君外七名提出)	第二十二 「ローマ」字音及ニ關スル建議案(松本君平君外七名提出)
第二十三 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案(仙波太郎君外二名提出)	第二十三 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案(仙波太郎君外二名提出)
第二十四 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案(陣軍吉君外三名提出)	第二十四 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案(陣軍吉君外三名提出)
第二十五 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外四名提出)	第二十五 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外四名提出)
第二十六 群山港修築國營ニ關スル建議案(牧山耕藏君外四名提出)	第二十六 群山港修築國營ニ關スル建議案(牧山耕藏君外四名提出)
第二十七 神社調查會設置ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)	第二十七 神社調查會設置ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)
第二十八 官國幣社國庫供進金撥額ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)	第二十八 官國幣社國庫供進金撥額ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)
第二十九 府縣社以下神社經費國庫補助ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)	第二十九 府縣社以下神社經費國庫補助ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)
第三十 牧野法制定ニ關スル建議案(吉良元夫君提出)	第三十 牧野法制定ニ關スル建議案(吉良元夫君提出)
第三十一 三國港築港ニ關スル建議案(野村勘左衛門君外四名提出)	第三十一 三國港築港ニ關スル建議案(野村勘左衛門君外四名提出)
第三十二 速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案(木下成太郎君外一名提出)	第三十二 速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案(木下成太郎君外一名提出)
第三十三 國籍法中改正ニ關スル建議案(植原悅二郎君提出)	第三十三 國籍法中改正ニ關スル建議案(植原悅二郎君提出)
第三十四 松江隱岐間海底電信電話增設速成二關スル建議案(若林德懋君外四名提出)	第三十四 松江隱岐間海底電信電話增設速成二關スル建議案(若林德懋君外四名提出)
第三十五 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成二關スル建議案(安原仁兵衛君外一名提出)	第三十五 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成二關スル建議案(安原仁兵衛君外一名提出)

第十八 官吏恩給及遣族扶助料增額ニ關スル法律案(前川虎造君外四名提出)	第十八 官吏恩給及遣族扶助料增額ニ關スル法律案(前川虎造君外四名提出)
第十九 家祿引直處分法案(久下豊忠君外九名提出)	第十九 家祿引直處分法案(久下豊忠君外九名提出)
第二十 所得稅法中改正法律案(岩本平蔵君外十一名提出)	第二十 所得稅法中改正法律案(岩本平蔵君外十一名提出)
第二十一 災害地地租免除法中改正法律案(植場平君外四名提出)	第二十一 災害地地租免除法中改正法律案(植場平君外四名提出)
第二十二 「ローマ」字音及ニ關スル建議案(松本君平君外七名提出)	第二十二 「ローマ」字音及ニ關スル建議案(松本君平君外七名提出)
第二十三 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案(仙波太郎君外二名提出)	第二十三 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案(仙波太郎君外二名提出)
第二十四 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案(陣軍吉君外三名提出)	第二十四 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案(陣軍吉君外三名提出)
第二十五 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外四名提出)	第二十五 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外四名提出)
第二十六 群山港修築國營ニ關スル建議案(牧山耕藏君外四名提出)	第二十六 群山港修築國營ニ關スル建議案(牧山耕藏君外四名提出)
第二十七 神社調查會設置ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)	第二十七 神社調查會設置ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)
第二十八 官國幣社國庫供進金撥額ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)	第二十八 官國幣社國庫供進金撥額ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)
第二十九 府縣社以下神社經費國庫補助ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)	第二十九 府縣社以下神社經費國庫補助ニ關スル建議案(岩崎勤君外十二名提出)
第三十 牧野法制定ニ關スル建議案(吉良元夫君提出)	第三十 牧野法制定ニ關スル建議案(吉良元夫君提出)
第三十一 三國港築港ニ關スル建議案(野村勘左衛門君外四名提出)	第三十一 三國港築港ニ關スル建議案(野村勘左衛門君外四名提出)
第三十二 速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案(木下成太郎君外一名提出)	第三十二 速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案(木下成太郎君外一名提出)
第三十三 國籍法中改正ニ關スル建議案(植原悅二郎君提出)	第三十三 國籍法中改正ニ關スル建議案(植原悅二郎君提出)
第三十四 松江隱岐間海底電信電話增設速成二關スル建議案(若林德懋君外四名提出)	第三十四 松江隱岐間海底電信電話增設速成二關スル建議案(若林德懋君外四名提出)
第三十五 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成二關スル建議案(安原仁兵衛君外一名提出)	第三十五 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成二關スル建議案(安原仁兵衛君外一名提出)

第五十四

京都市内鐵道線路改築ニ關スル建議
案(渡邊昭君外二名提出)

第五十五

古墳發掘並埋藏物處分ニ關スル建議
案(龍野周一郎君外四名提出)

第五十六

「ノール」色素並「カラメル」使用取締ニ
關スル建議案(大林森次郎君外二名提出)

第五十七

千代川改修速成ニ關スル建議案(山
本藤助君外二名提出)

第五十八

國有林野法中改正ニ關スル建議案
(八田宗吉君外二名提出)

第五十九

青年團經費補助ニ關スル建議案(樋
口秀雄君提出)

第六十

營業稅全廢ニ關スル建議案(上田彌
兵衛君提出)

第六十一

鹿兒島縣各離島築港國庫補助ニ關ス
ル建議案(禱苗代君提出)

第六十二

鹿兒島地方裁判所大島支部ノ事務
取扱權限復活ニ關スル建議案(禱苗
代君提出)

第六十三

營業稅法改正ニ關スル建議案(竹上
藤次郎君外二十二名提出)

第六十四

露國政變及西班牙事變ノ爲損害ヲ
被リタル者ノ救濟ニ關スル建議案(佐
々木平次郎君外七名提出)

第六十五

衛生行政機關ノ統一擴大ニ關スル建
議案(山田永俊君外五名提出)

第六十六

藥品新製劑及滋養品等ノ取締ニ關ス
ル建議案(山田永俊君外五名提出)

第六十七

家祿賞典祿給與未濟額給與ニ關スル
建議案(秋亮君外五名提出)

第六十八

硫化染料輸出獎勵ニ關スル建議案
(金光庸夫君提出)

第六十九

(木下謙次郎君外五名提出)

第七十

櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案
(大道寺慶男君外六名提出)

第七十一

古社寺保存法改正ニ關スル建議案
(東京神戶間高速度交通機關設備ニ
關スル建議案(櫻内幸雄君外二名提
出))

第七十二

東京神戸間高速度交通機關設備ニ
關スル建議案(櫻内幸雄君外二名提
出))

第七十三

生絲檢查所擴張ニ關スル建議案(武
藤金吉君外一名提出)

第七十四

宗教法制定ノ調査機關設置ニ關スル
建議案(高見之通君外九名提出)

第七十五

層法改正ニ關スル建議案(早川龍介
君提出)○副議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ガアリマス
〔原田書記官朗讀〕一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
東京帝國大學臨時政府支出金繕入ニ關スル法律案
(第五號)大正十一年度歲入歲出總豫算追加案
(以上三月十八日提出)增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案
(以上三月二十日提出)一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
宗教法制定ノ調査機關設置ニ關スル建議案
(以上三月二十日提出)又今二十二日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議
案ニ對シ承諾スルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受
領セリ大正二年法律第九號中改正法律案(政府提出)
傳染病豫防法中改正法律案(政府提出)裁判所ノ設立ニ關スル法律案(政府提出)
壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案(政府提出)船員職業紹介法案(政府提出)
又今二十二日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議
案ニ對シ承諾スルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受
領セリ大正九年度豫備金支出ノ件
大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支
出ノ件大正九年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件
〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲
載ス〕大正九年度豫備金支出ノ件
〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲
載ス〕大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支
出ノ件大正九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支
出ノ件

一去二十日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於
テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

一三 平野 光雄君 二一五 清水 市太郎君
二一 大竹 貢一君 五九 高木 正年君
六〇 鈴木 久次郎君 六五 齋藤 宇一郎君
六六 村山 喜一郎君 三三七 齋藤 己三郎君
三三九 横山 金太郎君 三四一 飯塚 春太郎君
三四六 西川 嘉門君 三四七 宮崎 友太郎君
三四九 川副 綱隆君 三五四 谷津 新八郎君
三五五 野村勘左衛門君 三六四 木下 十四三君
三六五 栗林 五朔君 三六六 吉村 鉄之助君
四〇九 鵜澤 宇八君 四三九 佐藤 啓君
一去十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

土地收用法中改正法律案
下出 民義君 赤田 基一君 國重 政亮君
小山田信義君 本多貞次郎君 宇野 勇作君
森田 基一君

第三 増加恩給等ノ増額ニ關スル法律案

(政府提出)

第一讀會

增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案

(政府提出)

第一讀會

原田佐之治君 青柳郁次郎君 西澤定吉君
仲田徳三君 川村數郎君 丸山嵯峨一郎君
高木正年君 作間耕造君 佐藤啓君
佐竹庄七君 渡邊昭君 上島益三郎君
取引所法中改正法律案外一件

川原茂輔君

中山佐市君 鈴木隆君

伊澤平左衛門君 木村清三郎君 福井甚三君

坪田十郎君 鳥田俊雄君 渡邊修君

萩内次郎作君 加藤久米四郎君 松井鉄夫君

森田茂君 山邊常重君 武内作平君

鈴木富士彌君 近藤達兒君 奥村千太郎君

一去十八日櫻原神宮第二期宮域擴張及建物修築三

關スル建議案外一件委員阪本素魯哉君辭任二付其

/ 繩國トシテ植竹龍三郎君ヲ片町長尾間電力鐵道

延長ニ付其ノ補闕トシテ山邊常重君ヲ就レモ議長ニ於

テ選定セリ

一去二十日身元保證ニ關スル法律案外三件委員高柳

淳之助君辭任二付其ノ補闕トシテ梅田源君ヲ土地

收用法中改正法律案委員原田佐之治君、赤田堯一

君辭任ニ付其ノ補闕トシテ大石大君、志賀和多利君

ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

一去二十二日土地收用法中改正法律案委員作間耕

一郎君、鈴木周三郎君ヲ、取引所法中改正法律案外

一件委員森田茂君、加藤久米四郎君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ作間耕造君、山本清三郎君ヲ、奈良ニ美

術學校建設ニ關スル建議案外一件委員高草美代藏

君辭任ニ付其ノ補闕トシテ横山勝太

郎君、鈴木周三郎君ヲ、取引所法中改正法律案外

一件委員森田茂君、加藤久米四郎君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ作間耕造君、山本清三郎君ヲ、奈良ニ美

術學校建設ニ關スル建議案外一件委員高草美代藏

○副議長(柏谷義三君) 最ヨリ會議ヲ開キマス
○川原茂輔君 是ヨリ取引所法中改正法律案外一件ノ
委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、御許ヲ願ヒマス
○副議長(柏谷義三君) 宜シウゴザイマス——日程第一、
東京帝國大學臨時政府支出金額八ニ關スル法律案ノ第
一讀會ヲ開キマス

○副議長(柏谷義三君) 宜シウゴザイマス——日程第一、
東京帝國大學臨時政府支出金額八ニ關スル法律案ノ第
一讀會ヲ開キマス

第一 東京帝國大學臨時政府支出金額八
ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

東京帝國大學特別會計三線入ルヘシ
(國務大臣中村德五郎君登壇)

○國務大臣(中村德五郎君) 本案ハ先般東京帝國大學ノ附屬病院ノ一部ガ火災ニ罹リマシタノデ、其復舊ヲ致シタイノデ追加豫算ヲ提出致シマシタ、追加豫算ノ全額ハ御承知ノ通リ四十四万圓アリマス、其全部ヲ大學ノ維持資金ノ中カラ支出ヲスレバ、此法案ノ必要ガナカグナデアリスマルカ、資金ガ十分デアリマヌケ、中十万圓ダケヲ國庫ヨリシテ繰入レルト云フ必要ガ起リマシタカラ、此法案ヲ提出致シマシタ譯アリマス、簡單ノ案アリマスカラ、ドウゾ御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレントコトヲ望ミマス

○副議長(柏谷義三君) 日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
リマスルカ、資金ガ十分デアリマヌケ、中十万圓ダケヲ國庫ヨリシテ繰入レルト云フ必要ガ起リマシタカラ、此法案ヲ提出致シマシタ譯アリマス、簡單ノ案アリマスカラ、ドウゾ御承認ノ上御協賛ヲ與ヘラレントコトヲ望ミマス

第三條 本法ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員三土忠造君登壇)

○政府委員三土忠造君 戰闘其他公務ノ爲メ傷痍ヲ受ク、又ハ疾病ニ罹リ不具廢疾トナリマシタ者ニ給スル増加恩給アリマスガ、現在ノ状態ニ於キマシテハ、經濟上ヨリ見テ餘程少キニ失スルノ感ガアルノデアリマス、政府ニ於

デアリマスガ、増額シ得ル財源ヲ得ルコトニ至リマシタノデ、是迄調査研究ヲ致シ居ツタノアリマスガ、御承認メマス、仍テ勤謹ノ如ク決シマス——日程第三、增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ勤謹ニ御異議ハナイ

ト認メマス、仍テ勤謹ノ如ク決シマス——日程第三、增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス

右支給ノ方法ハ、傷病ノ程度ニ従ヒ、年額ヲ四十圓乃至百

八十圓ヲ、上下ノ階級ニ通ジマシテ、一律ニ給與スルト

ノ際ニモ拘ラズ、茲ニ本案ヲ提案致シタノデアリマス而シテ

デアリマスガ、増額シ得ル財源ヲ得ルコトニ至リマシタノデ、是迄調査研究ヲ致シ居ツタノアリマスガ、御承

認メマス、仍テ勤謹ノ如ク決シマス——日程第三、增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス

兎モ角モ其財源ノ限度ニ於テ取政ス増加恩給ノ受給者ニ對シ、一定ノ金額ヲ支給致シタノデアリマス、議會切迫

出來ヌコトヲ遺憾トスルノデアリマス、然ルニ茲ニ僅カ許リ

テ選定セリ

○副議長(柏谷義三君) 本多貞次郎君

君ハ即時委員會ヲ開會セラレ、了セラレントヲ望ミマス

○副議長(柏谷義三君) 本多貞次郎君

年額	第五項第六項第七項第八項第九項第十項				乙
	甲	乙	丙	丁	
一八〇	五〇	三〇	一〇	七〇	五〇
二六〇	一六〇	三〇	一〇	八〇	六〇
三四〇	二六〇	三〇	一〇	九〇	七〇
四二〇	三六〇	三〇	一〇	一〇	五〇

第一條 大正十一年三月三十一日現在ニ於テ國庫ヨリ增加恩給、增加退隱料又ハ之ニ準スヘキモノヲ受ケ又ハ受クヘキ者ニ對シテハ本法施行ノ日ヨリ當分ノ内其ノ金額ノ外症項ノ等差ニ從ヒ左記ノ金額ヲ給スモノヲ受クヘキ事由ノ生シタル者ニ付亦同シ本法施行後增加恩給增加退隱料又ハ之ニ準スヘキモノヲ受クヘキ事由ノ生シタル者ニ付亦同シ

第一條 增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案
(政府提出)
第一讀會

增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案
(政府提出)
第一讀會

增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案
(政府提出)
第一讀會

○副議長(柏谷義三君) 通告ガアリマス——近藤達兒君

○近藤達兒君 諸君アリマスカラ此席カラ申上ゲマス、本案ノ御提出ニナリマシテコトニ付テハ、私共モ喜ブ者デアリマスガ、只今御説明ノ如ク餘リニ少額デアリマシテ、多年吾々ガ主張シ來タ増加恩給ニ對シテハ潤ニ遺憾ニ存ズルニアリマス、殊ニ下級ノ者ニ至リマシテハ、今回ノ増額ト云フモノハ無キニ勝ルコトハ勿論デアリマスガ、而モ尙ホ其生活ヲ維持スルニ甚ダ困難デアルト考ヘルノデアリマス、而シテ政府ハ前々議會ニ於テモ、根本的ノ改正ヲ行テ此恩給ヲ増額スルト言明サレテアルニモ拘ラズ、斯ノ如キ姑息的ノ少額ノ増額デアリマシテハ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、更ニ進ンデ尙ホ下級ノ者ニ對スル増加恩給ヲ増額ナサレル御考ハナイデアリマスカ、此點ヲ御尋シタイト思ヒマス

○(政府委員三土忠造君登壇) 御答致シマス、政府ニ於キマシテモ決シテ之ヲ以テ満足スルモノノデハアリマセヌ、僅ニ是ダケノ財源ヲ得マシタ爲ニ、取敢ズト申シタヤウナ次第アリ、取敢ズ斯様ナ應急的ノ事ヲ致スノデアリマシテ、尙ホ研究ヲ致シ、財源ノ許ス限り増額致シタイト思ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○鈴木錠藏君 本案ハ永屋茂君外二名提出、巡査看守退隠料及遺族扶助料法中改正法律案外十件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス、尙又本案ハ簡単ナモノアリマスカラ、本日中ニ貴族院ニ送付致シタクアリマスカラ、委員諸君ハ即時委員會ヲ開キ、本日ノ本會議中ニ報告ヲ了セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ——日程第五、狩獵法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス 委員長松浦五兵衛君——鈴木義隆君

第五 狩獵法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一狩獵法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月二十日

狩獵法中改正法律案委員長

松浦五兵衛

狩獵法中改正ス

(小字及一ハ委員會修正)

第八條 狩獵免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許税ヲ納ムヘシ

一等 所得稅二百圓以上ヲ納ム者

五十圓

又ハ其ノ家族

二等 所得稅ヲ納ム者又ハ其ノ家族

三十圓

三等 一等〇一等及四等以外ノ者

十五圓

四等 主トシテ狩獵ヲ以テ生計ヲ立ツル者

五圓

前項四等ニ該當スル者ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ免許税ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

(鈴木義隆君登壇)

○鈴木義隆君 委員長缺席デアリマスカラ、私ヨリ狩獵法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、御承知ノ通リ本案ハ許可稅額ヲ引上ダメシテ、狩獵者ノ員數ノ相當ノ數ニ低減致シ、サウシテ鳥獸ノ蕃殖ヲ圖ラウト云フノガ趣意ニナラテ居ルノデアリマス、委員會ハ四回ニ瓦リマシテ、會ヲ開キマシタノデアリマスルガ、種々ナル質問應答ガアタノデアリマス、委員會ハ質問應答ノ結果修正ヲ致シマシテ、同時ニ此修正ニ希望條件ヲ添ヘテ決定致シタノデアリマス、御承知ノ如ク近年狩獵者ノ數ハ非常ニ激増致シマシテ、鳥獸ノ減少ハ之ニ反シテ非常ナ減少デアリマス、委員諸君ハ即時委員會ヲ開キ、本日ノ本會議中ニ報告ヲ了セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシテ——日程第五、狩獵法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス 委員長松浦五兵衛君——鈴木義隆君

等ヲ從ヒテ三十圓ニ引下ゲテ家族ハ詰リ同額ノ免許税ヲ納ムルコトニ致シタノデアリマス、三等ヲ其儘ニ置キマシテ、四等ヲ削除致シタト云フコトハ、御承知ノ通り狩獵家ノ數ト云フモノハ非常ナ激増デアリマシテ、現行法ノ制定當時ハ狩獵者ノ數ハ約十二万一千五百八十人デアリマシタ大正九年ニドウナツテ居リマスルカト云フト、二十万九千三百六十人ニナラテ居リマス、其增シテ行ク率ト云フモノハ實ニ非常ナ率デアリマス、尙ホ本年ノ如キハ是レ以上ニ増加シテ居ルダラウト考ヘルノデアリマス、故ニ此三等ヲ其儘ニ致シテ置キマシテ、四等ヲ削除致シタト云フコトハ三等ト四等ノ關係ガムツカシイノデアリマシテ、色々政府當局ニ、如何ニシテ此三等ト四等ノ區別ヲ立テルノデアルカト云フコトヲ質問致シタノデアリマスガ、遂ニ要領ヲ得ルコトガ出来ヌノデアリマス、詰リ警察ノ手心等ニ依シテ、オ前ハ四等ニアリマス、オ前ハ三等アルト云フヤウナ區別ヲ立テナケレバナラヌ

シテ居ルダラウト考ヘルノデアリマス、故ニ此三等ヲ其儘ニ致シテ置キマシテ、四等ヲ削除致シタト云フコトガ出来ナインデアリマス、同時ニ此四等ヲ存置シテ置キマスト

三等ノ大部分ガ四等ノ方へ流込ミマシテ、爲ニ狩獵者ノ數ヲ減ジテ、サウシテ鳥獸蕃殖ヲ圖ラウト云フコトヲ減ジテ、サウシテ鳥獸蕃殖ヲ圖ラウト云フコトノ結果ヲ生ズルノデアリマス、故ニ委員會ハ希望條件ヲ附シマシテ、斯ノ如ク修正致シタノデアリマス、其修正ノ結果第一項ノ免許税ハ收入印紙ヲ以テ云々ト云フコトガ書イテアリマス、ソレヲ「前項」下直シタノデアリマス、サウ云フヤウナ次第アリマスカラ、甚ダ正確ナル區別ヲ立テルコトガ正ヲ致シタ次第アリマスカラ、ドウゾ此修正ニ御同意アラシムコトヲ御願ヒ致ス次第アリマス、ソレカラ希望條件ヲ申上げマスルガ、希望條件ハ密獵者ノ取締ヲ便宜ナラシムル為メ狩獵免狀ノ外記章ヲ携帶セシムベク農商務省令ヲ改正セんコトヲ望ム斯ウ云フ條件トモウツ第二ノ方ノ條件ハ本改正ニ基ク増收額ハ漸次鳥獸ノ研究及密獵者ノ取締ニ充用セラレンコトヲ望ム斯ウ云フ希望條件ヲ附シテ修正致シタ次第アリマスカラ、ドウゾ御同意アランコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌ

(「異議ナシ」「異議ナシ」下呼フ者アリ)

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異理由ヲ簡單ニ御報告致シマス、此修正ヲ致シマシタ理由致シテ置イテ、四等ヲ創除スルコトニ致シタノデアリマス、此ナガラ此同額ト云フコトハ如何ニモ宜シクナイン、之ヲ半額ニシタラ如何デアルカト云フ意見ダ皆一致シテ居タノデアリマスカラ、政府ハ之ヲ半減スルト云フコトハ、脱稅ヲ意味スルコトニナルカラ同意スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトデ、種々協議ノ結果、之ヲ五十圓ニ引下ゲタノデアリマス、二

〇副議長(柏谷義三君) 御異議ナイト認メセス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

〇副議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌ

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト
認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス

狩獵法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 別ニ御異議ガナイト認メマスカ
ラ、三讀會ヲ省略シテ、第一讀會ニ於テ委員長報告通り可
決確定致シマシタ

○岩崎幸治郎君 軍備縮少ニ基因シテ生ズベキ失業勞
働者ノ善後ニ關スル建議案外一件、委員會ヲ開キタイト
思ヒマスカラ、此場合許可ヲ願ヒタイト思ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 許可致シマス、日程第六乃至
第十二ハ豫算案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 軍備縮少ニ基因シテ生ズベキ失業勞
働者ノ善後ニ關スル建議案外一件、委員會ヲ開キタイト
思ヒマスカラ、此場合許可ヲ願ヒタイト思ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 許可致シマス、日程第六乃至
第十二ハ豫算案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議
アリマセヌカ

第六 (第二號) 大正十一年度歲入歲出總 豫算追加案

第七 (特第一號) 大正十一年度各特別會 豫算追加案

第八 (追第二號) 豫算外國庫ノ負擔トナ ルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第九 (第三號) 大正十一年度歲入歲出總 豫算追加案

第十 (第四號) 大正十一年度歲入歲出總 豫算追加案

第十一 (特第二號) 大正十一年度特別會 計歲入歲出豫算追加案

第十二 (第五號) 大正十一年度歲入歲出 總豫算追加案

〔田邊熊一君登壇〕

○田邊熊一君 只今日程ニ上リマシタ、第二號大正十
一年度歲入歲出總豫算追加案外六件ノ豫算委員會ニ於ケ
ル審査ノ經過及結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、法律ノ
結果已ムヲ得ザル歲出及緊急差措キ難キ歲出ヲ今回提
出セラレマシタ、其金額ハ總額千四百四十二万三千餘圓
デアリマス、其主ナルモノハ監獄作業ノ改良擴張及囚徒就
役時間延長ニ伴フ經費、廣島陸軍兵器支廠災害復舊費、

神戸高等商船學校練習船建造ニ要スル經費、東京中央
郵便局新營費等ガ主ナルモノデアリマシテ、其外ゼノア」經
濟財政會議ニ我が代表者ノ參列スル費用、並ニ英國皇太
子殿下御來應付キマシテ其歡迎費等ガ主ナルモノデアリマ
ス、質問應答ヲ重ねマシタガ、最モ質問多カリシハ彼ノ二
重橋前ニ於ケル自殺ノ問題デアリマシタ次ニ我が全權トシ
テ華府會議ニ出席セラレマシタ加藤海軍大臣ニ對シテ詳
細ナル質問應答ヲセラレマシタガ、豫算ノ數字ニ對シマシテ
ハ極テ簡単ノ質問グニ三アッタノミデアリマス、其の御報告
ヲシテ見タイト思フモノガ「ニアルノデアリマス、ソレハ監獄
囚徒ノ就業時間ヲ延長スルト云フコトガ、前川虎造君ニ依テ質問
セラルモノデヤナイカト云フコトガ、豫算ノ數字ニ對シマシテ
ハ極テ簡單ノ質問グニ三アッタノミデアリマス、其の御報告
ヲシテ見タイト思フモノガ「ニアルノデアリマス、ソレハ監獄
囚徒ノ就業時間ヲ延長スルト云フコトハ、人道上許スベカ
ラザルモノデヤナイカト云フコトガ、前川虎造君ニ依テ質問
セラレマシタ之ニ對シテ司法當局ノ答辯ハ、出獄後ニ於テ
生計ノ安固ナルコトヲ希ヒ、相當ノ職業ヲ修得セシメテ、勤
労スル所ノ良習慣ヲ與ヘテ置キタイト云フノガ主意デアリ
マシタ、サウシテ北海道アタリノ一部ニハ餘リニ監獄ノ囚徒
ニ對シテ改善ヲセラレマシタ結果、寒イ場合ニハ貧民ノ生
活ヨリモ、寧口監獄内ノ生活ガ宜イト云フコトデ、進デ囚徒
タランストスル者ガアル傾向ヲ示シタ、斯ノ如クナッテハ全ク刑
罰ノ目的ヲ完全ニ貫徹スルコトガ出來ナイト云フコトデ、即
チ此囚徒ノ就業時間ヲ十二時半マデ延長スルト云フコト
ガ當局ノ答辯デアリマシタ、前川君ヨリ頗ル囚徒ニ對シテ
同情アル御意見ガアリマシタガ、結局政府委員ノ答辯ハ其
範圍ヲ出デナカッタノデアリマス、右ノ如ク致シマシテ質問ノ
大要ハ終リマシタガ「ゼノア」會議ニ出席スルコトニ付テハ、
川崎君ヨリ質問ガアリマシタガ、大正十一年度ノ追加豫算ニ
對シテ當時外務大臣ヨリ答辯セラレグノト同様ノ答辯ガア
リマシタ、其當時ハ亞米利加ノ參加ガマダ定マラヌ時デアリ
マシタケレドモ、今日ハ亞米利加ノ參加シナイト云フコトガ
確定シタ以上ハ、我が全權ノ出席セシムル必要ハナイデヤナ
イカト云フヤウナ川崎君ノ御質問ガアリマシタガ、是ハ多ク
ハ露國ニ對スル必要上是非出席シナケレバナラヌ時デアリ
辯ガアタノデアリマス、右ノ如クニシテ質問モ終リマシタガ、
質問終了後分科ニ移サズシテ直ニ討論ニ入シタノデアリマ
ス、武藤金吉君ヨリ政府ノ原案ハ全部ヲ贊成スルノ御意見
ガ出マシテ、前川君ヨリモ同様ノ御說ガ出マシタガ、獨リ憲
政會ノ川崎君ヨリハ之ニ對シテ希望的ノ御意見ガアタノ
手)

○鈴木錠藏君 日程第六乃至第十二ノ七案ヲ一括シテ
只今ノ豫算委員長報告ノ通り、可決確定アランコトヲ望
マス

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナ
イト認メマス、仍テ各案トモ委員長報告ノ通り可決サレ
マシタ(拍手)日程第十三、辯護士法改正法律案ノ第一讀
會ノ續ヲ開キマス、委員長熊谷直太君

〔贊成「贊成」ト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナ
イト認メマス、仍テ各案トモ委員長報告ノ通り可決サレ
マシタ(拍手)日程第十三、辯護士法改正法律案ノ第一讀
會ノ續ヲ開キマス、委員長熊谷直太君

第十三 辯護士法改正法律案(鵜澤總明君)

外六名提出

第一讀會ノ續(委員長報告)

一辯護士法改正法律案(鵜澤總明君外六名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此
段及報告候也

大正十一年三月十七日

辯護士法改正法律案委員長

衆議院議長與繁三郎殿

(小字及ハ委員會修正)

辯護士法

第一章 辯護士ノ資格及職務

第一條 辯護士ハ當事者ノ委任ヲ受ケ又ハ裁判所ノ
指定ニ依リ

第二條 辯護士タルムト欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フル
コトヲ要ス

命令ニ基キ法律ニ關スル職務ヲ行フモノトス

第三條 前條ノ試験ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム

試験委員ハ司法省高等官判事檢事辯護士中ヨリ之
ヲ詮衡ス

左ニ掲クル者ハ第二條第二號ノ
第四條 判事檢事又ハ辯護士タルシ者ハ試験ヲ要セス
シテ辯護士タルコトヲ得

一 法律學ヲ修メタル法学博士及判事檢事司法官試補又ハ

陸軍海軍ノ法務官タリシ者

二 辯護士ニシテ其ノ請求ニ依リ登録ヲ取消シタル者

第五條 左ニ掲クル者ハ辯護士タルコトヲ得ス

一 無期若ハ六年以上ノ禁錮舊刑法ノ重罪ノ刑又ハ重
無期若ハ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレ

二 刑法第二編第一章乃至第三章第五章第七章

乃至第十一章第十三章第十六章乃至第二十
三章第二十五章第二十六章第三十五章乃至

第四章ノ規定ニ依リ徵役又ハ禁錮ノ刑ニ處
セラレタル者

警者啞者若ハ禁治產、準禁治產ノ宣告ヲ受ケ又
ハ破産宣告ヲ受ケ復縛セサル者

戒

四 懲役ノ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者又

ハ本法ニ依リ除名セラレ。タル者
○五年ヲ超過セサ

第六條 辯護士クラムトスル者ハ辯護士會員名簿ニ
登録セラルコトヲ要ス

前項ノ登録ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 辯護士ハ辯護士名簿ニ登録セラルコトヲ要ス

第八條 辯護士名簿ニ登録ヲ請求スル者ハ其ノ加入セムトス
ル辨護士會所ノ管轄地方裁判所ヲ經由シテ司法大臣ニ書
面ヲ差出スヘシ

第九條 辯護士ノ登録ヲ請求スル者ハ登録料トシテ金二十圓
ヲ納付スヘシ

第十條 前數條ノ外登録ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一章 辯護士ノ權利及義務

第十二條 辯護士ハ法廷ニ於テ職務上陳述シタル言語
ニ付其ノ責ヲ負フコトナシ但シ法廷ノ秩序維持ニ關
スル裁判所構成法民事訴訟法及刑事訴訟法ノ規
定並本法ニ因ル懲戒規定ノ適用ヲ妨ケス

第十三條 辯護士ハ正當ノ理由アルニ非サレハ法令ニ依
リ司法大臣又ハ裁判所若ハ所屬辯護士會ノ命シタ
ル職務ヲ解スルコトヲ得ス

第十四條 辯護士ハ左ニ掲タル事件ニ付其ノ職務ヲ行フ
コトヲ得ス

第十五條 辯護士ハ正當ノ理由アルニ非サレハ法令ニ依
リ司法大臣又ハ裁判所若ハ所屬辯護士會ノ命シタ
ル職務ヲ解スルコトヲ得ス

第十六條 辯護士ハ左ニ掲タル事件ニ付其ノ職務ヲ行フ
コトヲ得ス

一 職務上相手方ノ協議ヲ受ケテ之ヲ贊助シ又ハ
委任ヲ受ケタル事件
同

二 官吏公吏在職中取扱ヒタル事件

三 仲裁手續ニ依リ仲裁人トナリテ取扱ヒタル事件
爲

第十五條 辯護士ハ報酬アル公務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ法
令ニ依リ組織セラレタル議會ノ議員ヲ爲リ又ハ官廳ヨリ指
定セラレタル職務ヲ行フハ此ノ限ニ在ラス

辯護士ハ商業ヲ營ムコトヲ得ス但シ辯護士會ノ許可ヲ得タ
ル者ハ此ノ限ニ在ラス

四 第三章 辯護士會

第十六條 各地方裁判所管轄區域毎ニ辯護士會ヲ
置ク

司法大臣ハ土地ノ状況ニ依リ數個ノ地方裁判所管
轄區域ヲ合シテ一組ノ辯護士會ヲ設ケシムルコトヲ得
ス

第十七條 辯護士會ハ左ノ事項ヲ處理スルヲ以テ目
的トス

一 法律奉行ノ完備改善ヲ圖ルニ必要ナル事項
二 司法上又ハ辯護士ノ利害ニ關スル事項

第十八條 辯護士會ハ法人トシテ司法大臣之ヲ監督ス
ル

第十九條 司法大臣ハ裁判所構成法第百三十五條ノ規定ニ從ヒ前項ノ
監督權ヲ行フ

第二十条 辯護士會ニ理事及常議員若干名ヲ置ク理
事ハ會長副會長ヲ常議員ハ懲戒委員及其ノ豫備委
員若干名ヲ互選ス

會長ハ辯護士會ノ代表ス會長差支アルトキハ副會長
之ヲ代表ス

第二十一条 辯護士會ハ左ニ掲タル事項ヲ定メ司法大
臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 役員ノ選舉及其ノ職務ニ關スル規程
○辯護士會

二 會員名簿ノ登録ニ關スル規程

三 總會又ハ役員會ノ議事ニ關スル規程

四 辯護士ノ風紀及懲戒ニ關スル規程

五 辯護士ノ報酬ニ關スル規程

六 財產ノ管理及出納其ノ他會務ノ處理ニ必要ナ
ル規程

第二十二条 辯護士ハ辯護士會ニ加入シ其ノ會員名簿ニ登録
ヲ受ケタル後ニ非サレハ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十三条 所屬辯護士會以外ノ地ニ事務所ヲ設クル
辯護士ハ其ノ地辯護士會ノ會則ヲ遵守スヘシ

第四章 懲戒

二十三條 辯護士ニシテ法律。又ハ辯護士會ノ定メタ
ル規定ニ違反シタル者ハ懲戒ニ付ス

二十四條 辯護士ニ懲戒事犯アリト認ムル者ハ辯護
士會ニ申告スルコトヲ得

二十五條 司法大臣ノ請求又ハ前條ノ申告アリタルト
キ若ハ理事ニ於テ懲戒事犯アリト認メタルトキハ理事
會ハ懲戒ニ付スルヤ否ヤヲ決スヘシ

二十六條 理事會ニ於テ懲戒ニ付スヘキモノト決定シ
タルトキハ會長ハ直ニ懲戒委員會ニ對シ懲戒手續開
始ノ請求ヲ爲スヘシ

二十七條 懲戒委員會並覆審懲戒委員會ニ關スル
規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二十八條 懲戒ハ左ノ四種トス

一 韻責
二 千圓以下ノ過料
三 三年以下ノ停職
四 除名

第二十九條 懲戒ハ國ノ收入ト。ス
テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第三十条 懲戒委員會ノ議決ニ不服アル者ハ議決
書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ辯護士會ニ申立
書ヲ提出シテ覆審ヲ求ムルコトヲ得

第三十一条 司法大臣ハ議決書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ
覆審ヲ求ムルコトヲ得

第三十二条 懲戒委員會ノ議決ニ不服アル者ハ議決
書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ辯護士三名トシ司法大
臣之ヲ任命ス

第三十三条 覆審ハ覆審懲戒委員會ニ於テ之ヲ爲ス
委員ノ數ハ大審院判事四名辯護士三名トシ司法大
臣之ヲ任命ス

第三十四条 覆審ハ覆審懲戒委員會ニ於テ之ヲ爲ス
司法院判事四名辯護士三名トシ司法大

臣之ヲ任命ス

第三十五条 辯護士ニ非スシテ法律ニ關スル事務ヲ取
扱ヒ又ハ其ノ周旋ヲ爲スコトヲ業トスル者ハ一年以
下ノ懲戒又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六条 附則

三十一條 本法ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施
行ス

第十六 水先法中改正法律案(阪上貞信君提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告

一水先法中改正法律案(阪上貞信君提出)
候也

大正十一年三月十五日

水先法中改正法律案委員長

高見之通

衆議院議長奥繁三郎殿

〔高見之通君登壇〕

○高見之通君 本案ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ水先人ハ年齢二十三歳以上六十歳ニ限ルト云フ、此項ヲ削ラウト云フノガ本案ノ趣意アリマス、ソレデ精神勞働ニ從事スル裁判官ノ如キ者ハ六十歳ノ定年ト云フコトガアルケレドモ、筋肉勞働ノ者ハ、弱イ者ハ競争場裡カラ直ニ放逐サレル故ニ、何ゾ必シモ六十歳ト云フ 完年ヲ付クル必要ハナイノミナズ、此法案ニ此條文カ特ニ設ケラレタ所以ハ、元ト外國ノ水先人ヲ排斥スル爲ニ特ニ出來タモノデア、テ、今日ハ全ク其目的ヲ達シ、殆空文ニナツテ居ルノデアル、故ニ是等ノ理由カラシテ特ニ之ヲ存置スル必要ガナイ、殊ニ又日本ノ國民ノ特性トシテ、海國男子ノ眞面目ハズト以前千石カ五百石ノ船ニ乗シテ、呂宋ナ安南ヤ「カンボチヤ」等ヲ突破シタ、其船ノ舳ニ乘シテ居タ船頭ハ何ゾ知ラン髮髪霜白キ者デアッタ、故ニ此海國男子ノ眞面目ヲ一層益、發揮セシメル爲ニハ、斯ノ如キ條文ハ削ル方ガ最モ有利ナリト云フコトノ意味ニ於テ、阪上君ノ提案ヲ容レ、特別委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、故ニ諸君モドウカ御賛同アランコトヲ希望致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○鈴木錠藏君 直ニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り可決確定アランコトヲ望ム
○副議長(柏谷義三君) 別ニ御異議ナイト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告ノ通り可決確定シマス

家祿引直處分法案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定アランコトヲ望ム
○副議長(柏谷義三君) 別ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告ノ通り可決確定シマス

水先法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 別ニ御異議ナイト認メマスカラ、シマス

第三讀會ノ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレ
マシタ——日程第十九、家祿引直處分法案ノ第一讀會ノ
續ヲ開キマス、委員長三善清之君

第十九 家祿引直處分法案(久下豊忠君外)

九名提出

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一家祿引直處分法案(久下豊忠君外九名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告

候也

大正十一年三月十八日

家祿引直處分法案委員長

三善 清之

衆議院議長奥繁三郎殿

〔三善清之君登壇〕

○三善清之君 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、日程第十九家祿引直處分法案、本案ハ舊和歌山藩士族ノ家祿減祿ノ程度カ、全國一般ノ各藩ノ士族ノ減祿程度トハ大分ニ差ガアルノデゴザイマス、ソレハ明治二年ノ初ニ、和歌山藩ハ全國ノ各藩ニ率先シテ家祿ヲ大ニ減少致シタノデアリマス、同時ニ和歌山藩ハ早ク明治以前ヨリ歐米ノ形式ニ倣ブテ陸軍ノ訓練等ヲ致シテ居リマシタカラ、徵兵制度マニ進ンテ國家ノ爲ニ施行シタ譯アリマス、所ガ同年ノ十二月二日ニ於キマシテ、時ノ政府——太政官ニ於テ全國一般ニ各藩ノ士族ノ減祿ノ制度が定メラレタノデアリマス、各藩ハ其制度ニ依ブテ士族ノ減祿ヲ致シタノデアリマス、其士族ノ減祿ト、和歌山藩ガ率先シテ減祿ヲ致シタノトハ大變ナ相違ガアルノデアリマス、然ルニ御承知ノ如ク當時ニ於キマシテハ、和歌山藩ハ殆ド朝敵同様ノ位地ニアリマシテ、一方當時ノ政府ハ薩長ノ勢力ヲ持ブテ居ル政府デアル、左様ナ事情ニ於キマシテ、一般ニ各藩ノ家祿ヲ減祿サレマシタモノト同ニシテ貢フト云フコトヲ大ニ遠慮シテ、又政府ノ方面ヨリ致シマシテモ幾分ノ壓迫ノ模様モアッタ、ラウト思フ、左様ニ過去リマシテ遂ニ立憲制度ヲ施行サレマシタ後ニ於キマシテ、議會ニ對シマシテ請願ヲ致シマシタノデアリマス、全國各藩ノ減祿サレタ家祿ト同様ニ引直スト云フコトヲ、

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

○副議長(柏谷義三君) 許可致シマス

○副議長(柏谷義三君) 許可致シマス

○副議長(柏谷義三君) 日程第二十、第二十一ハ同一

○副議長(柏谷義三君) 委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括議題トナスニ御

○副議長(柏谷義三君) 異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 御異議ナイト認メマス、日程第二十、所得稅法中改正法律案、日程第二十一、災害地地租免除法中改正法律案、右二案ヲ一括シテ其第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長八田宗吉君

族院ニ於テ否決サレタノデアラウト思ヒマス、左様ナ事情デテ、其差ヲ此處ニ給シテ貢ヒタイト云フ 法律案デアリマス、吾々委員會ニ於テハ如何ニモ同情スペキモノデアル、殊ニ明治初年ニ於キマシテ、陸軍ノ編制等ニ付アハ徳川一門ノ大藩トシテ國家ノ爲ニ貢獻ヲシテ居ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ是ハ大ニ同情スペキモノ、此法案ハ可決スベキモノデアル、斯様ニ認メテ委員會ニ於テハ滿場一致以テ可決致シタノデアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ御贊成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ今回ハ貴族院ニ於テモ可決スベキモノト思ヒマスカラ、ドウカ宜シク——御報告ヲ致シマス

以テ可決致シタノデアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ御贊成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ今回ハ貴族院ニ於テモ可決スベキモノト思ヒマスカラ、ドウカ宜シク——御報告ヲ致シマス

第二十 所得稅法中改正法律案(岩本平藏)

君外十一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一所稅法中改正法律案(岩本平藏君外十一名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十一年三月二十日

所得稅法中改正法律案委員長

衆議院議長奥繁三郎殿

八田 宗吉

第二十一 災害地地租免除法中改正法律

案(植場平君外四名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一災害地地租免除法中改正法律案(植場平君外四名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十一年三月二十日

災害地地租免除法中
改正法律案委員長

八田 宗吉

衆議院議長奥繁三郎殿

(八田宗吉君登壇)

○八田宗吉君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、所得稅法中改正法律案ハ昨年ノ第四十四議會ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十一年三月二十日

ルト云フコトヲ當局ガ申シマシタガ爲ニ、更ニ第四條ノ第一項ニ一項目ヲ加ヘテ、山林ノ所得ハ之ヲ山林以外ノ所得ト區分シ、第三種山林所得ニ準ジテ稅額ヲ賦課スル云フ、明ニ弊害ヲ矯正スベキ第三種ノ所得ト同ジモノアル、同ジ課稅ヲナシムルト云フ項目ヲ舉ゲテ、サウシテ此均衡ヲ得セシムベク提案者ハ非常ニ苦心シテ、此處ニ提案ニナタノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、尙小甚ダ斯様ナ法律ガ實施スルコトニナシテ來ルト、脫税者ガ多カナシテ來テ大ニ困ルト云フ色ニ實行上支障甚シキコトヲ高唱セラレマシテ、反對ヲ唱ヘラレタノデアリマスケレドモ、委員會ニ於テハ實際此山林ノ所得ナルモノハ、國家ノ上ヨリ見マシテ大ニ山林ノ獎勵ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌ、今日ノ時勢ヨリ考へマシテ、山林所得ナルモノニ對シテハ、殆ド所得稅ヲ課スベ見地ヨリ致シマシテ、此提案が至當アルト云フノア、委員會ハ演場一致此法律案ヲ可決致シタノデアリマヘ、何卒本會ニ於キマシテモ、演場一致御賛成アランコトヲ希望致シマス(拍手)ソレカラ其次ノ災害地地租免除法中改正法律案は植場平君外四名ノ御提出アリマシテ、本案上程ノ際ニ於テ植場君ヨリ御説明ガアリマシタノデアリマスカラシテ、私ハ茲ニ重ねテ申述フル必要ハナイヤデアリマスルガ、是ハ御承知ノ今日ノ災害地地租免除法中ニ於テ獻陷ト哉ズル所ノ、即チ收穫皆無ニ歸シタル時ノミ免租ノ恩典ニ浴スルト云フコトニナシテ居ルケレドモ、收穫皆無ノ場合ガ、時期ニ依テ皆無ニナシテモ、再植シテ收穫ヲ爲シ得ベキ場合ガ澤山アル、斯様ナ場合ニ當ルテ、免除ニ浴センカ爲ニ再植ヲスルコトヲ嫌フト云フ、狀況ハ、是ハ國家ノ上ニ於テ產業タル箇所ヲ修正致シマシテ、サウシテ提案セラレタルモノアリマス、御承知ノ通り此所得稅ナルモノハ、外ノ課稅ト同ジタ資産ヨリ生ズル收入ニ課稅スルモノアルノガ當然デアルニ拘ラズ、此山林所得ノミニ限テハ、資產其モノニモ課稅スル現行法律ハ甚ダ失當アル、斯様ナ見地ノ下ニ之ヲ修正サンマシタノアリマス、昨年ノ分ニ對シマシテハ、即チ山林ノ所得ハ山林伐採ノ時ニ其原因ガアリマスカラ、其山林伐採ニ因ルト云フ文字ヲ今回入レマシテ、サウシテ又單ニ單ニ漠タル文字ノ意義ヲ明カニスル爲ニ、更ニ其上ニ其植栽養成ト云フ項目ヲ入レマシテ、即チ山林伐採ノ際ニ於ケル控除額ニ對シテハ明カニ明示スルコトヲ今回ハ提出シテ、

サウシテ此提案ニナシクニアリマス、御承知ノ通り當局ニ於テモ此點ニ對シマシテモ、尙末昨年ハ反対ヲ唱ヘラレア居テノデアリマス、山林カラシテ、更ニ又此當局ノ憂フル所、即チノダアリマスルカラシテ、更ニ又此當局ノ憂フル所、即チノダアリマス、此提案者ハ非常ニ苦心シテ、此處ニ提案ニナタノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、尙小甚ダ斯様ナ法律ガ實施スルコトニナシテ來ルト、脱税者ガ多カナシテ來テ大ニ困ルト云フ色ニ實行上支障甚シキコトヲ高唱セラレマシテ、反對ヲ唱ヘラレタノデアリマスケレドモ、委員會ニ於テハ實際此山林ノ所得ナルモノハ、國家ノ上ヨリ見マシテ大ニ山林ノ獎勵ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌ、今日ノ時勢ヨリ考へマシテ、山林所得ナルモノニ對シテハ、殆ド所得稅ヲ課スベ見地ヨリ致シマシテ、此提案が至當アルト云フノア、委員會ハ演場一致此法律案ヲ可決致シタノデアリマヘ、何卒本會ニ於キマシテモ、演場一致御賛成アランコトヲ希望致シマス(拍手)ソレカラ其次ノ災害地地租免除法中改正法律案は植場平君外四名ノ御提出アリマシテ、本案上程ノ際ニ於テ植場君ヨリ御説明ガアリマシタノデアリマスカラシテ、私ハ茲ニ重ねテ申述フル必要ハナイヤデアリマスルガ、是ハ御承知ノ今日ノ災害地地租免除法中ニ於テ獻陷ト哉ズル所ノ、即チ收穫皆無ニ歸シタル時ノミ免租ノ恩典ニ浴スルト云フコトニナシテ居ルケレドモ、收穫皆無ノ場合ガ、時期ニ依テ皆無ニナシテモ、再植シテ收穫ヲ爲シ得ベキ場合ガ澤山アル、斯様ナ場合ニ當ルテ、免除ニ浴センカ爲ニ再植ヲスルコトヲ嫌フト云フ、狀況ハ、是ハ國家ノ上ニ於テ產業タル箇所ヲ修正致シマシテ、政府ハ此事ニ對シマシテモ大ニ考慮ヲ費スベリマス、御承知ノ通り此所得稅ナルモノハ、外ノ課稅ト同ジタ資産ヨリ生ズル收入ニ課稅スルモノアルノガ當然デアルニ拘ラズ、此山林所得ノミニ限テハ、資產其モノニモ課稅スル現行法律ハ甚ダ失當アル、斯様ナ見地ノ下ニ之ヲ修正キ事アリマス、元來地租免除ト云フコトハ、地租條例第二條ニハ地租八年ノ豈凶如何ニ拘ラズ之ヲ増減セズト云フコト正サンマシタノアリマス、昨年ノ分ニ對シマシテハ、即チ山林ノ所得ハ山林伐採ノ時ニ其原因ガアリマスカラ、其山林伐採ニ因ルト云フ文字ヲ今回入レマシテ、サウシテ又單ニ單ニ漠タル文字ノ意義ヲ明カニスル爲ニ、更ニ其上ニ其植栽養成ト云フ項目ヲ入レマシテ、即チ山林伐採ノ際ニ於ケル控除額ニ對シテハ明カニ明示スルコトヲ今回ハ提出シテ、

シテ、委員會ハ何等ノ異議ナク滿場一致可致シマシタ次第アリマス、何卒本會ニ於テモ御賛成アランコトヲ希望致シマス(拍手)

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕〔下呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ナイト認メマス、仍テ第一讀會ヲ開クニ決シマス

○鈴木錠藏君 日程第二十、第二十一ノ兩案ヲ一括シテ直ニ其第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定アランコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕〔下呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイモノアリマス、仍テ直ニ兩案ノ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト認メマス

〔異議ナシ〕〔下呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイモノアリマス、仍テ直ニ兩案ノ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト認メマス

〔異議ナシ〕〔下呼フ者アリ〕

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ナイト認メマス、仍テ第一讀會ヲ開クニ決シマス

○鈴木錠藏君 日程第二十、第二十一ノ兩案ヲ一括シテ直ニ其第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定アランコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕〔下呼フ者アリ〕

一朝トシ「ローマ」字ノ教習ヲ加ヘルト云アコトガ本意デゴザイマス、本案ト同一ノ建議案ハ、會ニ四十年ノ議會ニ於キマシテ、提出致シマシテ、議院ヲ通過シタノデアリマス、本年モソレト同一ノ建議案ヲ政友會ノ諸君、並ニ憲政會ノ諸君、國民黨、庚申俱樂部、無所屬、院内ニ於ケル各派ヲ通ジテ此案ヲ提出シタ譯アリマス、ソレハ此案ハ簡單ナル一建議案デアリマスルガ、將來ニ於ケル日本ノ文化運動ノ出發點一超點トシタイト云フ所デアルノデアリマス、今ヨリ殆ド十五年前ニ、同一ノ建議案ハ會ニ衆議院ヲ通過シタデアリマスルガ、其後政府ハ七回更迭致シ、文部大臣ハ十二人變更ヲ致シマシタナレドモ、斯ウ云フ施設ニ對シテハ未ダ何等ノ進行ヲ見ナイノアリマス、然ルニ近時世界ニ於ケル文化ハ一大激變ヲ致シマシテ、總テノ方面ニ於テ新シキ文化運動が起テ居ルニ拘ラズ、我國ニ於テ尙ホ文教ノ上ニ、遠大ノ文化政策ヲ樹立ル所ノ何等ノ經營總設ノナイト云フコトハ、本員ノ甚ダ遠慮トシテ居ル所デアリマス、私ハ此羅馬字ノ音及ヲ唱邊スルニ付テ、必シモ漢字ヲ排斥スルト云フ意味デハアリマセス、漢字ヲ排斥スル所ノ意味ニ依テ此案ヲ出シタノデハアリマセス、本員ハ漢學ニ對シテハ最モ敬意ヲ表ハスル所ノ一人デアリマス、又漢學ニ付テノ大ナル趣味ト感興ヲ持テ居ル一人デ、此點ニ於テハ決シテ漢學唱道者ニ劣ル者デハナイト信ジテ居ルノデアリマス、而シテ此羅馬字語ハ、申ス迄モナク漢字ト假名ノ併用ヲ致シテ國語ヲ以テ居ルノアリマス、凡ソ漢字程厄介ナルモノハナイト忍ヒマス、元來漢字ハ形象文字ノ變化シタル所ノ一ツノ符合字デアリマシテ、既ニ依テ見ル所ノ一文字デアリテ耳ニ依テ聽クコトニ於テハ甚ダ不完全ナ制リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シク之ガ讀メル者ゾコトハ非常ニ困難ナモノアリマス、一ツノ漢字ニ付テ聲トテ聲不完全ナ制リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シク之ガ讀メル者ハ――知ラナイ所ノ姓名、或ハ人名ヲ正當ニ讀ミ得ル者ハ殆ド無イト云フ位アリマス、御互ニ此議員ガ能ク顎ヲ仰テ羅リマスガ、此議員ノ姓名サヘモ相當ニ發音シ

若クハ完全ニ讀下シヲナシ得ル者ハ、議員中甚ダ少イト思ヒマス、又斯ウ云フ面倒ナ厄介ナ漢字ヲ使テ、今日ノ吾々ノ國語ヲ級ヲテ居ルノデアリマスガ此爲ニ、吾々國民ガ漢字ノ爲ニドレダケノ時間ヲ無益ニ費シテ居ルカ、又ドレダケノ國民ノ「エネルギー」ヲ浪費シテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、非常ニ驚クベキ所ノ損失ヲシテ居ルノデアリマス、近頃文部省ガ國語調査會ヲ開イテ、サウシテ漢字ヲ制限スルト云フコトノ企ナシテ居リマス、是ハ必シモ惡イコトデハナイ、恐イコトデハアリマセヌガ、漢字ヲ制限シテサウシテ日本ノ國語ヲ發達セシメヤウト云フヤウナ考ハ、甚ダ不徹底ナル、政策ニアラテ、私ハ決シテ之ヲ絕對ニ排斥スル者ハナイガ、漢字ヲ制限シテソレニ依テ日本ノ國語ヲ緩ルヤウナコトハ、非常ニ不賢明ナ政策アルト思ノデアリマス、ソレハ何故デアルカト云フト、元來漢字ト云フモノハ澤山ニ文字ヲ知テ居ル所ニ非常ニ趣味ガアルノア、良イ文章ヲ繕リ、氣力アタル或ハ優美ナル文字ヲ澤山並ベルト云フコトニ漢字ト云フモノハ趣味ガアルノア、其趣味ヲ取除ケテ、サウシテ僅カナル二千字デアルトカ、二千五百字ナリト云フヤウナ判リ切タノ簡單ナ漢字ノミニ制限シテ之ニ依テ文章ヲ書イタリ繕タリスルト云フコトハ、漢字ノ一番長所ヲ沒却スルモノア、其色とノムヅカシイ、込入ヶ晝ノヤウナ文字ヲ排斥スルト云フコトハ、漢字ノ精神ヲ失クスルコトアル、斯ウ云フ事ニ依テ日本ノ國語ヲ讀ラントスルト云フコトハ、全ク不徹底ナ話テ提出致シタノデアリマス、現在ノ我國ノ國語ハ、申ス迄モナク漢字ト假名ノ併用ヲ致シテ國語ヲ以テ居ルノアリマスガ、凡ソ漢字程厄介ナルモノハナイト忍ヒマス、元來漢字ハ形象文字ノ變化シタル所ノ一ツノ符合字デアリマシテ、既ニ依テ見ル所ノ一文字デアリテ耳ニ依テ聽クコトニ於テハ甚ダ不完全ナ制リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シク之ガ讀メル者ゾコトハ非常ニ困難ナモノアリマス、一ツノ漢字ニ付テ聲トテ聲不完全ナ制リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シク之ガ讀メル者ハ――知ラナイ所ノ姓名、或ハ人名ヲ正當ニ讀ミ得ル者ハ殆ド無イト云フ位アリマス、御互ニ此議員ガ能ク顎ヲ仰テ羅リマスガ、此議員ノ姓名サヘモ相當ニ發音シテ、耳ニ滑カニ且ツ柔カク、丁度南歐羅巴ノ伊太利語、或ハ

若クハ完全ニ讀下シヲナシ得ル者ハ、議員中甚ダ少イト思ヒマス、又斯ウ云フ面倒ナ厄介ナ漢字ヲ使テ、今日ノ吾々ノ國語ヲ級ヲテ居ルノデアリマスガ此爲ニ、吾々國民ガ漢字ノ爲ニドレダケノ時間ヲ無益ニ費シテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、非常ニ驚クベキ所ノ損失ヲシテ居ルノデアリマス、近頃文部省ガ國語調査會ヲ開イテ、サウシテ漢字ヲ制限スルト云フコトノ企ナシテ居リマス、「ローマ」字ノ數ハ中ス迄モナク平假名イ、恐イコトデハアリマセヌガ、漢字ヲ制限シテサウシテ日本ノ國語ヲ發達セシメヤウト云フヤウナ考ハ、甚ダ不徹底ナル、政策ニアラテ、私ハ決シテ之ヲ絕對ニ排斥スル者ハナイガ、漢字ヲ制限シテソレニ依テ日本ノ國語ヲ緩ルヤウナコトハ、非常ニ不賢明ナ政策アルト思ノデアリマス、ソレハ何故デアルカト云フト、元來漢字ト云フモノハ澤山ニ文字ヲ知テ居ル所ニ非常ニ趣味ガアルノア、良イ文章ヲ繕リ、氣力アタル或ハ優美ナル文字ヲ澤山並ベルト云フコトニ漢字ト云フモノハ趣味ガアルノア、其趣味ヲ取除ケテ、サウシテ僅カナル二千字デアルトカ、二千五百字ナリト云フヤウナ判リ切タノ簡單ナ漢字ノミニ制限シテ之ニ依テ文章ヲ書イタリ繕タリスルト云フコトハ、漢字ノ一番長所ヲ沒却スルモノア、其色とノムヅカシイ、込入ヶ晝ノヤウナ文字ヲ排斥スルト云フコトハ、漢字ノ精神ヲ失クスルコトアル、斯ウ云フ事ニ依テ日本ノ國語ヲ讀ラントスルト云フコトハ、全ク不徹底ナ話テ提出致シタノデアリマス、現在ノ我國ノ國語ハ、申ス迄モナク漢字ト假名ノ併用ヲ致シテ國語ヲ以テ居ルノアリマスガ、凡ソ漢字程厄介ナルモノハナイト忍ヒマス、元來漢字ハ形象文字ノ變化シタル所ノ一ツノ符合字デアリマシテ、既ニ依テ見ル所ノ一文字デアリテ耳ニ依テ聽クコトニ於テハ甚ダ不完全ナ制リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シク之ガ讀メル者ゾコトハ非常ニ困難ナモノアリマス、一ツノ漢字ニ付テ聲トテ聲不完全ナ制リ惡イ所ノ文字デアリマス、見ナケレバ能ク判ラナイ、聽イテハ分ラナイト云フヤウナ性質ヲ帶ビテ居ル所ノ文字デアリマス、又書イテ正シク之ガ讀メル者ハ――知ラナイ所ノ姓名、或ハ人名ヲ正當ニ讀ミ得ル者ハ殆ド無イト云フ位アリマス、御互ニ此議員ガ能ク顎ヲ仰テ羅リマスガ、此議員ノ姓名サヘモ相當ニ發音シテ、耳ニ滑カニ且ツ柔カク、丁度南歐羅巴ノ伊太利語、或ハ

佛蘭西語古ノ羅典ハ語ニ繁縝タル音調ヲ持テ居リマス、此點ガ今日ノ北歐羅巴ノ芬蘭、若クハ「ジヤマニ」邊リノ言葉ヨリモ、非常ニ滑カニシテ優美ナル性質ヲ持テ居ルモノデアリマス、此大和言葉ヲ發達スル事ハ眞ノ日本ノ文學ヲ發達スル上ニ於テ、非常ニ必要ナルコトデアリマス、日本ノ眞ノ文學ヲ發達スニハ、吾々ノ民族語ヲ能ク整頓シテ、之ヲ發達スルヨリ外ニ、眞ニ日本ノ將來ノ文學ハ起ラヌト思ヒマス、漢字ノ使用ト云フモノガドレ程日本ノ民族ノ眞ノ言葉ノ發達ニ妨害トナルカ、漢字ヲ使用シテ居ルガ爲ニ、大和言葉ノ發達ト云フモノガ阻礙サレテ居リマス、前申セヤウニ漢字ト云フモノハ象形文字ノ變化シタルモノアツテ、形ニ於テ見ル所ノ言葉デアツテ、耳ニ於テ聽クトコロノ言葉デハナイ隨テ見ナケレバ、判然ト分ラヌ、聽イタノデハ能ク分ラヌト云フコトガ、即チ今日ノ文章ト言語トノ間に別々ノ相違ヲ起ス所以デアツテ、手紙ヲ書ク上ニ於テモ、別ノ文字ガ行ハレルヤウニナシテ、日本ノ國語ハ語ス言葉ト書ク文章ト、手紙ト、三體ノ異シタ狀態ヲナシテ居ル、所謂國語ガ三通りニ岐レテ居ルノア、斯ル不完全ナル日本語ノ狀態ニ於テハ、眞ニ日本ノ國語ヲ發達シテ行クコトハ出來ナシ、其根本ノ病源ハ何處ニアルカト云ヘバ、漢字ヲ使用シテ居ルト云フコトニ歸著シテ居ルノデアリマス、此漢字ヲ使用スル間ハ、更ニ大ナル不便ガアルト云フコトハ、先づ第一ニ吾々ガ支那カラ輸入セレタ漢字ヲ學アガ爲ニ、絶工ズ支那人ヨリハ馬鹿ニセラレテ居ル、支那ノ學者カラ見シベ、日本ノ學者ノ漢字ノ使ヒ方ハ成シテ居ラナイ、故ニ支那人ハ絶工ズ日本入ニ對シテ輕侮ノ念ヲ持テ居ル、又文章ニシテモ、或ハ思想ニシテモ、漢字ヲ使テ居ル間ハ絶エズ支那ノ學者ヤ文學者ノ粕ヲ嘗メテ居ルト一槽粕ヲ嘗メテ居ル、精神的ニモ亦漢字ヲ吾々が平素使用シテ居ルカ爲ニ、所謂支那人ノ精神的奴隸トナッテ居ル、眞ニ獨立ノ精神ヲ以テ漢學ノ思想ヨリ離レテ獨立ノ精神ヲ日本國民ガ發揮スルト云フコトニ付テハ、吾々ハ普通ノ使用文字カラ漢字ヲ排斥スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、然ラガレバ大和民族ノ眞ノ文字ト云フモナハ起テ來ナシテ、信ムルソデアリマス、其著シキ例ハ「丁度歐羅巴」ニ於テ羅甸語ヲ使用シテ居ル間ハ、今日ノヤウナ獨逸語モ、英吉利ヤ「ミルトン」ノヤウナ大文學者ガ起シテ來ナカッタケレドモ、羅甸語ヲ中世ニ於テ廢メテ羅馬字ヲ以テ國語ヲ綴ルヤウニアシテ、茲ニ初テ獨逸文學ガ興リ、英吉利文學ガ興リ、佛蘭西文學ガ興シテ、隨テ其文字ノ中カラ、例ヘバ英吉利ノ文學ノ中カラ「セキスピテ漢字ヲ此儘ニ施セシマスト云フコトヲ言フノデハナイ、此ノ言葉ガ眞ニ發達シテ來ナシ全ナル國文ガ出來タス時ヒ

議會ニ於テモ既ニ漢學振興ノ建議案ナドモ出マシタ、又漢學熱心ノ諸君モアリマス、吾々之ニ反対スルノデハナイガ漢字ヲ一般普通國民ノ教育カラ取去テ漢學ハ丁度歐羅巴ノ學者ガ羅甸語ヤ希臘語ヲ研究スルト同ジヤウナ深イ研究ニ任シテ、普通ノ教育ヨリ漢學ヲ取ルコト、歐羅巴ニ於テ達スルヨリ外ニ、眞ニ日本ノ將來ノ文學ハ起ラヌト思ヒマス、漢字ノ使用ト云フモノガドレ程日本ノ民族ノ眞ノ言葉ノ發達ニ妨害トナルカ、漢字ヲ使用シテ居ルガ爲ニ、大和言葉ノ發達ト云フモノガ阻礙サレテ居リマス、前申セヤウニ漢字ト云フモノハ象形文字ノ變化シタルモノアツテ、形ニ於テ見ル所ノ言葉デアツテ、耳ニ於テ聽クトコロノ言葉デハナイ隨テ見ナケレバ、判然ト分ラヌ、聽イタノデハ能ク分ラヌト云フコトガ、即チ今日ノ文章ト言語トノ間に別々ノ相違ヲ起ス所以デアツテ、手紙ヲ書ク上ニ於テモ、別ノ文字ガ行ハレルヤウニナシテ、日本ノ國語ハ語ス言葉ト書ク文章ト、手紙ト、三體ノ異シタ狀態ヲナシテ居ル、所謂國語ガ三通りニ岐レテ居ルノア、斯ル不完全ナル日本語ノ狀態ニ於テハ、眞ニ日本ノ國語ヲ發達シテ行クコトハ出來ナシ、其根本ノ病源ハ何處ニアルカト云ヘバ、漢字ヲ使用シテ居ルト云フコトニ歸著シテ居ルノデアリマス、此漢字ヲ使用スル間ハ、更ニ大ナル不便ガアルト云フコトハ、先づ第一ニ吾々ガ支那カラ輸入セレタ漢字ヲ學アガ爲ニ、絶工ズ支那人ヨリハ馬鹿ニセラレテ居ル、支那ノ學者カラ見シベ、日本ノ學者ノ漢字ノ使ヒ方ハ成シテ居ラナイ、故ニ支那人ハ絶工ズ日本入ニ對シテ輕侮ノ念ヲ持テ居ル、又文章ニシテモ、或ハ思想ニシテモ、漢字ヲ使テ居ル間ハ絶エズ支那ノ學者ヤ文學者ノ粕ヲ嘗メテ居ルト一槽粕ヲ嘗メテ居ル、精神的ニモ亦漢字ヲ吾々が平素使用シテ居ルカ爲ニ、所謂支那人ノ精神的奴隸トナッテ居ル、眞ニ獨立ノ精神ヲ以テ漢學ノ思想ヨリ離レテ獨立ノ精神ヲ日本國民ガ發揮スルト云フコトニ付テハ、吾々ハ普通ノ使用文字カラ漢字ヲ排斥スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、然ラガレバ大和民族ノ眞ノ文字ト云フモナハ起シテ來ナシテ、信ムルソデアリマス、其著シキ例ハ「丁度歐羅巴」ニ於テ羅甸語ヲ使用シテ居ル間ハ、今日ノヤウナ獨逸語モ、英吉利ヤ「ミルトン」ノヤウナ大文學者ガ起シテ來ナカッタケレドモ、羅甸語ヲ中世ニ於テ廢メテ羅馬字ヲ以テ國語ヲ綴ルヤウニアシテ、茲ニ初テ獨逸文學ガ興リ、英吉利文學ガ興リ、佛蘭西文學ガ興シテ、隨テ其文字ノ中カラ、例ヘバ英吉利ノ文學ノ中カラ「セキスピテ漢字ヲ此儘ニ施セシマスト云フコトヲ言フノデハナイ、此ノ言葉ガ眞ニ發達シテ來ナシ全ナル國文ガ出來タス時ヒ

議會ニ於テモ既ニ漢學振興ノ建議案ナドモ出マシタ、又漢學熱心ノ諸君モアリマス、吾々之ニ反対スルノデハナイガ漢字ヲ一般普通國民ノ教育カラ取去テ漢學ハ丁度歐羅巴ノ學者ガ羅甸語ヤ希臘語ヲ研究スルト同ジヤウナ深イ研究ニ任シテ、普通ノ教育ヨリ漢學ヲ取ルコト、歐羅巴ニ於テ達スルヨリ外ニ、眞ニ日本ノ將來ノ文學ハ起ラヌト思ヒマス、漢字ノ使用ト云フモノガドレ程日本ノ民族ノ眞ノ言葉ノ發達ニ妨害トナルカ、漢字ヲ使用シテ居ルガ爲ニ、大和言葉ノ發達ト云フモノガ阻礙サレテ居リマス、前申セヤウニ漢字ト云フモノハ象形文字ノ變化シタルモノアツテ、形ニ於テ見ル所ノ言葉デアツテ、耳ニ於テ聽クトコロノ言葉デハナイ隨テ見ナケレバ、判然ト分ラヌ、聽イタノデハ能ク分ラヌト云フコトガ、即チ今日ノ文章ト言語トノ間に別々ノ相違ヲ起ス所以デアツテ、手紙ヲ書ク上ニ於テモ、別ノ文字ガ行ハレルヤウニナシテ、日本ノ國語ハ語ス言葉ト書ク文章ト、手紙ト、三體ノ異シタ狀態ヲナシテ居ル、所謂國語ガ三通りニ岐レテ居ルノア、斯ル不完全ナル日本語ノ狀態ニ於テハ、眞ニ日本ノ國語ヲ發達シテ行クコトハ出來ナシ、其根本ノ病源ハ何處ニアルカト云ヘバ、漢字ヲ使用シテ居ルト云フコトニ歸著シテ居ルノデアリマス、此漢字ヲ使用スル間ハ、更ニ大ナル不便ガアルト云フコトハ、先づ第一ニ吾々ガ支那カラ輸入セレタ漢字ヲ學アガ爲ニ、絶工ズ支那人ヨリハ馬鹿ニセラレテ居ル、支那ノ學者カラ見シベ、日本ノ學者ノ漢字ノ使ヒ方ハ成シテ居ラナイ、故ニ支那人ハ絶工ズ日本入ニ對シテ輕侮ノ念ヲ持テ居ル、又文章ニシテモ、或ハ思想ニシテモ、漢字ヲ使テ居ル間ハ絶エズ支那ノ學者ヤ文學者ノ粕ヲ嘗メテ居ルト一槽粕ヲ嘗メテ居ル、精神的ニモ亦漢字ヲ吾々が平素使用シテ居ルカ爲ニ、所謂支那人ノ精神的奴隸トナッテ居ル、眞ニ獨立ノ精神ヲ以テ漢學ノ思想ヨリ離レテ獨立ノ精神ヲ日本國民ガ發揮スルト云フコトニ付テハ、吾々ハ普通ノ使用文字カラ漢字ヲ排斥スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、然ラガレバ大和民族ノ眞ノ文字ト云フモナハ起シテ來ナシテ、信ムルソデアリマス、其著シキ例ハ「丁度歐羅巴」ニ於テ羅甸語ヲ使用シテ居ル間ハ、今日ノヤウナ獨逸語モ、英吉利ヤ「ミルトン」ノヤウナ大文學者ガ起シテ來ナカッタケレドモ、羅甸語ヲ中世ニ於テ廢メテ羅馬字ヲ以テ國語ヲ綴ルヤウニアシテ、茲ニ初テ獨逸文學ガ興リ、英吉利文學ガ興リ、佛蘭西文學ガ興シテ、隨テ其文字ノ中カラ、例ヘバ英吉利ノ文學ノ中カラ「セキスピテ漢字ヲ此儘ニ施セシマスト云フコトヲ言フノデハナイ、此ノ言葉ガ眞ニ發達シテ來ナシ全ナル國文ガ出來タス時ヒ

議會ニ於テモ既ニ漢學振興ノ建議案ナドモ出マシタ、又漢學熱心ノ諸君モアリマス、吾々之ニ反対スルノデハナイガ漢字ヲ一般普通國民ノ教育カラ取去テ漢學ハ丁度歐羅巴ノ學者ガ羅甸語ヤ希臘語ヲ研究スルト同ジヤウナ深イ研究ニ任シテ、普通ノ教育ヨリ漢學ヲ取ルコト、歐羅巴ニ於テ達スルヨリ外ニ、眞ニ日本ノ將來ノ文學ハ起ラヌト思ヒマス、漢字ノ使用ト云フモノガドレ程日本ノ民族ノ眞ノ言葉ノ發達ニ妨害トナルカ、漢字ヲ使用シテ居ルガ爲ニ、大和言葉ノ發達ト云フモノガ阻礙サレテ居リマス、前申セヤウニ漢字ト云フモノハ象形文字ノ變化シタルモノアツテ、形ニ於テ見ル所ノ言葉デアツテ、耳ニ於テ聽クトコロノ言葉デハナイ隨テ見ナケレバ、判然ト分ラヌ、聽イタノデハ能ク分ラヌト云フコトガ、即チ今日ノ文章ト言語トノ間に別々ノ相違ヲ起ス所以デアツテ、手紙ヲ書ク上ニ於テモ、別ノ文字ガ行ハレルヤウニナシテ、日本ノ國語ハ語ス言葉ト書ク文章ト、手紙ト、三體ノ異シタ狀態ヲナシテ居ル、所謂國語ガ三通りニ岐レテ居ルノア、斯ル不完全ナル日本語ノ狀態ニ於テハ、眞ニ日本ノ國語ヲ發達シテ行クコトハ出來ナシ、其根本ノ病源ハ何處ニアルカト云ヘバ、漢字ヲ使用シテ居ルト云フコトニ歸著シテ居ルノデアリマス、此漢字ヲ使用スル間ハ、更ニ大ナル不便ガアルト云フコトハ、先づ第一ニ吾々ガ支那カラ輸入セレタ漢字ヲ學アガ爲ニ、絶工ズ支那人ヨリハ馬鹿ニセラレテ居ル、支那ノ學者カラ見シベ、日本ノ學者ノ漢字ノ使ヒ方ハ成シテ居ラナイ、故ニ支那人ハ絶工ズ日本入ニ對シテ輕侮ノ念ヲ持テ居ル、又文章ニシテモ、或ハ思想ニシテモ、漢字ヲ使テ居ル間ハ絶エズ支那ノ學者ヤ文學者ノ粕ヲ嘗メテ居ルト一槽粕ヲ嘗メテ居ル、精神的ニモ亦漢字ヲ吾々が平素使用シテ居ルカ爲ニ、所謂支那人ノ精神的奴隸トナッテ居ル、眞ニ獨立ノ精神ヲ以テ漢學ノ思想ヨリ離レテ獨立ノ精神ヲ日本國民ガ發揮スルト云フコトニ付テハ、吾々ハ普通ノ使用文字カラ漢字ヲ排斥スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、然ラガレバ大和民族ノ眞ノ文字ト云フモナハ起シテ來ナシテ、信ムルソデアリマス、其著シキ例ハ「丁度歐羅巴」ニ於テ羅甸語ヲ使用シテ居ル間ハ、今日ノヤウナ獨逸語モ、英吉利ヤ「ミルトン」ノヤウナ大文學者ガ起シテ來ナカッタケレドモ、羅甸語ヲ中世ニ於テ廢メテ羅馬字ヲ以テ國語ヲ綴ルヤウニアシテ、茲ニ初テ獨逸文學ガ興リ、英吉利文學ガ興リ、佛蘭西文學ガ興シテ、隨テ其文字ノ中カラ、例ヘバ英吉利ノ文學ノ中カラ「セキスピテ漢字ヲ此儘ニ施セシマスト云フコトヲ言フノデハナイ、此ノ言葉ガ眞ニ發達シテ來ナシ全ナル國文ガ出來タス時ヒ

議會ニ於テモ既ニ漢學振興ノ建議案ナドモ出マシタ、又漢學熱心ノ諸君モアリマス、吾々之ニ反対スルノデハナイガ漢字ヲ一般普通國民ノ教育カラ取去テ漢學ハ丁度歐羅巴ノ學者ガ羅甸語ヤ希臘語ヲ研究スルト同ジヤウナ深イ研究ニ任シテ、普通ノ教育ヨリ漢學ヲ取ルコト、歐羅巴ニ於テ達スルヨリ外ニ、眞ニ日本ノ將來ノ文學ハ起ラヌト思ヒマス、漢字ノ使用ト云フモノガドレ程日本ノ民族ノ眞ノ言葉ノ發達ニ妨害トナルカ、漢字ヲ使用シテ居ルガ爲ニ、大和言葉ノ發達ト云フモノガ阻礙サレテ居リマス、前申セヤウニ漢字ト云フモノハ象形文字ノ變化シタルモノアツテ、形ニ於テ見ル所ノ言葉デアツテ、耳ニ於テ聽クトコロノ言葉デハナイ隨テ見ナケレバ、判然ト分ラヌ、聽イタノデハ能ク分ラヌト云フコトガ、即チ今日ノ文章ト言語トノ間に別々ノ相違ヲ起ス所以デアツテ、手紙ヲ書ク上ニ於テモ、別ノ文字ガ行ハレルヤウニナシテ、日本ノ國語ハ語ス言葉ト書ク文章ト、手紙ト、三體ノ異シタ狀態ヲナシテ居ル、所謂國語ガ三通りニ岐レテ居ルノア、斯ル不完全ナル日本語ノ狀態ニ於テハ、眞ニ日本ノ國語ヲ發達シテ行クコトハ出來ナシ、其根本ノ病源ハ何處ニアルカト云ヘバ、漢字ヲ使用シテ居ルト云フコトニ歸著シテ居ルノデアリマス、此漢字ヲ使用スル間ハ、更ニ大ナル不便ガアルト云フコトハ、先づ第一ニ吾々ガ支那カラ輸入セレタ漢字ヲ學アガ爲ニ、絶工ズ支那人ヨリハ馬鹿ニセラレテ居ル、支那ノ學者カラ見シベ、日本ノ學者ノ漢字ノ使ヒ方ハ成シテ居ラナイ、故ニ支那人ハ絶工ズ日本入ニ對シテ輕侮ノ念ヲ持テ居ル、又文章ニシテモ、或ハ思想ニシテモ、漢字ヲ使テ居ル間ハ絶エズ支那ノ學者ヤ文學者ノ粕ヲ嘗メテ居ルト一槽粕ヲ嘗メテ居ル、精神的ニモ亦漢字ヲ吾々が平素使用シテ居ルカ爲ニ、所謂支那人ノ精神的奴隸トナッテ居ル、眞ニ獨立ノ精神ヲ以テ漢學ノ思想ヨリ離レテ獨立ノ精神ヲ日本國民ガ發揮スルト云フコトニ付テハ、吾々ハ普通ノ使用文字カラ漢字ヲ排斥スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、然ラガレバ大和民族ノ眞ノ文字ト云フモナハ起シテ來ナシテ、信ムルソデアリマス、其著シキ例ハ「丁度歐羅巴」ニ於テ羅甸語ヲ使用シテ居ル間ハ、今日ノヤウナ獨逸語モ、英吉利ヤ「ミルトン」ノヤウナ大文學者ガ起シテ來ナカッタケレドモ、羅甸語ヲ中世ニ於テ廢メテ羅馬字ヲ以テ國語ヲ綴ルヤウニアシテ、茲ニ初テ獨逸文學ガ興リ、英吉利文學ガ興リ、佛蘭西文學ガ興シテ、隨テ其文字ノ中カラ、例ヘバ英吉利ノ文學ノ中カラ「セキスピテ漢字ヲ此儘ニ施セシマスト云フコトヲ言フノデハナイ、此ノ言葉ガ眞ニ發達シテ來ナシ全ナル國文ガ出來タス時ヒ

軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、仙波太郎君外二名提出

第二十三 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案（仙波太郎君外二名提出）

下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案

下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案

帝國陸海軍ノ現役豫後備將校下士卒並廢兵ノ待遇ニ關スル規定ハ孰レモ數十年前ノ制定ニ係リ時勢ニ進展ニ伴ハサル點甚ダ多シ近年少シ改善セラレタルトコロアリト雖殆ト謂フニ足ラス若此ノ儘ニ推移シテ願ルナカラムカ實ニ國防ノ基礎ヲ危クスルノミナラス軍人思想ノ悪化ヲ來スモノナリト認ム依テ政府ハ尠クモ左記諸項ニ就テ速ニ審議改善ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

一陸軍現役兵一二等卒ノ日給ハ少クモ二十錢ニ増額

現役兵ノ日給ハ少額ニ過キ物價騰貴ノ今日ニ於テハ日用ヲ辨スルニ足ラス故ニ少クモ二十錢ニ増額シ以テ家庭ヨリ送金スルニ要ナキニ至ラシメ其ノ他日用消耗品ノ給與ニモ總テ改善ヲ施サレタシ

一年以上ノ陸海軍現役完了者ニハ選舉權ヲ付與

スルコト

兵役ノ義務納稅ノ義務トハ憲法上ニ規定セラレタル

臣民ノ二大義務ニシテ彼是甲乙アルコトナシ然ルニ現行制度ニ於テハ納稅ノ義務ノミヲ認容シテ兵役ノ義務ヲ度外視サレタルハ甚ダ不均衡ノ制度ト謂ハサルヘカラス抑兵役義務ハ現役間ニミニ在ラス豫後備

役及國民軍ヲ連シ幾ト終身血稅ヲ拂ヒ國家ノ干城ノ願ニ依リ再ヒ症項査定ヲ爲シ恩給授與ノ途ヲ開ク

一軍人恩給法ハ數次改正セラレタルモ皆一時ノ潤縫策

給及遺族扶助料ヲ増額シ且戰傷及公傷ニ基因シテ身ノシテ不備不公平時勢ノ進歩ニ伴ハス故ヲ以テ四十ニ回議會ニ於テハ政府ハ恩給法ヲ根柢ヨリ改正スルヲ宣明サレタルニ拘ラス毫モ改正サルルノ模様ナク之カ爲恩給者生計ノ窮困依然トシテ減少セサルコトハ

本期議會ニ出テシ恩給法改正請願者ノ多數ナルヲ以テモ之ヲ證シテ餘リアリ殊ニ下士以下ノ廢兵ニ至タルモノアリ父母妻子ハ勿論自己ノ糊口ニモ窮スルノ状態ニ在リ過般廢兵ノ一團上京シテ大藏大臣及二三ノ貴族院議員ニ情願セリト聞ク是レ決シテ一小些事トシテ看過スヘキニ非ス今ニシテ恩給法ノ改善ヲ講セラレヌムハ或ハ恐ル戰傷者等ノ悲慘ナル運命ヲ目観セル國民ハ之カ爲終ニ忠勇ノ精神ヲ完ク消滅シ去ルニ至ラムコトヲ

尚附言スヘキハ文官ノ遺族扶助料ハ增加恩給ヲ加へ施シ以テ待遇ヲ改善セラレムコトヲ望ム

一廢兵〔恩給法第九條第六項症以上〕ハ將校下士卒ヲ問ハス介助者〔恩給法第九條第四項症以上〕ト共ニ一律ニ官私汽車船無貨乗リ込ミヲ許スハ勿論其ノ手續ヲ簡單ニシ又戰鬪或ハ公務ニ因リ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ死沒シタル者及廢兵ノ遺族ニ對シテハ各種學校ノ授業料ヲ免除シ又廢兵院入院者ノ家族ニハ恩給全額ヲ與フルハ勿論同伴セシ家族ニハ住家ヲ無質貸與スベク其ノ他廢兵ナル名稱ハ不適當ナル依リ改メ勤士若ハ功勞兵ト爲シ公會祭祀等ノ機

會ニ於テ可及の名譽ヲ與フルコト以上ノ外聯隊區司令官或ハ部員ハ少クモ年一回廢兵ノ家宅ヲ慰問シ不適當ナルモノハ陸軍省醫務局長ト交渉シテ實用ニ適スルモノト交換セシメ之カ爲ニ上京ノ必要生スルトキハ往復舟車ノ無貨乗用並滞京中ハ廢兵院ニ無償宿泊シ得ル煩勞ヲ執ラレタシ從來廢兵ノ旅行ハ頗ル不便不利ニシテ同情スヘキ點甚ダ多く又彼等ノ家族遣族ヲ休護シ彼等ニ禮遇ヲ與ハ及適當ノ生業ニ就カシムコトニ就キ遺憾少カラス依テ前記ノ如ク改善ヲ望ム

一軍人恩給法ヲ根本ヨリ改正シ公正ヲ得シメ增加恩給及遺族扶助料ヲ増額シ且戰傷及公傷ニ基因シテ身ノシテ不備不公平時勢ノ進歩ニ伴ハス故ヲ以テ四十ニ回議會ニ於テハ政府ハ恩給法ヲ根柢ヨリ改正スルモニハ下級軍人殊ニ廢兵遺族トス故ニ之カ待遇ヲ改善スルハ否ニ彼等ヲ満足歡喜セシム爲ノミナラス延テ一般國民ヲシテ感奮興起機性的精神ヲ以テ國家社會ニ奉仕セムトスルノ念ヲ生セシムモノナレハ特ニシテ不備不公平時勢ノ進歩ニ伴ハス故ヲ以テ四十ニ回議會ニ於テハ政府ハ恩給法ヲ根柢ヨリ改正スルモニハ下級軍人殊ニ廢兵遺族トス故ニ之カ待遇ヲ改善スルハ否ニ彼等ヲ満足歡喜セシム爲ノミナラス延テ一般國民ヲシテ感奮興起機性的精神ヲ以テ法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマ

ト認メマス、仍テ動議ノ如ク決

○副議長柏谷義三君 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイ

之ヲ要スルニ今日ノ社會ニ於テ不幸不遇最憐ムヘキ境遇ニ在ルモノハ下級軍人殊ニ廢兵遺族トス故ニ之カ待遇ヲ改善スルハ否ニ彼等ヲ満足歡喜セシム爲ノミナラス延テ一般國民ヲシテ感奮興起機性的精神ヲ以テ法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマ

ト認メマス、仍テ動議ノ如ク決

○副議長柏谷義三君 鈴木君ノ動議ニ御異議ナリ致シマス、即チ茲ニ政府提出取引所稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレントコトヲ望ミマス

〔「賛成々々ト呼フ者アリ」〕

○鈴木錠藏君 議事日程變更ニ關シ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ政府提出取引所稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレントコトヲ望ミマス

○副議長柏谷義三君 鈴木君ノ動議ニ御異議ナリ致シマス、仍テ日程ハ變更セラレシタ、取引所稅法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、川原茂輔君

取引所税法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月二十二日

取引所税法中改正法律案委員長

(川原茂輔君登壇)

衆議院議長奥繁三郎殿

川原 茂輔

○川原茂輔君 取引所税法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此税法改正法律案ハ、取引所法中改正法律案ヲ提出サレマシタ結果、即チ此案が提出ニアリマス、然ル所、取引所法案ハ貴族院ニ於テハ既ニ議了ツ致シ本院ニ回付ニナシテ居リマスガ、此取引所法ノ決定ヲ待ツタ後、此税法案ノ審議ヲ爲ストスレバ、會期切迫ノ場合甚ダ其成立ノ上ニ於テ懸念ヲスル次第ニアリマス、仍テ今委員會ニ於テハ兩案ノ質問ヲ終了シ、本案ニ向テ決定ヲ致シマシタノデアリマスガ、右ノ次第二依テ取引所法改正案ハ今質問繼續中ニアリマス、ア本案ハ成立ノ利便ノ爲ニ先キニ上程ヲ致シ、委員會ニ於テハ即チ過半數ノ同意ヲ得マシテ、本案ヲ採用ニ決定シタノニアリマス、ドウカ諸君ニ於セラレマシテハ、此法律案ニ御賛成ノ上、本日中ニ貴族院ニ送付シテ、取引所法改正案ト共ニ成立シ、經濟界ノ安定ヲ圖ラレンコトヲ欲スル次第ニアリマスカラ、御贊成ヲ願ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮詢致シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ二讀會ヲ開クニ決シマシタ
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○副議長(柏谷義三君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開キ、本案全部ヲ議題ト致シマス

取引所税法中改正法律案

第二讀會(確定議)

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本

案ハ委員長報告ノ通り、第三讀會ヲ省略シテ可決確定サレマシタ(拍手)日程第二十四、別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、陣軍吉君

第二十四 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案

講案(陣軍吉君外三名提出)

別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案

別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案

宮崎縣西諸縣郡高原村鎮座狹野神社ハ官幣大社宮崎

崎神宮ノ別宮ニシテ皇祖神武天皇御降誕ノ靈蹟ナリ

人皇五代孝昭天皇御宇ノ御發營ニ係リ第三十代敏達

天皇御詔書ヲ以テ霧島狹野權現ト改メラレ爾來幾多

ノ變遷ヲ經テ明治維新ノ際狹野神社ト稱セラル而シテ

神武天皇ノ御幼名ヲ狹野尊ト稱シ奉リシモ全ク御降誕

地名ヲ用ヒ給ヒシコトハ舊記ニ明ナリ故ニ歷代天皇ノ

崇敬篤ク舊薩摩藩主島津公ノ此ノ地ヲ領セラルヤ尊

崇殊ニ深ク社領五百石ヲ供進シ十數回ニ涉ル社殿ノ

改修ハ總テ藩費ヲ以テ支辨サレタリ明治六年縣社ニ列

セラレタリト雖苟モ天皇御發祥ノ靈地狹野神社ヲシテ

縣社タラシムルハ誠ニ恐懼ニ堪ヘサルヲ以テ宮崎宮社ハ

最密接至大ノ關係ヲ有スルカ爲大正四年六月其ノ別宮

ニ指定セラレタリト雖之カ爲ニ却テ神饌幣帛供進ノ祭

祀ヲ廢止セラレタルハ御神靈眷慰ノ道ヲ缺キ延テ神祇

崇敬ノ念ヲ減退セシムルノ恐アルヲ遺憾トス

本社境内ハ一萬九千餘坪ヲ有シ十六万餘圓ノ資金ヲ

有ス更ニ境內ノ老杉所謂狹野杉ハ時價百万圓ヲ下ラ

ス之ヲ官幣社ニ昇格セラルモ其ノ維持經營上毫モ憂

フルトコロナシ義ニ 今上陛下未タ東宮ニ在マスノ時偶

宮崎縣ニ行啓アセラルヤ特ニ侍從ヲ遣ハセラ幣帛ノ奉納アリ、尚大正九年三月 皇太子殿下宮崎縣下行

啓ニ際シテハ畏クモ御直參アラセラレ幣帛ノ奉納並御

手植ノ御事アリタリ建國一千六百年前皇祖神武天皇

御發祥ノ靈蹟タル狹野神社ニ對シ僅ニ宮崎神宮ノ指

定別宮トシテ待遇セラルハ誠ニ恐懼措クトコロアリラ

ス依テ宮崎神宮ヨリ分立シテ更ニ官幣社ニ昇格セラレ

ムコトヲ望ム

右建議ス

(「陣軍吉君登壇」)

○陣軍吉君 時間ノ節約上極テ簡単ニ本案ノ説明ヲ致シマス、別宮狹野神社ハ官幣大社宮崎神宮ノ別宮トシテ指定セレタル所ノ神社デゴザイマス、是ハ神武天皇御發祥

ノ地アリマシテ、矢張神武天皇ヲ祭神トシタル所ノ神社デゴザイマス、歷代ノ天皇モ厚ク崇敬セラレマシテ、最モ由

緒深キ神社デアルノデゴザイマス、故ニ之ヲ宮崎神宮ヨリ分立致シ、シテ、單獨ニ官幣社ニ昇格セラレタイト云フ建議案デコザイマス、詳細ハ議長ノ許可ヲ得マシテ、速記錄ニ登載致スコトニ致シマスカラ、何卒御賛成アランコトヲ戴ヒマ

(参考)

別宮狹野神社ハ宮崎縣西諸縣郡高原村ニ鎮座 カミヤマト

伊波禮彦天皇ヲ祭神トセル神社ニシテ、官幣大社宮崎

神宮ノ別宮ニ指定セラレテ居ルノデアル、尙本社ニハ吾平津

姫命、天津彦々火瓈々杵尊、木花開耶姫命、彦火々出

見尊、豐玉姫命、彦波瀬武鷦鷯草葺不合尊、玉依姫命

ノ七神ヲ配祀サレアリマス、當神社ハ神武天皇ノ御降

誕ノ靈蹟アラセ、天皇ノ御幼名ヲ狹野尊ト稱ヘ奉リシ

モ畢竟此ノ地名ヲ御用ヒ遊バサレタルコトト信ジマス、故ニ今尚小狹野神社ノ附近ニ王子原、王子河原、產場石、

祓原、祓川、血拾木、赤池、狹野渡、鳥居原等ノ地名ノ

崇敬篤ク舊薩摩藩主島津公ノ此ノ地ヲ領セラルヤ尊

崇殊ニ深ク社領五百石ヲ供進シ十數回ニ涉ル社殿ノ

改修ハ總テ藩費ヲ以テ支辨サレタリ明治六年縣社ニ列

セラレタリト雖苟モ天皇御發祥ノ靈地狹野神社ヲシテ

縣社タラシムルハ誠ニ恐懼ニ堪ヘサルヲ以テ宮崎宮社ハ

最密接至大ノ關係ヲ有スルカ爲大正四年六月其ノ別宮

ニ指定セラレタリト雖之カ爲ニ却テ神饌幣帛供進ノ祭

祀ヲ廢止セラレタルハ御神靈眷慰ノ道ヲ缺キ延テ神祇

崇敬ノ念ヲ減退セシムルノ恐アルヲ遺憾トス

本社境内ハ一萬九千餘坪ヲ有シ十六万餘圓ノ資金ヲ

有ス更ニ境內ノ老杉所謂狹野杉ハ時價百万圓ヲ下ラ

ス之ヲ官幣社ニ昇格セラルモ其ノ維持經營上毫モ憂

フルトコロナシ義ニ 今上陛下未タ東宮ニ在マスノ時偶

宮崎縣ニ行啓アセラルヤ特ニ侍從ヲ遣ハセラ幣帛ノ

奉納アリ、尚大正九年三月 皇太子殿下宮崎縣下行

啓ニ際シテハ畏クモ御直參アラセラレ幣帛ノ奉納並御

手植ノ御事アリタリ建國一千六百年前皇祖神武天皇

御發祥ノ靈蹟タル狹野神社ニ對シ僅ニ宮崎神宮ノ指

定別宮トシテ待遇セラルハ誠ニ恐懼措クトコロアリラ

ス依テ宮崎神宮ヨリ分立シテ更ニ官幣社ニ昇格セラレ

ムコトヲ望ム

第五十代桓武天皇延歴七年七月神社ノ山上ニアル霧島山大ニ噴火シ黒煙天ヲ覆ヒ砂石ヲ五六里ニ遠キニ飛散シ其ノ砂石ノ堆積約一尺餘ニ及ビ社殿ハ勿論民家悉々全滅ニ歸シト云コトアリマスガ、爾後屢々噴火アリ就中四條天皇文歷元年十二月二十八日霧島山大火ニ鳴動シ焰石ヲ飛バシ熱砂ヲ降ラシ社殿寺宇悉々焼失サレタノテ止ムナク北諸縣郡高崎村東霧島神社ニ遷シ奉り、後奈良天皇天文十二年三至リ高原村大字西麓ニ假殿ヲ設ケテ遷座シ奉リシガ其ノ後霧島山ノ鳴動終熄シヲ以テ慶長十五年狹野舊地ニ還御サレタノデアリマス是ヨリ先キ正親町天皇天正四年霧島山大ニ地ノ領スルニ及ビ尊崇最も篤ク高五百石ノ社領ヲ供

進サレタノアタノデアリマス、尙ホ文祿年間豈臣太閤朝鮮征伐ニ際リ霧島山大ニ當リ狹野神社ニ戰

リ、八二七

勝新願セラレタノデ、無事凱旋ノ後慶長年間ニ至リ所
願奉賽トシテ島津公ノ重臣タル新納武藏守ヲ特ニ派遣
サレ神社境内全般ニ杉ヲ栽植シテ奉納サレタノデ、現今
境内ニ齋若トシテ天ニ等ヘテ居ル老杉ハ則チ此ノ杉デ
アル、今ヤ現在ノ杉ヲ時價ニ換算スルモ壹百萬圓ヲ下ダ
ラザル可シト思フ

寛永十四年十二月二十九日山野出火ノ爲メ寺院ハ燒
失サレタノデアル此ノ時重寶舊記等悉ク燒失セラレ、尙
未享保元年九月二十六日霧島山噴火シテ寺院ハ燒失

セシモ幸ニ社殿ハ無事アマ、タノニアリマス、同三年正月
三日又々猛烈ナル噴火アリ社頭門前、花堂、高松等ノ
部落都テ燒失シタノデアル、此ノ時ハ御神輿ヲ守護シ奉
リテ西諸縣郡小林細野實光院境内ニ遷座シ奉リ同五
年狹野ノ地ニ假殿寺ヲ造營セラレ同六年二月五日
小林細野ヨリ狹野ニ遷御セラレテ現今ニ及シ居ルノデ
アリマス以上ノ如ク慶長年間ヨリ明治維新ニ至ルノ間
神社寺院ノ改築修繕第十四回ノ多キニ達シテ居ル、如
上ノ點ハ舊記ニ明カナル次第アリマス、右社殿ノ改築
並ニ修繕等ハ全部唐屋藩主ノ藩費ヲ以テ之ニ充テラ
レタノ、尙ホ遷宮其ノ他ノ祭典等ニハ藩主ノ直參又ハ
代參等アリテ最モ嚴肅ニ施行セラレタノデアル、又夕島
津家其ノ他ヨリ奉納ノ古文書繪畫工藝品等ハ數次ノ
噴火災ノ爲メ全部焼失サレタノハ頗ル遺憾トスル所デア
リマス、幸ヒ現今迄遺存サレテ居ルモノハ享保年間ニ島
津藤次郎奉納ノ九形神鏡一面、文化年間ニ島津齊宜
公奉納ノ紙地冠幅参考等ニシテ其ノ他慶長六年十一
月二十六日太守忠恒公御再興ノ棟札寫一枚、右大臣
家熙公筆ノ色紙一枚アルノミアリマス

維新後明治六年五月ニ至リ縣社ニ列セラレタノデ同二
十九年四月三日ヲ以テ神倭伊波禮彦天皇ヲ正祭トス
ル祭神訂正ヲ出願セシニ同年五月二十九日許可サレタ
ノデアリマス更ニ明治十九年十一月今上陛下皇太子ト
辻侍從ヲ御使トシテ差遣ハサレ神饌盤帛料ノ奉獻アラ
セラレ尙未始一本戲樂アラセラレタノデアリマス

大正二年官幣大社宮崎神宮ノ別宮トシテ指定セラレタノデ
アリマス、更ニ大正九年三月 皇太子殿下裕仁親王殿
下官崎縣行啓ニ際シ同月二十七日御參拜幣帛料ノ供
進アリテ御意玉樹ノ御手禮アラセラレタノデアリマス、加
之皇子原ニハ皆ニ總介候後ヲ差遣ハサレタノデアリマス

以上述ブルカ如ク神武天皇御發祥ノ靈地タル狹野神
社ヲシテ單ニ宮崎神宮ノ別宮トシテ指定セラレタルハ崇
神全體セラレタルハ却テ御神靈奉慰奉安ノ道ヲ缺グ次
第ニテ廷ヒテ神祇崇敬ノ念ヲ滅退セシムルニ至ルノ恐レ
アルハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス

尙ホ一言スペキハ此ノ神社境内地ハ一万九千餘坪ニシ
テ更ニ擴張セントセバ其ノ餘地充分デアリマス而シテ神
社參道ノ老杉天ニ等ヘ境内コ流レ清泉ハ眞ニ神域ニ
入ルノ感ヲ深カラシノ近時青年學生等此ノ境内ニ於テ
思想ノ善導精神修養體力養成等ヲ爲スモノ漸次多キ
ヲ加ヘツツアルノデアリマス

茲ニ特ニ諸君ニ經介スベキハ本社ハ資金十六万餘圓
ノ多額ヲ有シ官幣社トシテ維持經營上何等支障ナキ
ノミナラズ若シ一朝暴雨等ノ爲メ老杉ノ倒ルアレバ
一本一万圓以上ノ價格ヲ有スルモノアルヲ以テ資金ノ
增加ハ之レガ爲益々其ノ多キヲ加フル次第アリマス
諸君、建國二千六百年前、皇祖神武天皇御發祥ノ此
ノ靈蹟ニ對シ僅カニ宮崎神宮ノ指定別宮トシテ待遇セ
ラルハ神聖ニ對シ奉リテ恐懼措ク所ヲ知ラザル次第ア
リマス、願クハ官幣大社宮崎神宮ヨリ此ノ際斷然分立
シテ更ニ獨立ノ官幣社ニ昇格セラレントヲ希望スルト
云フ建議アリマス、茲ニ本員が建議案トシテ提出シタ
ノハ全ク西北兩諸縣郡民ノ熱烈ナル希望ニ依ル次第
テ兩郡十九町村長ハ兩郡民ヲ代表シテ別ニ請願書ヲ
提出シ既ニ委員會ニ於テハ溝場一致採擇ニ決シマシタ
ノデアリマス、何卒本會ニ於テモ溝場一致ノ御賛成ヲ希
フト同時ニ政府ニ於テモ亦此ノ熱烈ナル希望ニ依ル次第
容レラレ速カニ昇格ノ御諮詢アランコトヲ切望スル次第
アリマス

○鈴木鍾誠君 本案ハ高草美代蔵君提出、権原神宮第
二期宮城擴張及建物修築ニ關スル建議案外七件ノ委員
会ニ併セ付託セラレント望ニマス

○副議長(船谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナリト
認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第二十五、東

京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマ
ス、有馬秀雄君

第二十五 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案

スル建議案(有馬秀雄君外四
名提出)

東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案
政府當局ハ速ニ東京帝國大學農學部實科ヲ現在ノ場
所ニ於テ農學部ヨリ分離セシメ専門學校令ニ依ル獨立

東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案

右建議ス
(有馬秀雄君登壇)
(柏谷副議長議長席ヲ退キ奥議長復席)

○有馬秀雄君 只今議題ニナリマシタ建議案ハ既ニ前議
會即チ四十四議會ニ於テ溝場一致ナ以テ可決ニナリマシ
タ案ナノデアリマス、故ニ今回ハ極テ要點ノミラ簡單ニ説明

致シマス、此農科大學ノ實科ナルモノハ、駒場農學校設置
以來既ニ三十年以上ヲ經過致シテ居リマシテ、其卒業生
ヲ出スコトガ既ニ二千五百名以上ニ達シテ居リマス、而シ
テ此卒業生ナルモノハ所謂實科ノ名ニ背カズ、自ラ草鞋ヲ
穿キ、或ハ鋤ヲ執リテ耕作ニ從事シテ、而シテ奉職シテ居リ
マス者モ農事試驗場、大林區署、或ハ宮内省ノ御料地等
テ此卒業生ナルモノハ所謂實科ノ名ニ背カズ、自ラ草鞋ヲ
穿キ、或ハ鋤ヲ執リテ耕作ニ從事シテ、而シテ奉職シテ居リ
マス者モ農事試驗場、大林區署、或ハ宮内省ノ御料地等
ニ職ヲ奉ジテ居リマスカ故ニ、此實地ノ農事ニ總て携ハッテ
居リマス、斯様ナ意味ニ於テ學理ヲ最初ニ實地ニ應用シテ
ニ活動且ツ國家ニ貢獻シテ居リマス、斯ノ如ク卒業生ハ隨
分國家ニ貢獻致シテ居リマスルニ拘ラズ、其母校タル實科
ハ舊態依然トシテ改マラズ、單ニ農科大學部ノ附屬トシテ
專門學校令ニ準ズルト云フ位ノ程度ニ取扱ハレテ、寛ニ日
常知ノ通り今日ノヤウニニシテ居リマスカラ、本建議案ヲ提出スルニ付
キマシテモ、議員諸君モ何物デアルクト云フコトヲ御承知ニ
ナラナイ方モ多々アルヤウナ次第アガザイマス、而シテ其經
費ナルモノモ大學部ト實科部ト一緒ニ合セラレテアリマス
伴フダケノ設備が出來ナシ、是レ寛ニ遺憾トスル次第ア
リマス、惟フニ先年蘆岡或ハ鹿兒島ニ農林學部校が設置セラ
レク際ニ此實科ナルモノハ第一番ニ所謂獨立ノ農林學校
ニ改訂セラルベキモノアラタラウト思ヒマスケドモ、一向今日
マデ此改訂ノ實力舉ラザル、現在ノ生徒ハ勿論卒業生ガ大
三遺憾トスル次第アリマス、テ最近ニ於テハ十一年度カラ十三

年度ニ掛ケテ各地ニ農林學校カ設置セラレタニ拘ラズ、今
水知ノ通り今日ノヤウニニシテ居リマスカラ、本建議案ヲ提出スルニ付
キマシテモ、議員諸君モ何物デアルクト云フコトヲ御承知ニ
ナラナイ方モ多々アルヤウナ次第アガザイマス、而シテ其經
費ナルモノモ大學部ト實科部ト一緒ニ合セラレテアリマス
伴フダケノ設備が出來ナシ、是レ寛ニ遺憾トスル次第ア
リマス、惟フニ先年蘆岡或ハ鹿兒島ニ農林學部校が設置セラ
レク際ニ此實科ナルモノハ第一番ニ所謂獨立ノ農林學校
ニ改訂セラルベキモノアラタラウト思ヒマスケドモ、一向今日
マデ此改訂ノ實力舉ラザル、現在ノ生徒ハ勿論卒業生ガ大
三遺憾トスル次第アリマス、テ最近ニ於テハ十一年度カラ十三

尙本此實科ニ於アハ何等ノ考慮ヲ致サレテ居リマセヌ、之ガ即チ卒業生ハ勿論現在ノ生徒ニ於テモ現狀ニ甘シジ忍

バントシテ忍フ能ハサル所以デアリマス、斯ノ如キ狀態ニア

リマスが故ニ此大學部ノ生徒ト實科ノ生徒トハ感情上甚ダ

面白クアリマセヌ其證據ヘ此運動會ナドニ往々衝突軋轢

ヲ生ジテ甚ダ文教上面白カラザル傾向ガアルノデアリマス

カラシテ是ハ是非共十二年度ニ於テ農學部ヨリ分離シテ、

獨立ノ計畫ヲ立テ戴キタインデアリマス、而シテ其經費ノ

如キハ即チ現在ノ場所ニ於テ獨立ヲシテ戴クト云フ考テア

リマスカラ敷地モアリ建物モアリマス以上ハ新設ニ要スル

費用ト云フモハ僅カデアル唯年々ノ經費ヲ幾分カ増加ス

レバレデ事足ルト思ヒマスカラシテ是非共次年度ニ於テ

ハ豫算ニ計上サレントヲ切ニ希望致シマス譯テアリマス、

何卒昨年同様滿場ノ御策成アランコトヲ願ヒマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ一日程第二十六、群山

港修築國營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者牧

山耕藏君

第二十六

(群山港修築國營ニ關スル建議案)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ一日程第二十六、群山

港修築國營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者牧

山耕藏君

第二十七

(群山港修築國營ニ關スル建議案)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ一日程第二十六、群山

港修築國營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者牧

山耕藏君

第二十八

(群山港修築國營ニ關スル建議案)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ一日程第二十六、群山

港修築國營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者牧

山耕藏君

第二十九

(群山港修築國營ニ關スル建議案)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ一日程第二十六、群山

港修築國營ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者牧

山耕藏君

第二十七 神社調査會設置ニ關スル建議案(岩崎勲君外十二名提出)

神社調査會設置ニ關スル建議案

神社調査會設置ニ關スル建議案(岩崎勲君外十二名提出)

保持スルノ源泉ヲ爲シ來リシカ、社會ノ進歩及社會組織ノ複雜ニ連レ、漸次宗教的觀念ニ缺陷ヲ生ジ、他ノ反面ニ於テ安寧秩序ヲ脅威スルモノアルニ至レルハ、爲政家ノ大ニ考慮セガル可ラザル所ナリトス、之ニ關スル政治上ノ國家的施設モ多々アルベシト雖モ、我國ニ於テハ二千有餘年來ノ歴史ニ鑑ミ、皇室中心主義ノ下ニ益敬神崇祖ノ觀念ヲ養成シ、以テ我國家ノ精華ヲ發揚スルノ施設ヲ爲スコトヲ要スルハ、蓋シ現下ノ急務ナリト信ズ、此理由ノ下ニ吾人同志ハ數次神祇ニ關スル特別官衙設置ノ議ヲ提唱シ、本院ノ議決ヲ經タルモ、尙未ダ其實現ヲ見ルニ至ラザルハ甚ダ遺憾ナリトス、故ニ此際ハ先づ神祇制度確立ニ關シ、之ガ調查會ヲ設置スルノ必要アリト信ズ、又官幣社供進金ノ如キモ漸次增加シテ年額八十萬圓ニ及ベルモ、一社尙僅ニ三千圓ニ過ギズ、斯カル少額ヲ以テシテハ祭祀營繕スラ其完キヲ得ル能ハズ、其體面ヲ保持スルコトモ亦容易ナラザルナリ、即チ政府ハ速ニ供進金ヲ増額シ、官國幣社本來ノ性質ヲ發揚スベシ、若シ夫レ府縣郷社ニ至リテハ、其數ニ於テモ其分布ニ於テモ敬神崇祖ノ觀念ヲ涵養スル上ニ於テ、最モ重要ノ地位ニ在ルニ拘ラズ、之ガ維持經營ノ方法確實ナラズ、神職ノ待遇亦極メテ非薄ナリ、是レ其神威ヲ保ナ、國民崇敬ノ實ヲ全ウスル所以ニアラズ、誠ニ國家風教上寒心ニ堪ベザル所ナリ、此際義務教育費國庫補助ト同一趣旨ヲ以テ、速ニ國庫補助ノ計ヲ立て、以テ國家宗社ノ名實ヲ完ウシ、依テ以テ宗教的觀念ノ養成ニ資シ、延テ國家社會ノ安寧秩序ヲ保持スルノ源泉ヲ確立スルコトハ、誠ニ刻下ノ急務ナリト信ズ、之レ是等三案ヲ提出スル所以ナリ、願ハクハ全會ノ御賛同ヲ乞フ

○鈴木錠藏君 日程第二十七乃至第二十九ノ三案ヲ一括シテ、高草美代藏君ノ提出権原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望マス

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ異議ナシト認メテ、高草美代藏君ノ提出権原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望マス

○鈴木錠藏君 日程第二十九ノ三案ヲ一括シテ、高草美代藏君ノ提出権原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望マス

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メテ、高草美代藏君ノ提出権原神宮第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望マス

竹田川ノ河口ニ位シ通舟ノ區域甚ダ廣ク之が交通ノ便否ハ全縣下產業ノ發展ニ影響スル所大ナルミナラス。本港ノ築港事業ハ陸ニ鐵道ヲ有スル今日海陸連絡上千噸級以上ノ船舶出入ニ支障ナキ程度ニ於テ築港ヲ爲シ以テ一ハ國家有事ノ際ニ備ヘ一ハ地方海陸產業ノ發展ニ資シ日本海沿岸海陸交通ノ良商港タルニ至ラシムコトヲ望ム。

右建議ス

○野村勘左衛門君 頗ル簡單アリマスカラ、自席ア御許ヲ願ヒマス、此案ハ屢々提出セラレ、屢々本院ニ於テ可決セラレタモノニアリマスルシ、其提出ノ理由ノ如キモ屢々繰返サレテ居リマス、昨年私共ノ申述ベマシタノト、今年ノト變りアリマセヌノミナラズ、此理由舊ニ詳シク申述ベテアリマスルシ、又要スレバ委員會ニ於テ詳細申述ベタイト思ヒマスカラ、總テ省略致シマシテ、茲ニ御贊成ヲ願フノアリマス（拍手）

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君外五名提出三津濱築港國庫補助ニ關スル建議案外六件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタノト、日程第三十二、速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、鈴木錠藏君

○鈴木錠藏君 本案ハ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタノト、日程第三十三、國籍法中改正ニ關スル建議案

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタノト、日程第三十三、國籍法中改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、植原悅二郎君

第三十三 國籍法中改正ニ關スル建議案 (植原悅二郎君提出)

國籍法中改正ニ關スル建議案

我國ハ四面環海領土狭隘人口稠密若其ノ將來ノ發達ヲ圖ラムト欲スレハ須ラク我國民ノ海外發展ヲ盡セサルヘカラズ然ルニ現行國籍法ニ依レハニ重國籍制度ヲ維持シツツアルノミナラス海外ニ於テ出生シタルモノニシテ戶籍簿ニ其ノ出生地ヲ明記セサルモノハ父母ノ希望ニ依ルモ國籍離脱ヲ許可セラレス且海外ニ出生シタルモノト雖滿十七年ヲ超エルトキハ其ノ本人ノ自由意志ニ依ルモ絕對ニ國籍離脱ヲ許可セラレサルナリ斯ル法規ノ存在ハ我國民ノ健全ナル海外發展ヲ阻害スルモノナリ政府ハ宜シク國籍法中此等ノ諸點ヲ改正セラレムコトヲ望ム。

右建議ス

〔植原悅二郎君登壇〕

○植原悅二郎君 只今議題トナッテ居リマスル國籍法中改正ニ關スル建議案提出ノ理由ヲ説明致シマス、國籍法中改正ト申シテ居リマスガ、此建議案ノ主トスル所ハ只今ノ二重國籍ニ關スル事デアリマス、現在我國ニ於テハ國籍ヲ定ムル上ニ於テ血族主義ヲ執リテ居リマス、英米等ノ諸國ニ於テハ主トシテ出生地主義ヲ執リテ居リマス、ソレ故ニ現在ニ於キマシテ我國民ノ海外ニ移住スル者、特ニ英領ノ土地アリ、若クハ米國ノ領土デアル場合ニ於テ、其土地ニ於テ我が大和民族ノ兩親が子供ヲ生ミマシタ場合ニ於テ我國ノ領土ニ於キマシテハ、其地ニ生レタ所ノ子供ハ其兩親が何處ノ國民ナルニ拘ラズ、之ヲ市民トシテ取扱テ居出ラサシムル事ノ方針ヲ執リテ居リマス、米國ノ領土ニ於テ我が大和民族ノ兩親が子供ヲ生ミマシタ場合ニ於テ我國ノ領土ニ於キマシテハ、其地ニ生レタ所ノ子供ハ其兩親が何處ノ國民ナルニ拘ラズ、之ヲ市民トシテ取扱テ居出ラサシムルコトニナシテ居ルノアリマス、其結果我國ノ領土内ニ在住スル者ニ對シテハ、其子供が生レタ場

三國港築港ニ關スル建議案
三國港築港ニ關スル建議案
福井縣三國港ハ縣下三大河川ノ湊合セル九頭龍川及

第二十一 三國港築港ニ關スル建議案（野村勘左衛門君外四名提出）

三國港築港ニ關スル建議案

○議長（奥繁三郎君） 本案ハ急速ヲ要スル案デアリマスカラ、委員會ニ付託ヲ致シマシテ、提出者ノ説明ヲ聽クコトニ願ヒタイノアリマス

〔「ノウ」ト呼フ者アリ〕

○武藤金吉君 本案ハ急速ヲ要スル案デアリマスカラ、委員會ニ付託ヲ致シマシテ、提出者ノ説明ヲ聽クコトニ願ヒタイノアリマス

○議長（奥繁三郎君） 武藤君ノ御提議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ武藤君ノ動議ノ如ク決シマシタ

供ハ日本ノ國籍法ニ依リマスレバ、帝國ノ臣民、英國又ハ米國ノ國籍ニ依リマスレバ、其國ノ市民ト云フコトニナシテ居ルノアリマス、數年前ニ我國ニ於キマシテモ此ニ重國籍カズ生ズル所ノ國際間ノ紛議ト、又海外ニ於ケル大和民族發展ノ爲ニ、國籍法ヲ改正致シマシテ、兩親ガ其外國ニ於テ生レタル所ノ子供ヲシテ、帝國ノ臣民タル事カラ國籍ヲ離脱シヤウトル場合ニ於テ、合法ノ居住ヲナセバ之が出来ルコトノ規定ダクヲ設ケラレタノデアリマス、併ナカラ滿十七歳以上ノ者ニナリマシテハ、絶對ニニ重國籍ヲ有シテ居リマシテモ、我國ノ國籍ヲ離脱スル現行法ニ於テハ途ガアリマセヌ、兩親ト致シマシテハ、自分ハ日本ニ生レ、サウシテ外國ニ移住シタル者ナルガ故ニ、相當ノ成功ヲ致シマスレバ、日本ニ歸リタイト云フ希望ヲ有シテ居ルガ故ニ、兩親ハ進ンデ國籍ヲ離脱スルト云フガ如キ實例ハ極テ少イノアリマス、併ナカラ外國ニ生レタ所ノ子供ハ其兩親ガ外國ニ居住致シテ居リマスレバ、當然外國ニ於キマシテ教養ヲ受ケルノアリマス、教養ヲ受ケマスルト云フト、外國ニ生レテ外國ノ教育ヲ受ケマスレバ、日本ノ事ヲ全ク知リマセヌ、是ガ滿十七歳以上ニナリマシテ、日本語ハ更ニ解シナイ、自分ノ生レ育テラレタル所ハ外國ナル、而シテ其當時ニ於テ自分が市民タル資格ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、我國ニ國籍ガアルカ故ニ、一重ノ國籍ヲ有シテ居リ、若シ兵令ニ依リマシテ、日本語一言モ知ラナイ所ノ者ヲ、滿二十歳以上ニナリマスレバ、兵役ノ義務ヲ課セシメナケレバナラズヤウナ實例ガ一面ニアルト共ニ、他面ニ於キマシテハ其本人ガ生レ育テラレタル所ノ土地ニ於テ、將來ノ發展ヲ期サウト致シマシテモ、自由意思ニ依テ自分ノ國籍ヲ定メルクトノ出來ナイ所ノ規定ヲ現行法ハ有シテ居ルノアリマス、其故ニ若シ米國ニ於キマシテ日本人ノ子供アリテ、米國ニ生レタ者ガ滿十七歳以上ニナレバ、日本ハソレト兵役ノ義務セシメマスルノミナラズ、米國カラ申シマスレバ外國人ヲ永久ニ同一ナルニ基キ國籍離脱ヲモ嚴禁スル方針ヲ執ラウトスルカ故ニ、米國ニ置クコトハ却テ健全ナル所ノ彼等ノ發達ヲナシ得ザル務ニ服セシメマスルノミナラズ、動モスレバ、此者ノ自由意思トノ出來ナイ所ノ規定ヲ現行法ハ有シテ居ルノアリマス、是萬アル所ノ日本ノ米國生レノ兒童ニ對シマシテ、其將來ヲ制限スルト云フガ如キ運動ガアルノアリマス、是等ハ實ニ海外ニ於テ、海外ニ生レマシタ所ノ兒童ノ將來ニ對シテ由

第三十四

松江隱岐間海底電信電話増設

由シキ事ナルノミナラズ、此問題ガアル爲ニ民族ノ發展ヲ期スルコトガ出來ナイノミナラズ、動モスレバ國際ノ紛議ヲ生シヤウナ問題ガ起ルノアリマス、實ハ異様ナ實例ガアルトノ規定ダクヲ設ケラレタノデアリマス、併ナカラ滿十七歳以上ノ者ニナリマシテハ、絶對ニニ重國籍ヲ有シテ居リマシテモ、我國ノ國籍ヲ離脱スル現行法ニ於テハ途ガアリマセヌ、兩親ト致シマシテハ、自分ハ日本ニ生レ、サウシテ外國ニ移住シタル者ナルガ故ニ、相當ノ成功ヲ致シマスレバ、日本ニ歸リタイト云フ希望ヲ有シテ居ルガ故ニ、兩親ハ進ンデ國籍ヲ離脱スルト云フガ如キ實例ハ極テ少イノアリマス、併ナカラ外國ニ生レタ所ノ子供ハ其兩親ガ外國ニ居住致シテ居リマスレバ、當然外國ニ於キマシテ教養ヲ受ケルノアリマス、教養ヲ受ケマスルト云フト、外國ニ生レテ外國ノ教育ヲ受ケマスレバ、日本ノ事ヲ全ク知リマセヌ、是ガ滿十七歳以上ニナリマシテ、日本語ハ更ニ解シナイ、自分ノ生レ育テラレタル所ハ外國ナル、而シテ其當時ニ於テ自分が市民タル資格ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、我國ニ國籍ガアルカ故ニ、一重ノ國籍ヲ有シテ居リ、若シ兵令ニ依リマシテ、日本語一言モ知ラナイ所ノ者ヲ、滿二十歳以上ニナリマスレバ、兵役ノ義務ヲ課セシメナケレバナラズヤウナ實例ガ一面ニアルト共ニ、他面ニ於キマシテハ其本人ガ生レ育テラレタル所ノ土地ニ於テ、將來ノ發展ヲ期サウト致シマシテモ、自由意思ニ依テ自分ノ國籍ヲ定メルクトノ出來ナイ所ノ規定ヲ現行法ハ有シテ居ルノアリマス、是萬アル所ノ日本ノ米國生レノ兒童ニ對シマシテ、其將來ヲ制限スルト云フガ如キ運動ガアルノアリマス、是等ハ實ニ海外ニ於テ、海外ニ生レマシタ所ノ兒童ノ將來ニ對シテ由

供ハ日本ノ國籍法ニ依リマスレバ、帝國ノ臣民、英國又ハ米國ノ國籍ニ依リマスレバ、其國ノ市民ト云フコトニナシテ居ルノアリマス、數年前ニ我國ニ於キマシテモ此ニ重國籍カズ生ズル所ノ國際間ノ紛議ト、又海外ニ於ケル大和民族發展ノ爲ニ、國籍法ヲ改正致シマシテ、兩親ガ其外國ニ於テ生レタル所ノ子供ヲシテ、帝國ノ臣民タル事カラ國籍ヲ離脱シヤウトル場合ニ於テ、合法ノ居住ヲナセバ之が出来ルコトノ規定ダクヲ設ケラレタノデアリマス、併ナカラ滿十七歳以上ノ者ニナリマシテハ、絶對ニニ重國籍ヲ有シテ居リマシテモ、我國ノ國籍ヲ離脱スル現行法ニ於テハ途ガアリマセヌ、兩親ト致シマシテハ、自分ハ日本ニ生レ、サウシテ外國ニ移住シタル者ナルガ故ニ、相當ノ成功ヲ致シマスレバ、日本ニ歸リタイト云フ希望ヲ有シテ居ルガ故ニ、兩親ハ進ンデ國籍ヲ離脱スルト云フガ如キ實例ハ極テ少イノアリマス、併ナカラ外國ニ生レタ所ノ子供ハ其兩親ガ外國ニ居住致シテ居リマスレバ、當然外國ニ於キマシテ教養ヲ受ケルノアリマス、教養ヲ受ケマスルト云フト、外國ニ生レテ外國ノ教育ヲ受ケマスレバ、日本ノ事ヲ全ク知リマセヌ、是ガ滿十七歳以上ニナリマシテ、日本語ハ更ニ解シナイ、自分ノ生レ育テラレタル所ハ外國ナル、而シテ其當時ニ於テ自分が市民タル資格ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、我國ニ國籍ガアルカ故ニ、一重ノ國籍ヲ有シテ居リ、若シ兵令ニ依リマシテ、日本語一言モ知ラナイ所ノ者ヲ、滿二十歳以上ニナリマスレバ、兵役ノ義務ヲ課セシメナケレバナラズヤウナ實例ガ一面ニアルト共ニ、他面ニ於キマシテハ其本人ガ生レ育テラレタル所ノ土地ニ於テ、將來ノ發展ヲ期サウト致シマシテモ、自由意思ニ依テ自分ノ國籍ヲ定メルクトノ出來ナイ所ノ規定ヲ現行法ハ有シテ居ルノアリマス、是萬アル所ノ日本ノ米國生レノ兒童ニ對シマシテ、其將來ヲ制限スルト云フガ如キ運動ガアルノアリマス、是等ハ實ニ海外ニ於テ、海外ニ生レマシタ所ノ兒童ノ將來ニ對シテ由

右建議ス

○若林德懋君 簡單ニアリマスカラ當席カラ御許ヲ願ヒマス、本案ヲ提出致シマシテ理由ノ概要ハ、之ヲ其理由書ニ記載シテ置キマシタカラ御承知ノコト、存ジマス、尙ホ其詳上ニ是等ノ子供が米國ニ生レタト云フ規定ガナイ故ニ、日本ニ於テハ之ヲ國籍離脱ヲ拒絶シタノアリマス、已ムヲ得ズ致シマシテ米國ニ於ケル両親ハ、米國ノ官憲ニ依テ米國ニ生レタト云ニ生レタト云フ證明書ヲ取テ、サウシテ日本ノ内務省へ願出デマシタケレドモ、國籍表ニ於テ米國ニ生レタト云フコトノ記入ガナイ以上ハ、假令米國ノ官憲ガ米國ニ生レタト云フコトヲ證明シテモ、現在其子供が米國ニ居住シテ居ルテモ、其國籍離脱ハ不可能ダト云フヤウナ決定ヲシタ事實ガアルノデアリマス、ソレ故ニ現行ノ國籍法ニ依リマスレバ、親ガ其子供ノ將來ヲ考ヘ、日本國民ノ海外ノ民族ノ發展ヲ考慮致シマシテ、子供ノ國籍離脱ヲ圖ラウトシテモ出來ナリ、十七歳ニナリマシタ者ガ、自由意思ニ依テ國籍離脱ツ企テマシテモ、之ガ不可能ト云フコトニアリマス、斯ノ如キ制度が存在シテ居リマス間ハ、日本ノ民族ノ海外發展ハ殆ド不可能ナルノミナラズ、此爲ニ動モスレバ、國際ノ紛議ヲ生ジ甚シキニ至リマシテハ海外ニ於テ生レタ大和民族數万若クハ將來ニ於キマシテハ數十万ノ運命ニ於キマシテ、殆ド世界中ニ於ケル無籍者タラシマルガ如キ境遇ヲ造ルベキ處アルモノアリマス、ソレ故ニ現行ノ國籍法ヲ改メテ、國籍離脱ヲ満十七歳以下ニ於テハ親ノ意見ニ依リ、十七歳以上ニナリマシテハ本入ノ自由意思ニ依テ國籍離脱ヲ決セシムルヤウニ、現行ノ國籍法ヲ改メタイト云フコトガ、本建議案ノ趣意テアリマス、何卒諸君ニ於カレマシテモ慎重審議、御賛同アラシコトヲ希望致シマス

○鈴木錠藏君 本案ハ上山益三郎君提出、家產法案外九件ノ委員ニ付託セラレントヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認可(異議ナシ下呼フ者アリ)

一 潤賀縣甲賀郡貴生川村ヨリ京都府相樂郡加茂村ニ達スル鐵道 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成ニ關スル建議案

○議長(奥繁三郎君) 鈴木錠藏君 本建議案ハ既ニ前年本會ニ於キマシテ可決セラレタル所ノ案ニアリマス、説明ヲ省略致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○安原仁兵衛君 本建議案ハ既ニ前年本會ニ於キマシテ可決セラレタル所ノ案ニアリマス、説明ヲ省略致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本建議案ハ植場平君外一名提出、片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案外十九件ノ委員ニ付託セラレントヲ望ミマス

○安原仁兵衛君 本建議案ハ既ニ前年本會ニ於キマシテ可決セラレタル所ノ案ニアリマス、説明ヲ省略致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本建議案ハ既ニ前年本會ニ於キマシテ可決セラレタル所ノ案ニアリマス、説明ヲ省略致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三十四、松江隱岐間海底電信電話增設速成ニ關スル建議案(若林德懋君)

松江隱岐間海底電信電話増設速成ニ關スル建議案
松江隱岐間海底電信電話增設速成ニ關スル建議案
政府ハ速ニ前記ノ鐵道ニ關スル豫算ヲ定メ其ノ敷設ニ着手シ以テ交通運輸ヲ便ナラシメ産業開發ノ實ヲ舉ケラレムコトヲ望ミマス

コトヲ望ム

右建議ス

第三十六 淀川改修増補工事速成ニ關スル建議案（吉川吉郎兵衛君提

出）
淀川改修増補工事速成ニ關スル建議案

大塚決瀆ノ惨禍ニ依リ其ノ缺陷ヲ暴露セルモノト謂フ
歴史ニ微シテ明ナルトコロニシテ去ル大正六年ニ於ケル

淀川治水事業ノ一日モ緩フスヘカラサルハ既往水害ノ
目下増補工事施行中ニ在リ然ルニ當時ノ豫算カ財政

ノ都合上増補工事ヲ完成スルニ不十分ナリシコトハ議
會既ニ唱へ政府モ亦之ヲ認メ他日適當ナル工費追加
ヲ必要トスル旨ヲ言明セラレタルニ依ルモ明白ナルノ
ミナラス其ノ後工事材料工賃等ノ騰貴ニ依リ一層工費

ノ不足ヲ告ケ豫定ノ工事ヲ進ムコト能ハサルヲ以テ政府
ハ更ニ大正十年度ノ工事費追加トシテ金六十万圓ヲ

第四十四回議會ニ要求セラレタリ而シテ大正十一年度ニ於ケル工事費ハ其ノ年度割當額カ前述ノ如ク當初豫

算ノ不十分ナリシト物價工賃ノ尚未タ低落セサルトキニ
依リ工事ノ執行上大ナル不足ヲ生ス（キハ自明ノ理ニシテ
政府ハ更ニ本期議會ニ對シ相當ナル追加豫算ヲ要求セ
ラルヘキハ當然ノ歸趨ナリト信シタリシモ未タ其ノ實現

ヲ見ス若シ此ノ儘ニ推移セムカ其ノ結果既往數年ノ間
多額ノ國帑ヲ費シテ施行セラレタル增補工事カ治水

上完全ニ其ノ效果ヲ收ムルコト能ハサルニ至リ淀川治
水事業ヲ根本的ニ完成スルノ上ニ於テ誠ニ遺憾ニ堪ヘ
サルトコロナリ現ニ本年九月二十六日ノ降雨ニ際シテモ

本川枚方ニ於ケル量水標カ十七尺九寸五分ノ増水ヲ
示シ左岸堤防ノ危險ニ瀕シタル事實ナリ國經濟上ノ中心都
市タル大阪市及附近町村ハ去ル明治十八年ニ於ケル大
洪水以上ノ慘害ヲ被リ其ノ被害ノ及フ處獨り大阪市ニ
止マラヌ國家カ被ル處ノ經濟上百般ノ損害實ニ舉ケテ
數フヘカラス依テ政府ハ速ニ増補工事ノ完成ヲ期セラレ
ムコトヲ望ム

右建議ス
○吉川吉郎兵衛君 簡單デスカラ自席カラ御許ヲ願ヒマ
ス、淀川治水工事ハ一日モ忽ニスルコトが出來ヌノアリマ
ス、是ハ今日迄ノ歴史ニ依リマシテ明カラコトデアリマスル
ガ、大正六年大塚カ非常ナル缺潰ヲ見マシテ、大ナル
慘禍ヲ受ケタノアリマス、其時ニ當リマシテ、工事費約六
百万圓ヲ出シテ増補工事ヲスルコトニナダノアリマシテ、
其時デスラモ工事費ニ不足ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、財

攻上ノ都合デ其時ハ其位ニシテ置イテ、後日相當ノ經費ヲ
出シテ、此工事ノ完成ヲスルト云フコトノタノデアリマス
ガ、其後工事費ナリ、材料ノ段々騰貴スルニ隨ヒマシテ、先づ
工事費ニ不足ヲ告ゲタノアリマス、昨年ハ六十萬圓ノ追
加豫算ヲ第44回議會ニ提出サレマシテ、相當ノ増補工
事ヲ施シタノデアリマスガ、十一年度ニ於キマシテハ何等追
加豫算ヲ提出サレタヤウニモ見エマセヌ、若シ果シテ此金ヲ

出シテ貰フコトカ出来ヌコトニナリマスレバ、今日迄多額ノ
國帑ヲ費シマシテ相當ノ工事ヲ致シタニモ拘ラズ、一朝不
幸ヲ見マシタナラバ、是迄ノ工事、國帑ハ全部ゼロニ歸スル
ヤウナ場合ガナイトモ限ラナイノデ、非常ニ沿岸民ハ憂ヘテ

居ルノデアリマス、此際政府ハ相當ノ追加豫算ヲ提出セラ
レ、此工事ヲ完成セラレシコトヲ切望スル次第アリマス、何
卒皆様ノ御賛同ヲ得マシテ、政府ガ速ニ相當ノ金ヲ出シテ
其工事ノ完成ヲ望ム次第アリマス、詳細ハ委員會ニ於テ
申上げル考デアリマス

○鈴木錠藏君 本案ハ前田末藏君外九名提出、多摩川
改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案外六件ノ
委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ム
○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナイト
認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三十七、鹿
兒島加世田間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス
第三十七 鹿兒島加世田間鐵道速成ニ關
スル建議案（桶渡久右衛門君
外三名提出）
鹿兒島加世田間鐵道速成ニ關スル建議案
鹿兒島加世田間鐵道速成ニ關スル建議案
本鐵道ハ產業ノ開發ニ資シ交通ノ不備ヲ補フ爲急設ヲ
要スルノミニナラス草事上ニ於テモ亦樞要ノ線路ト認メラ
レ既ニ本院ニ於テ決議シタル鐵道敷設法ノ豫定線ニ編
入サレタル重要ノ路線ニ屬シ沿線ニハ海陸ノ物資甚
豊富ナリ依テ政府ハ速ニ本鐵道ノ敷設ニ著手セラレム
コトヲ望ム

○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出片町長尾
間電力鐵道延長ニ關スル建議案外二十件ノ委員ニ併セ
テ付託セラレシコトヲ望ム
○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三十八、寺泊
港ニ關スル建議案——高橋金治郎君
第三十八 寺泊築港ニ關スル建議案（高
寺泊築港ニ關スル建議案
寺泊築港ニ關スル建議案
新潟縣寺泊港ハ同縣沿岸ニ於ケル良好ナル一港灣ニシ
テ地形西南ニ開キ東彌彦山ヲ負ヒ西北佐渡島ニ對シ僅
ニ二十一海哩ヲ隔テ赤泊港ト定期ノ航海アリ其ノ陸
上交通ハ本港長崎間ノ鐵道ニ依リ大河津驛ニ於テ越
後鐵道ヲ利用シ柏崎新潟兩方面ニ連絡スル日上越鐵
道ノ開通スルニ至ラハ東京方面トノ連絡益密接ナルヲ
得シ而シテ新潟縣ニ於ケル計畫ハ之ヲ遼港ノ程度ニ
止ムト雖旣設突堤ヲ繼足シ適當ノ延長ヲ爲シ一方適
當ノ位置ニ於テ延長百十間許ノ防波堤ヲ建築スルトキ
ハ本港ハ優ニ沿岸航海船ヲ寄泊スルコトヲ得ベク且今
春新潟港ヘ輸入スヘキ貨物ハ多ク本港ニ於テ荷揚ヲ爲
シタル例アルヲ以テ他日新潟築港ノ完成ヲ告クルニ至ラ
ハ同港ノ副港トシテ最有利ナル效果ヲ舉クルコトヲ得ヘ
シ依テ政府ハ速ニ寺泊港修築ノ調査ヲ遂ケ之を發案ア
ラムコトヲ望ム

右建議ス

右建議ス

○種渡次右衛門君 簡單デスカラ此席カラ申上ダマス只
今議題トナリマシタ建議案ノ説明ヲ極ク簡單ニ其大要ダ
ケフ申述ベタノアリマス、本線ハ鹿兒島市ヨリ鹿兒島ノ
南端ナル揖宿郡ヲ經テ加世田ニ至リ、此加世田ニ於テ南
北ノ鐵道方通ズルト云フ線路アリマス、此中間ハ中々物資

○高橋金次郎君 簡單アリマスカラ當席ヨリ發言ノ御許ヲ願ヒマス、本建議案ハ第四十四議會ニ於テモ通過致シテ居ルノデアリマスカラ、内容ノ説明ハ省略致シマシテ、詳細ハ委員ニ於テ申述ヘタイト思ヒマス、満場ノ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ成田榮信君外五名提出三津港築港國庫補助ニ關スル建議案外七件ノ委員ニ併セテ付託セラレントヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程三十九、乃木神社昇格ニ關スル建議案——植竹龍三郎君

○石川玄三君 植竹君ガ居リマセヌカラ私ガ提案者ノ人トシテ説明致シタイト思ヒマス

○議長（奥繁三郎君） 石川玄三君

第三十九 乃木神社昇格ニ關スル建議案（植竹龍三郎君外三名提出）

乃木神社昇格ニ關スル建議案（植竹龍三郎君外三名提出）

乃木神社昇格ニ關スル建議案（植竹龍三郎君外三名提出）

右建議ス

〔石川玄三君登壇〕

○石川玄三君 植竹君ガ居リマセヌカラ、提案者一人トシテ私カラ提案ノ理由ヲ申上ダマス、現時ノ如ク思想ノ動搖甚シキ時ニ當シテ、國民思想ノ惡化ヲ防グニハ、一知半解ノ智識ヲ弄シテ、亞米利加ガドウノ、歐羅巴ガスウノト、御門達ヒノ御託宣ヲ並ベルヨリハ、先づ第一ニ我ガ國體ノ萬古ニ超絶シ宇内ニ秀ナル所以ヲ直覺ひニ、感得シメルノガ最モ肝要ト信ジマス、其昔シ金毛九尾ノ狐ニ依テ名ヲ知ラレタ下野ノ那須野原ハ維新以來官僚閥族ノ徒ニ占領セラレマシテ、其間ニ介在シテ居リマス、草深キ石材ノ一部落ニ、乃木將軍ガ僅カナ土地ヲ購ヒマシテ、此所ニ些ヤナル庵ヲ結シテ以テ別墅ニ苑テ、君國ニ仕ヘル餘暇ニハ、此處ニ來テ浩然ノ氣ヲ養ヒ、時ニ或ハ鋤鉄ヲ執テ土地ノ農民ト親ミ、彼等ニ深キノ感化ヲ與ヘタノデアリマス、明治大帝崩御ノ際、乃木將軍夫妻ハ其後ヲ慕ヒ奉テ殉死ヲ傳ヘテ、相倚リ相助ケテ應分ノ淨財ヲ投ジ、更ニ一般有志ノ寄附ヲ仰イデ、乃木將軍ガ生前ニ愛好セラレタ別墅地ニ隣接スル所ニ敷地ヲ選定致シマシテ、新ニ社殿ヲ建設致シマシテ、茲ニ乃木將軍夫妻ノ英靈ヲ祀リマシタノアリマス、斯ノ如ク之が今日下野ノ石林ナル縣社乃木神社デアリマス、斯ノ如ク偉ナル神靈ヲ祀ルノハ、決シテ地方ノ一體ノ手ニ委シ

テ國家ハ之ヲ捨置クベキモノナイト考ヘマス、幸ニシテ此建議案ノ趣旨ヲ貫徹シテ、別格官幣社ニ昇格スルニ至ラバ其神靈ハ更ニ尊嚴ノ度ヲ増シ、國民思想ノ上ニ及ボス感化ノ靈顯ハ一層偉大ナルモノガアルト確信致シマス

○鈴木錠藏君 本案ハ高草美代藏君提出、櫻原神社第二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレントヲ望ミマス

〔贊成「下呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程三十九、乃木神社昇格ニ關スル建議案——植竹龍三郎君

○石川玄三君 植竹君ガ居リマセヌカラ私ガ提案者ノ人トシテ説明致シタイト思ヒマス

○議長（奥繁三郎君） 石川玄三君

〔贊成「下呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程三十九、乃木神社昇格ニ關スル建議案——植竹龍三郎君

○鈴木錠藏君 再ヒ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲二日程第一ニ掲ダレタル政府提出、東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ結果開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進

マラレントヲ望ミマス

〔贊成「下呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 鈴木君ノ日程變更ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ結果ヲ開キマス——委員長、戸水寛人君

一東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月二十二日

東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案（政府提出）

金繩入ニ關スル法律案委員長

戸水 寛人

〔衆議院議長奥繁三郎殿登壇〕

〔戸水寛人君登壇〕

○戸水寛人君 先刻文部大臣カ説明セラレマシタ東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案之ニ早速委員會ヲ開キマシテ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ（拍手）

○議長（奥繁三郎君） 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ

右建議ス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 第二讀會ヲ開クニ御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ノ第41、第42、提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト致シマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナイト認メマス、日程第40、御殿場大宮間及吉田大井間鐵道速成ニ關スル建

議案、第41、第42、提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御殿場大宮間及吉田大井間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

第四十 御殿場大宮間及吉田大月間鐵道速成ニ關スル建議案

御殿場大宮間及吉田大月間鐵道速成ニ關スル建議案

御殿場大宮間及吉田大月間鐵道速成ニ關スル建議案

一静岡縣御殿場ヨリ山梨縣吉田ヲ經テ静岡縣大宮ニ至ル鐵道及吉田ヨリ分岐シテ大月ニ至ル鐵道本鐵道ハ本期議會ニ於テ既ニ本院ヲ通過セル鐵道敷設法案中ノ一線ニシテ中央東線ト東海道線トヲ連絡シ交通運輸地方開發軍事用兵上極メ必要ナル線路ナルノミナラス殊ニ扶桑第一ノ觀タル富士山ヲ廻リ登山者ノ便ヲ計ルコト亦大ナルモノアリ依テ政府ハ速ニ本鐵道ノ建設ニ着手セラレムコトヲ望ム

著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

東京帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ノ第43、第44、提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ノ第45、第46、提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ノ第47、第48、提出者同一ナルニ依リ、一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

第四十一 热海下田松崎大仁間鐵道速成ニ關スル建議案（小泉策太郎君外一名提出）

热海下田松崎大仁間鐵道速成ニ關スル建議案

热海下田松崎大仁間鐵道速成ニ關スル建議案

一静岡縣热海ヨリ下田、松崎ヲ經テ大仁ニ至ル鐵道

右鐵道ハ本期議會ニ於テ既ニ本院ヲ通過セル鐵道敷設案ノ会ノ續、第二讀會（確定議）御殿場大宮間及吉田大月間鐵道速成ニ關スル建議案外一件

〔衆議院議長奥繁三郎號外〕

大正十一年三月二十三日

衆議院議事速記録第三十三號

第一讀

八三三

設法案中ノ一線ニシテ殊ニ下田港ノ如キハ歴史アル有名ナル港灣タルノニナラス船舶ノ出入多ク沿線地方ハ溫泉ニ富ミ亦海產物ヲ始メ木材及鑽物ヲ產シ經濟上地方開發上將交通工具上一日モ忽ニスヘカラサル線路ナリト認ム依テ政府ハ速ニ本線敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム右建議ス

第四十二 狩野川改修ニ關スル建議案(岩)

(崎勸君外一名提出)

狩野川改修ニ關スル建議案

狩野川改修ニ關スル建議案

右建議ス

静岡縣狩野川流域ハ堤防ノ不完全ナル爲洪水每ニ其ノ被害甚タ多ク而シテ特ニ此ノ水害ヲ被ムル地方ハ同縣田方郡及駿東郡ニ於ケル十六箇町村餘ニ及ヒ毎年其ノ慘禍名狀スヘカラサルモノアリ故ニ政府ハ速ニ相當ノ計畫ヲ立テ之カ改修工事ヲ施行セラレンコトヲ望ム右建議ス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○鈴木錠藏君 日程第四十、及四十一ノ兩案ハ提出者ノ說明ヲ省略シテ、植場平君外一名提出片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案外二十一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミ

○鈴木錠藏君 省略致シマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第四十二、提出者岩崎君説明シマスカ

○岩崎動君 省略致シマス

○鈴木錠藏君 本案ハ提出者ノ説明ヲ省略シテ、前田米藏君提出、多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案外七件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミ

マス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第四十三、日本銀行及特殊銀行條例中改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス——星島二郎君

第四十三 日本銀行及特殊銀行條例中改
正ニ關スル建議案(星島二郎君)
君提出)

日本銀行及特殊銀行條例中改正ニ關スル建議案
日本銀行及特殊銀行條例中改正ニ關スル建議案
時代ノ進歩財政經濟ノ趨勢トニ鑑ミ日本銀行及特

殊銀行條例中改正ヲ要スヘキ點數トセ例へハ日本銀行ニ在リテハ政府ノ監督權ヲ縮小制限シ利益配當ヲ制限シ行務内容ノ公開ヲ徹底セシムカ如キ正金銀行ニ在リテハ政府融通資金ヲ廢止シ爲替業務ノ壟斷ヲ抑制スルカ如キ臺灣及朝鮮兩銀行ニ在リテハ兌換銀行券發行權ヲ廢止シ勸業及興業銀行ヲ合併スルカ如キ其ノ他是等特殊銀行重役選任ノ方法ヲ改正シ或バ鑑定業務及會計検査ニ關スル特設機關ヲ設ケ以テ營利事業本位ヨリ脱シテ公共事業化セシムルハ刻下緊急ノ要務ナリトス政府ハ速ニ改正法ヲ提出スヘシ

右建議ス

(星島二郎君登壇)

○星島二郎君 議案幅較ノ折ニアリマスカラ、十分ニ説明致シタインデアリマスカ、極テ綱領ダケヲ説明シナケレバ誤解ヲ招キマスカラ、ホンノ綱領ダケヲ申上ゲタイト思ヒマス、極テ重大ナル案デアリマスルガ、私ハ現在ノ日本ノ金融機関ノ中心デアル日本銀行ハ、一言ニシテ申シマスレバ、營利本位ヨリ離レテ公共化シナケレバナラヌ、即チ公共事業ノ本質トナラケレバナラス、之ガ根本ノ改造ノ精神ニアリマス、サウシマス爲ニハ尙クトモ綱領ダケヲ申シマスレバ、現在ノ日本ノ金融機関ノ中心デアル日本銀行ハ、一言ニシテは民衆ノ金融機関タルコトが極テ薄イ、其爲ニ

政府ノ監督權ヲ縮少制限スルガ爲ニ總裁、副總裁ノ任命權ヲモウ少シ擴メル——政府ヨリ取テ、或ハ之ヲ評議機關ナリ何ナリ、其他ノ機關ヲ設ケテスル、是ハ現ニ亞米利加或ハ獨逸其他ノ帝國銀行、中央銀行等皆其例ニ倣ウテ居ルノアリマシテ、今日日本ニ於テハ一千万圓以上ノ金融機關ト云フモノハ、ドウシテモ政府ノ鼻息ヲ窺ハナケレバ何トモ仕様ガナイト云フコトハ、是ハ今日ノ民本主義ノ國勢ニ對シテ大ニ恥カシイト思ヒマスカラ、ソレヲ第一ニ主張致シマス、第二ハ營利事業デナイン、殊ニ國庫ニ非常ナ後援ガアッテ初テ事業ガ成立シテ居ルノアリマスカラ、株主ニ利益ヲ分ケル必要ハナイ、八朱トカ一割トカ、一定ノ利益配當ノ度以上ハ國家ノ爲ニ儲ケタノアリ、日本銀行ガ矢張仕事ヲシナイデ可ナリ儲ケテ居ル、ソレガ儲カタラバ國庫ニ歸納スルノガ是ガ第一ニアリマス、ソレカラモウ少シ日本銀行ノ内容が國民一般ニ公開サレテ居ラケレバナラス、總テ日本銀行ナリ、其他ノ特殊銀行ニ致シマシテモ、營利本位ヨリ離ヒテ公共化スルト云フコト、今一つハ公開の三「オーブン」ニスルト云フコトハ、私ハ改造ノ根本デアルト思フノデアリマス、其他澤山アリマスケレドモ、要點ハ其三ツは太陽時代ノ日本銀行條例デアリマスカラ、今日此進歩シタル時代ニ當リマシテハ、進ンデ日本銀行條例ヲ改正スペシ

ト云フコトヲ建議致シテ、政府ハ速ニ此改正法案ヲ此議會ニ出シテ裁キタイトト云フコトガ、之ガ根本デアリマス、第一ハ正金銀行、是ハ今日爲替業務ハ殆ド正金銀行デ獨占セラレ、非常ナル利益ヲ得テ居ル其上ニ二千萬圓以上國庫ガ後援シテ居ル、聞ク所ニ依レバ外國ニ在ル所ノ政府ノ金一億數千万圓ト云フモノヲ爲替尻ニ用其テ運用シテ居ル、斯ルノデソレカ爲ニ非常ニ貸出ヲ放漫ニスル、是ハ詳シテ申ダタイノデアリマスガ、時間ガナイカラ省キマスガ、最近朝鮮銀行ハ八千二百万圓以上ノ不當貸付ヲヤッテ居ル、又臺灣銀行毛不當ノ貸付ヲ致シテ居ル、是ハ根本ノ調査ヲスレバ綱紀肅正ノ大問題デアルト思ヒマスガ、ソレハ省キマス、日本内地ト朝鮮若クハ臺灣トハ金融上密接シテ居リマシテ、本内地下朝鮮若クハ臺灣トハ金融上密接シテ居リマシテ、殊更ニ獨立シテ兌換券ヲ發行スル必要ハナイン、是ハ日本銀行券ト合同シテ統一スルガ宜シト云フノガ其根本デアリマス、第四ハ勸業銀行ト興業銀行、是ナドモ大體ニ於キマス、第五回政府ノ特殊銀行ニ於テハ、矢張日本銀行同様ニ官選ノ總裁ガ——殆ド官選ニ近イ總裁、副總裁ガアシテ、ソレガ爲シテ性質ガ同ジデアルカラ之ヲ合併致シマシテ、モト統一アーリモノニシタイン、是モ理由ヲ申シマスレバ隨分長イケレドモ省キマス、此勸業銀行、興業銀行、正金銀行其他拓殖銀行ト云フコトニナラケレバナラス、矢張今ノ日本銀行同様、總裁、副總裁ハ特別機關ヲ造リマシテ、ソレニ依テ總裁、副總裁ヲ定メルト云フコトニナラケレバナラス、矢張同ヤウニ特殊ノ政府ノ後援ガアシテ、事業ガ成ニ居ルノアリマスカラ、矢張今ノ日本銀行同様、總裁、副總裁ノ總裁ガ——殆ド官選ニ近イ總裁、副總裁ガアシテ、ソレガ爲シテ居リマスカラ、矢張今ノ日本銀行同様、總裁、副總裁ハ特別機關ヲ造リマシテ、ソレニ依テ總裁、副總裁ヲ定メルト云フコトニナラケレバナラス、矢張同ヤウニ特殊ノ政府ノ後援ガアシテ、事業ガ成ニ居ルノアリマスカラ、矢張同ヤウニ利益ノ配當ヲ制限シ、例へハ一割以上ノ利益ハ配當スルコトハナラス、ソレ以上ハ國庫ニ歸納スル、斯ウ云フ風ニ特殊ノ擁護ヲシテ日本銀行ト同ヤウニ特殊ノ政府ノ後援ガアシテ、事業ガ成ニ居ルノアリマスカラ、矢張同ヤウニ利益ノ配當ヲ制限シ、例へハ一割以上ノ利益ハ配當スルコトハナラス、ソレ以上ハ國庫ニ歸納スル、斯ウ云フノガ改造ノ根本デアリマス、サウシテ今日特殊銀行並ニ特殊會社ノ非常ナル弊ハマス、ソレカシテ鑑定機關ヲ通シテ鑑定シタルモノニ對シテハ「オーブン」ヲ認メル、ソレニ依テ初テ貸出ヲスルト云フコトニナリマスレバ、隨テ惡イ、運動其他ニ依テ動カサレルコトガナクナルト思フノアリマスカラ、今大サバニ申シタガ、日本銀行、興業銀行、正金銀行、其他特殊銀行ニ

コトヲ望ムノアリマス、更ニ一言ヲ加ヘタイノハ、政府ハスク改正ヲ致シマスルト取締上ニ付テ如何アラウカ、甚ダ之ヲ杞憂致サレ居ルヤウアリマスガ、此取締法ニ付キマシテハ私共ハ大ニ腹済ヲ持テ居ル、左程政府が御心配ナサルヤウナ事ハ無用ナコト、思ヒマスガ、是等ノ事ニ付キマシテノ詳細ハ、委員會ニ於テ詳細説明致シマス、以上申述べル理由ニ依リマシテ、戻税法ヲ速ニ改正セラレントコト政府ニ建議ヲ致スノアリマス、ドウカ滿場ノ御同意ヲ得シコトヲ冀ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ高田耘平君提出、煙草專賣法中改正法律案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第四十八、第四十九、第五十八提出者同一ノ議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ此三案ヲ一括シテ議題ト致シマス、第四十八ニ對シテハ説明者野溝傳一郎君

第四十八 農業用機械發明獎勵ニ關スル建議案

建議案(成田榮信君外二名提
出)

農業用機械發明獎勵ニ關スル建議案

農業用機械發明獎勵ニ關スル建議案

現今農業經營上ノ一大難問題ハ農業勞力缺乏ノ對策ニシテ其ノ方法ハ種々アルヘキモ可及的精良ナル器具

機械ヲ利用スル最徑捷トス然ルニ現在ノ農具ハ小規

模ナル勞力的集約農法用ノ極ムテ簡単ナルモノニシテ改良セル組織經營ニ適セサルヲ以テ政府ハ特殊ノ獎勵

法ヲ設ケ農業用機械ノ研究發明ヲ促進スヘシ

右建議ス

第四十九 農業用機械輸入稅免除ニ關スル建議案(成田榮信君外二名提 出)

農業用機械輸入稅免除ニ關スル建議案

農業用機械輸入稅免除ニ關スル建議案

商工業ノ發展ニ伴ニ農村ノ勞働者ヲ吸收シ農村ノ勞

力缺乏ノ結果ハ生產能率ノ減退ヲ來シ小作問題ノ如キハ其ノ解決ノ一層困難ト爲リツアリ其ノ対策トシテ可

及的經營ノ規模ヲ大ニシ機械ヲ應用スルヲ最善ノ方法

トス然ルニ現在各地方ニ試用セラレツタル小形發動機械ハ殆ト歐米ヨリノ輸入ニシテ多額ノ輸入稅ノ負課ノ爲非

常ノ高價ト爲リ資本ニ缺乏セル多數ノ農家ハ之ヲ購入シ得

サル狀況ニ在ルヲ以テ農村ニ於ケル勞力問題小作問題乃至ハ食糧問題等ノ解決ノ一助トシテ特ニ農業用機械ノ輸入稅ヲ免除スヘシ

右建議ス

第五十 農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案

建議案(成田榮信君外二名提出)

農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案

農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案

近時農業者ノ公課負擔ノ激増セルコトハ何人ト雖之ヲ認ムルトコロニシテ商工業者公課負擔ニ比較スルニ尙幾倍ノ過重タリ特ニ小作爭議ノ如キ畢竟スルトコロ農家ノ經濟問題ニシテ主トシテ收入ノ僅少ニシテ負擔ノ過大ナルニ起因セスムハ非ススノ如キハ農村自治ノ發展ヲ阻害シ生産上思想上頗ル憂慮スヘキ狀態ナルヲ以テ政府ハ速ニ稅制整理ヲ行ヒ農業者ノ負擔輕減均衡ヲ期スヘシ

右建議ス

〔野溝傳一郎君登壇〕

○野溝傳一郎君 只今上程ニナリマシタ建議案ニ付キマシテ、努テ簡單ニ其提出ノ理由ヲ申述ベタイト思ヒマス、由來

此農業ノ利益ト云フモノハ極テ薄イモノデアリマシテ、動モスレバ收支相償ハナイヤウナ事モアルノデアリマス、ソレカ殊ニ最近各種ノ產業が發達シテ參リマシタニ伴レテ、益、此農業ハ割ノ恩イモノトサレルヤウニナリマシテ、隨テ其從業者

ハ年ト共ニ他ニ轉業ヲ致シテ、茲ニ農村ノ衰退ヲ救シヤウニナシテ來テ、國家ノ爲ニ寃ニ深憂ニ堪ヘナイ次第アリマ

スコトハ、誰人モ認メテ居ル所アリマスガ、斯クナリマスル原因ヲ算ヘテ見マスルト種々算ヘラレルノデアリマスガ、其銀ナルモノガ非常ニ高イ、其爲ニ生產費ガ非常ニ嵩シテ參フテ、茲ニ收益が極テ減少致スト云フコトニナッテ、農業ノ經營が極テ不利困難ニ陥テホルト云フコトニナッテ來テ居

○高草美代藏君 只今上程致シマシタ農業用機械輸入

稅免除ニ關スル建議案アリマスガ、先刻野溝君ノ御説明

ニナリマシタ案モ、私ガ今説明ヲ致ス案モ、此次ノ公課負

給ヲスルト云フコトニアルト思ヒマスガ、ソレニハドウシテセ

機械力ノ應用ヲ大ニ盛ニスルト云フコトヲシナケレバナラヌト思ヒマス、所ガ我國ノ現在ノ農具ヲ見マスト云フト、勿論

此時勢ノ進歩ニ伴シテ多少ノ改良ハ施サレテ居ルノデアリ

知ノ通リニ最近我が日本ハ非常ニ人口繁殖致シマシテ、

現ニ年々六七十万人ツヽ増加率ヲ重シテ居リマスノアリ

マスケレドモ、併ナガラ一般的ニ此農業界ノ利益ヲ大ニ増

トス然ルニ現在各地方ニ試用セラレツタル小形發動機

進スルマニアニ、此農具ノ改良發達ト云フコトガ出來テ居ラ

ナノデアリマス、デ實際ヲ見マスルト云フト、甚シキハ數十

年來若クハ數百年來ノ舊態ヲ依然トシテ存シテ居ルト云

ハ體力愛知ノ農事試驗場邊リニ於テ、僅少ノ費用ヲ以テ之ヲ研究ヲ致シテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、又更

ニ民間當事者ノ狀態ヲ見マスト云フト、資力モアリ又時間

ノ餘裕モアルヤウナ地主階級ノ者ハ、多クハ自ラ其事業ニ

農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案

農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案

農業者ニ至リマシテハ、折角之ガ改良發達ヲ期シヤウト思

ヒマシテモ資力ノ點ニ於テ或ハ又時間ノ點ニ於テ許サスト

云フヤウナ狀態ヲ、心ナラズモ依然トシテ傳統的ノ農法ニ

支配サレテ行クト云フヤウナ悲シムベキ狀態ニ在ルノデアリ

マス、更ニ此農具ノ改良ニ付キマシテハ、外國ニ之ヲ仰グト

リマス、併テ實際ニ其事實ニ當テ利害ヲ直接ニ感ブル所ノ

農業者ニ至リマシテハ、折角之ガ改良發達ヲ期シヤウト思

ヒマシテモ資力ノ點ニ於テ或ハ又時間ノ點ニ於テ許サスト

云フヤウナ狀態ヲ、心ナラズモ依然トシテ傳統的ノ農法ニ

支配サレテ行クト云フヤウナ悲シムベキ狀態ニ在ルノデアリ

マス、更ニ此農具ノ改良ニ付キマシテハ、外國ニ之ヲ仰グト

リマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

アリマス、幸ニ此建議案が實現サレマシテ、サウシテ

断つて事ニ考へマスト、非常ニ此將來ノ人口ノ増加ト云ヒズル事ハ、驚クベキ數ニナルト思フノデアリマス、而シテ斯ノ如ク人口ヶ繁殖スルト云ヒ、増加スルト申シマスコトニ付キマシテ、第一ニ寒心ニ堪ヘマセヌノハ何デアルカト云ヘバ、即チ此食糧問題アリマス、現ニ我國ニ於キマシテ、主要ノ食物ト致シテ庇リマス米ノ不足ヲ告ゲテ居ルコトハ御承知ノ通サデアリマシテ、大正八年度ノ如キハ金額殆ド八千五百万圓ノ外木ヲ購入シ、今ニ猶小政府ハ五十万石内外ノ奉ヲ貯藏致テ居ルト云フ現況デアルノデアリマス、免モ角日本人ガ斯ノ如ク主要食物ノ米ノ殆ド毎年ノ如ク不足ヲ告ゲルト云フコトハ、實ニ吾々生存ノ上カラ申シマシテ、由々シキ大事ト謂ハナケレバナラスト思フノデアリマス、斯ノ如ク需給ノ關係カラ致シマシテ、農家ガ少シク豐作ナル時ニハ忽チ米價ガ低落致シマス、又低落スルト同時ニ農家經濟ヲシテ困難ナラシメ、之ニ反シテ農家ガ凶年不作ナル時ニハ、忽チ米價ノ暴騰ヲ來シマシテ、一般需要家就中中產階級以下ノ者ヲシテ生活ヲ脅カサシムル等、兩者交と誠ニ憂フベキ大問題ト思フノデアリマス、現在ノ人口ヲ以テシテ、斯ノ如ク年々殆ド二三百萬石ノ米ノ不足ヲ告ゲルトセバ、更ニ將來ニ於テ是ハドウナルノデアリマセウカ、成程一方ニ於テ御承知ノ通り耕地整理ニ依リ、或ハ開墾助成法ニ依リテ、年々耕地ノ面積ハ増加シテ居リマスケレドモ、併ナカラ又一方ニ於テハ御承知ノ通り段々世が進ムハ從ヒマシテ、新ニ市若クハ町村、國、縣、斯ノ如キ道路ノ擴張若クハ新設ヲ致シマス爲ニ、耕田ヲ失ヒ、又鐵道、電車ノ便ガ開ケルニ伴ヒマシテ、從來ノ耕田カラ更ニ耕作地ヲ奪フト云フヤウナ如キ、或ハ又此外工業ノ發達進歩ノ結果、耕田ヲ工場敷地トスルガ如キ、更ニ人口ヶ繁殖致シマスレバ、新ニ居住スル家屋ノ建設ヲスルガ如キ、兎ニ角是等ノ諸原因カラ致シマシテ、年々歲々耕地若クハ土地ヲ狹隘ナラシメルコトモ亦已ムヲ得ザル事態アリマスケレドモ、是ト共ニ一面ニ於テハ食糧米ヲ收穫スル面積ノ減少ヲ來スト云フコトモ、一面少々テナイト云フコトヲ私共信ズルノデアリマス、現在ニ於ケル我國ノ耕地ノ面積ハ、田ガ三百六七千万町歩、此外畠ガ三百万町歩アリマシテ、更ニ將來開墾ヲ爲シ得ル土地ガドノ位アルカト云フコトヲ調べテ見マスルト、内地ニ於テ百六七十萬町歩、北海道ニ於テ五六六十萬町歩アルト云アコトニアリマスガ、併ナガラ之ガ果シテ經濟的の可能性ヲ有シテ居ルカドウカ、是ハ頗ル吾々共疑問トスルノデアリマス、以上ノ如ク觀察致シマスレバ、我國ニ於ケル食糧問題ハ一日片時モ忽セニ出來ナイ問題アルト思フノデアリマス、然ルニ現在我國ノ文明ノ施設ト云フモノハ、主トシテ御承知ノ通り商業が中心アリマス、而シテ國策モ亦殆ド商工業

立國主義ニ在ルヤウニ思ハレルノデアリマス、然シテ爲政家モ亦商工業者モ都會ノ背景ニ農村アリ、又商業ノ基礎ハ全ク農業ニアルコトヲ閑却セル者が多いト云フコトハ、洵ニ吾々農業者ニ取りマシテハ痛嘆ニ堪ヘヌノデアリマス(拍手)惟フニ今日ノ農村問題ハ、其研究スベキ事項ハ頗ル多々アリマス、到底一朝一夕ニ論究スベキコトデハアリマセヌケレドモ、先ヅ差當り如何ナル事ヲ爲シテ宜イカ一言ヒマスレバ、第一ニ考究スペキ問題ハ、如何ニ此農民ヲシテ成ベク努力ヲ省キ、而シテ收穫ヲ多クシテ、所謂經濟的勞力ヲ施シ、經濟的ニ收穫セシメ、而シテ米ノ價ヲシテ相當ナ價格ヲ維持セシメルト云フコトガ、急務中ノ最モ急務ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、若シ今日ノ如キ農家ノ狀態ニ放任ヲ致シテ置キマスト、諸種ノ沟ニ忌ハシキ問題ガ勃發スルト云フ事モ亦已ムヲ得ヌコト、考ヘルノデアリマス、今茲ニ私共ノ縣岡山縣ノ農地は各郡ノ農會ニ委嘱致シマシテ大正十年度ノ產米ニ要シマス平均ノ生產費、ソレカラ施肥費、僕裝費、農具ノ損料、其他全部ノ生產費ヲ調査致シマシテ、丁度一市九郡ノ統計が出来上ダノデアリマスガ、今其統計ノ三四ヲ茲ニ申上ゲマスト、岡山市ガ一石ニ付キマシテ三十九圓五十八錢一厘掛ルノデアリマス、御津郡ガ二十九圓七十七錢四厘、兒島郡ガ三十九圓四十一錢九厘、都窪郡ガ三十七圓六十六錢二厘、淺口郡ガ四十五圓三十九錢後月郡ガ四十五圓八十錢一厘、吉備郡ガ四十五圓三十二錢、上房郡ガ三十五圓九十八錢七厘、川上郡ガ三十七圓五十六錢六厘、小田郡ガ四十三圓九十九錢五厘、斯ニ云フ統計が出て居ルノデアリマスガ、此統計ニ示ズ所ノモノヲ以チマシテ、目下米ノ定期相場ニ較ベテ見マスト、實ニ平均十圓内外ノ缺損ヲ來シテ居ル所ノ譯ニナルノデアリマス、斯ノ如クナレバ啻ニ諸種ノ不祥ナル問題ヲ惹起セシムルノミナラズ、農業者ヲシテ詰リ年ト共ニ他ノ職業ニ轉セシムルニ至ルト云フコトモ亦國リ知ラレスト思フノデアリマス、現ニ近年斯ノ如キ傾向ヲ帶び來シテ居ルト云フコトハ誠ニ痛心スベキトデアリマシテ、万一此儘ニ放任致シテ置キマスト、政府が折角獎勵ヲ現ニ致シテ居ルノデアリマス、而シテ居ルト云フコトモ亦國リ知ラレスト思フノデアリマス、現ニ近年斯ノ如キ傾向ヲ帶び來シテ居ルト云フコトハ誠ニ痛心スベキトデアリマシテ、萬一此儘ニ放任致シテ居ルノデアリマス、斯ニ少々テナイト云フコトヲ私共信ズルノデアリマス、現在ニ於ケル我國ノ耕地ノ面積ハ、田ガ三百六七千万町歩、此外畠ガ三百万町歩アリマシテ、更ニ將來開墾ヲ爲シ得ル土地ガドノ位アルカト云フコトヲ調べテ見マスルト、内地ニ於テ百六七十萬町歩、北海道ニ於テ五六六十萬町歩アルト云アコトニアリマスガ、併ナガラ之ガ果シテ經濟的の可能性ヲ有シテ居ルカドウカ、是ハ頗ル吾々共疑問トスルノデアリマス、以上ノ如ク觀察致シマスレバ、我國ニ於ケル食糧問題ハ一日片時モ忽セニ出來ナイ問題アルト思フノデアリマス、然ルニ現在我國ノ文明ノ施設ト云フモノハ、主トシテ御承知ノ通り商業が中心アリマス、而シテ國策モ亦殆ド商工業

立國主義ニ在ルヤウニ思ハレルノデアリマス、而シテ其方法ハ色アリマセウガ、一方ニ於キマシテハ國庫財政ノ事モ亦無論考ヘナケレバナリマセヌカラ、今俄ニ非常ナル多額ドモ、先ヅ差當り如何ナル事ヲ爲シテ宜イカ一言ヒマスレバ、第一ニ考究スペキ問題ハ、如何ニ此農民ヲシテ成ベク努力ヲ省キ、而シテ收穫ヲ多クシテ、所謂經濟的勞力ヲ施シ、經濟的ニ收穫セシメ、而シテ米ノ價ヲシテ相當ナ價格ヲ維持セシメルト云フコトガ、急務中ノ最モ急務ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、若シ今日ノ如キ農家ノ狀態ニ放任ヲ致シテ置キマスト、諸種ノ沟ニ忌ハシキ問題ガ勃發スルト云フ事モ亦已ムヲ得ヌコト、考ヘルノデアリマス、今茲ニ私共ノ縣岡山縣ノ農地は各郡ノ農會ニ委嘱致シマシテ大正十年度ノ產米ニ要シマス平均ノ生產費、ソレカラ施肥費、僕裝費、農具ノ損料、其他全部ノ生產費ヲ調査致シマシテ、丁度一市九郡ノ統計が出来上ダノデアリマスガ、今其統計ノ三四ヲ茲ニ申上ゲマスト、岡山市ガ一石ニ付キマシテ三十九圓五十八錢一厘掛ルノデアリマス、御津郡ガ二十九圓七十七錢四厘、兒島郡ガ三十九圓四十一錢九厘、都窪郡ガ三十七圓六十六錢二厘、淺口郡ガ四十五圓三十九錢後月郡ガ四十五圓八十錢一厘、吉備郡ガ四十五圓三十二錢、上房郡ガ三十五圓九十八錢七厘、川上郡ガ三十七圓五十六錢六厘、小田郡ガ四十三圓九十九錢五厘、斯ニ云フ統計が出て居ルノデアリマスガ、此統計ニ示ズ所ノモノヲ以チマシテ、目下米ノ定期相場ニ較ベテ見マスト、實ニ平均十圓内外ノ缺損ヲ來シテ居ル所ノ譯ニナルノデアリマス、斯ニ少々テナイト云フコトヲ私共信ズルノデアリマス、現在ニ於ケル我國ノ耕地ノ面積ハ、田ガ三百六七千万町歩、此外畠ガ三百万町歩アリマスガ、併ナガラ之ガ果シテ經濟的の可能性ヲ有シテ居ルカドウカ、是ハ頗ル吾々共疑問トスルノデアリマス、以上ノ如ク觀察致シマスレバ、我國ニ於ケル食糧問題ハ一日片時モ忽セニ出來ナイ問題アルト思フノデアリマス、然ルニ現在我國ノ文明ノ施設ト云フモノハ、主トシテ御承知ノ通り商業が中心アリマス、而シテ國策モ亦殆ド商工業

立國主義ニ在ルヤウニ思ハレルノデアリマス、而シテ其方法ハ色アリマセウガ、一方ニ於キマシテハ國庫財政ノ事モ亦無論考ヘナケレバナリマセヌカラ、今俄ニ非常ナル多額ドモ、先ヅ差當り如何ナル事ヲ爲シテ宜イカ一言ヒマスレバ、第一ニ考究スペキ問題ハ、如何ニ此農民ヲシテ成ベク努力ヲ省キ、而シテ收穫ヲ多クシテ、所謂經濟的勞力ヲ施シ、經濟的ニ收穫セシメ、而シテ米ノ價ヲシテ相當ナ價格ヲ維持セシメルト云フコトガ、急務中ノ最モ急務ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、若シ今日ノ如キ農家ノ狀態ニ放任ヲ致シテ置キマスト、諸種ノ沟ニ忌ハシキ問題ガ勃發スルト云フ事モ亦已ムヲ得ヌコト、考ヘルノデアリマス、今茲ニ私共ノ縣岡山縣ノ農地は各郡ノ農會ニ委嘱致シマシテ大正十年度ノ產米ニ要シマス平均ノ生產費、ソレカラ施肥費、僕裝費、農具ノ損料、其他全部ノ生產費ヲ調査致シマシテ、丁度一市九郡ノ統計が出来上ダノデアリマスガ、今其統計ノ三四ヲ茲ニ申上ゲマスト、岡山市ガ一石ニ付キマシテ三十九圓五十八錢一厘掛ルノデアリマス、御津郡ガ二十九圓七十七錢四厘、兒島郡ガ三十九圓四十一錢九厘、都窪郡ガ三十七圓六十六錢二厘、淺口郡ガ四十五圓三十九錢後月郡ガ四十五圓八十錢一厘、吉備郡ガ四十五圓三十二錢、上房郡ガ三十五圓九十八錢七厘、川上郡ガ三十七圓五十六錢六厘、小田郡ガ四十三圓九十九錢五厘、斯ニ云フ統計が出て居ルノデアリマスガ、此統計ニ示ズ所ノモノヲ以チマシテ、目下米ノ定期相場ニ較ベテ見マスト、實ニ平均十圓内外ノ缺損ヲ來シテ居ル所ノ譯ニナルノデアリマス、斯ニ少々テナイト云フコトヲ私共信ズルノデアリマス、現在ニ於ケル我國ノ耕地ノ面積ハ、田ガ三百六七千万町歩、此外畠ガ三百万町歩アリマスガ、併ナガラ之ガ果シテ經濟的の可能性ヲ有シテ居ルカドウカ、是ハ頗ル吾々共疑問トスルノデアリマス、以上ノ如ク觀察致シマスレバ、我國ニ於ケル食糧問題ハ一日片時モ忽セニ出來ナイ問題アルト思フノデアリマス、然ルニ現在我國ノ文明ノ施設ト云フモノハ、主トシテ御承知ノ通り商業が中心アリマス、而シテ國策モ亦殆ド商工業

モノヲ使用シテ居ルカト言ヒマスト、先ソ收納調整機械ノ方ハ百キロ以上二百五十キロ以内ノ範圍ニ至ルモノニアリマシテ、即チ自方約五六十貫、代價三百圓内外ノモノデアリマシテ、之ニ關稅ガドノ位掛カルカト言ヒマスト、僅カ三百圓ノ價ノモノデ六七十圓ノ關稅ガ掛カルノデアリマス、現在使用ノ小型發動機ノ種類ハドウ云フモノカト言ヒマスト、粗搗、精米、精麥、水揚等が其主ナルモニアリマス、以上ノ如ク代價三百圓内外ノ機械ニ對シマシテ、關稅ガ六七十圓ヲ要スルト云フガ如キハ、是ハ實ニ法外ナル稅率ニアリマシテ、之ガ爲ニ農業者ノ需要ニ支障ヲ來シ、農業政策上其不利益ハ實ニ計ルコトガ出來ヌト思フノデアリマス、斯ノ如キ有様ニアリマスカラ、是非共諸君ノ御贊成ヲ願ヒマシテ、農業用發動機械輸入關稅ノ廢止ヲ行ヒ、而シテ農家ヲシテ出來ルダケ人力ヲ省キ、機械力ノ應用ヲ盛ニシテ、而シテ所謂經濟的ノ勞働ヲナサシメ、他ノ農業政策ト相俟チマシテ將來食糧政策——即チ米ノ問題ヲ解決セんガ爲ニ、茲ニ本案ヲ提出致シタ所以ニアリマスガ故ニ、何卒滿場諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス(拍手)○議長(奥繁三郎君) 日程第五十 農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案 —— 八田宗吉君

(八田宗吉君登壇)

○八田宗吉君 極テ簡略ニアリマスカラ殆下原稿ヲ讀ンデ御贊成ヲ願セタトイ思ヒマス、政府ハ公平ニシナクテハナラスト云フコトハ、敢テ申スマデモナイコトニアリマス、若シモソニ不公平ナル事がアツナラバ、之ヲ公平ナラシムベク努力コトガ政治ノ要諦アルト信ジマスル(拍手)私共熟今日本ノ農民ノ狀況ヨリ考へ來リマシテ申シマスト云アト、今日農民ノ負擔ノ過重ナルコトハ正ニ言語ニ絶シテ居ル程度デアルト考ヘル者ニアリマス、由來我國ノ農民ハ長イー封建時代ノ間、壓迫ヲ被シテ居リマシタル結果、殆ド要求ヲ爲スト云フヤウナ術ヲ知ラズ、徒ニ上ノ言フ所之ニ從フコトヲ以テ道徳ノ信條ト考ヘテ居リマシタルコトガ因襲的ニ、傳統的ニ彼等ヲ驅ケテ此負擔ノ如キモノニ對シテモ叫聲ヲ揚ゲテ、サウンテハ、從來甚シク其邊ニ對シテ缺クル所ガアツノニアリマス、即チ封建時代ノ農民ナル者ハ一個人ノ倉庫ニアタ、大名ノ倉庫ニアタ、品物ヲソコカラ自由ニ取シテ之ヲ使用スルト云フ状態ニアリテ、言換ヘバ一個ノ納稅機械ニアタ、ノデアルカシテ、是等ノ數字ニ付テ觀察シマシテモ、農業組合法案外九件ノ委員ニ併セハ、御承知ノ通り封建時代ニ於テハ何等ノ稅金ヲモ負擔ス

ル事ガナカラ、處が多カタ上云フ狀態ニアタノニアリマス、サウニ云フヤウナ事ガスト傳統性ヲナシテ、今日ノ農村ノ負擔ナルモノガ今日ノ過重ナル狀況ニナツテ居ルノデアリマス、現在我國ノ人々最モ御同様憂慮ニ堪ヘザル所ノモ

今帝國農會ガ永ラクノ間幸苦艱難シテ調べマシタル茲ニト云フト、明治二十四年三千五百六十三万三千五百七十五圓ニアタノニアリマス、指數ニシテ是ガ一〇〇デアルノガ二十八圓ト云フヤウニ市町村稅ノ負擔が增加シ來タノデアリマス、斯ノ如ク市町村稅ハ明治二十四年ニ比シテ一千九百四十八万千十八圓、指數ニシテ一九一六、一戸當約二十倍ノ増大デアルニ、一方收入ト云フ方ヲ願ミマスト云フト、米ニ付テ申シマスト、明治二十一年ヨリ明治二十五年ニ至ル間ガ三千八百八十三万八千五百九十六石、指數ニシテ一〇〇デアル、ソレガ大正十一年ニナツテ五千七百七十石、米ニ付テ一人當リヨ申シマスト云フト、大正七年ニ於キマシテ、一人ノ平均ガ三十圓十四錢、農業者ハ二十三圓ト六十三錢五厘、全ク此平均額ニ達シテ居ラヌノニアリマス、商業者ノ平均ハドウナシテ居ルカト云ヒマスト、四十五圓八十三錢四厘デアツテ、農業者ノ約倍額ニ當ラニテ居ルノ被雇人デアルトカ、使用人デスラモ、此郵便貯金ガ二十八圓六十三錢三厘デアツテ、農業者ヨリモ多イト云フ状況ニアリマス、又農業者ノ負債ノ額ヲ推測テ見マスルノニ、大正九年ニ於テハ土地抵當債務推定ハ約二十五億圓デアリテ、内農業者ノ土地抵當債務ハ約二十億デアルト思ハレル、更ニ進ンデ此農業者ト商業者ト公課負擔ノ額ヲ比較シテ見マスルノニ、地主ノ經濟ニアリマシテハ、若干ノ負擔アルカシテ、是等ノ數字ニ付テ觀察シマシテモ、ノデアルカシテ、是等ノ數字ニ付テ觀察シマシテモ、農業組合法案外九件ノ委員ニ併セテ付託セラレントコトヲ望ミマス

ノハ小作爭議ニアリマス、小作爭議ナルモノモ其原因ヲ探究シテ見マスルト云フト先刻提案者ヨリソレ——御説明ノアリマシタル通り、實際收入が少クシテ、地主モ問ニ合ハナケレバ、小作人モ問ニ合ハナイ、大原因ハ全クソレニアリマス、居ル者デ相争フ者アランヤテアリマス、全ク此小作爭議ノ原因ヲ探究シテ到達スル所ハ、收入過小ニシテ負擔ノ過重ニ在ル、小作人モ地主モ共ニ農村ニ居ルコトヲ以テ、非常ニ不安心デアルト感ジ來タ所ニ在ルノニアリマス、現今我が農業者ガ、國家ニ貢獻シテ居ル點ハ實ニ偉大ナルモノニアリマス、年々此農產物ノ生產額ノ大部分ヲ利用シテ居ル、我國ノ商工業ハ此生產額ノ大部分ヲ利用シテ居ルノニアリマス、又兵役義務ノ關係ニ付キマシテモ、農村ガ多大ナル負擔ヲ爲シテ、良兵良農ヲ輩出シテ居リマスル所ノ狀況ニ付キマシテハ、先般此本會ニ國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シテ、交付金下付ニ關スル建議案ノ説明ノ際ニ、陸軍省發表ノ表ヲ以テ、サウシテ詳シク申上げテ置イタクノニアリマス、全ク農村不振ノ原因ハ經濟力ノ足ラザル點ニ在リマス、故ヲ以チマシテ此經濟力ヲ回復スルト云フコトニ申上げマセヌ、要スルニ農村興廢ノ如何ハ國家經濟ノ興廢デアリマス、一日之ヲ緩ウセバ、國家ハ一日ノ損失ヲ招クノデアリマス、全ク農村不振ノ原因ハ經濟力ノ足ラザル點ニ向テ、國家ハ努力ヲ行カナケレバナラヌト云フコトハ、政テ詳シク申上げル必要ハナカラウト信ジマス、農村經濟力ガ回復シテ來マシタナラバ、農村ソレ自身健全ナルモノトナシテ來テ國家ノ基礎ガ安定サレルコトニナルノニアリマス、即チニシテ、國家ハ努力ヲ行カナケレバナラヌト云フコトハ、政テ詳シク申上げル必要ハナカラウト信ジマス、農村經濟力ガ回復シテ來マシタナラバ、農村ソレ自身健全ナルモノトナシテ來ルコトハ、繰返シテ申ス必要ハナカラウト信ジマス、吾々ハ農村ハ思想上ヨリ申シマシテモ、經濟上ヨリ申シマシテモ、實ニ國家ノ安全禦アリマス、此安全禦ニ對シテ若シモ國家グ保護ヲ加フルコトヲ急クナラバ、國家ノ基礎ガ危クナシテ、今日ノ急務中ノ急務アルト信ジマス、農村ノ負擔ノ割強アルカシテ、是等ノ數字ニ付テ觀察シマシテモ、農業組合法案外九件ノ委員ニ併セテ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナイト
認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○鈴木錠藏君 (三ヶ月議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ日程第三ニ掲タル政府提出増加恩給等ノ增額ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進ムラレンコトヲ望マス)

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ日程變更ノ動議ハ御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、三善清之君

增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案(政府提出)

一增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月二十二日

增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案委員長

三善 清之
衆議院議長奥繁三郎殿

〔三善清之君登壇〕

○三善清之君 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ本日ノ日程ニアリマシタ、增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案政府提案アリマス、本案ハ滿場ニ諸君が極メテ切望シテ居ラシヤル所ノ下級官吏ノ疾病等ニ關スル、或ハ戦時ノ負傷等ニ關スル恩給ノ増額アリマス、殊ニ瘦兵ノ最近慘メナル状況ハ、國民ノ極メテ同情ニ堪ヘラレナイ問題ニアリマス、故ニ本問題ニ付キマシテハ我黨ノミナラズ各派ヨリ、或ハ建議案トナリ、或ハ法律案ニ類似シタモノモアリ、或ハ調査會ヲ設ケタトイ云フ建議案モ山テ居リマスヤウナ場合デアリマス、政府ニ於キマシテハ既ニ是マデ當局者間ニ於テ、色ニ法案ノ準備モ出來テ居リマシタノアリマスガ、何分財政上ノ都合上遷延ヲ致シタ次第デ、纏ニ茲ニ財政ノ餘裕ガ出來マシタノデ、差向キ取急イデ此法案ヲ出サレタ次第アル、左様ナ次第アリマスカラ、此法案ハ洵ニ焦眉ノ急防グニ止マリ、姑息アリマシテ、吾々諸君ト共ニ満足スル案デハナインアリマス、然レドモ焦眉ノ急防グニ止マリ、其メ必要ナリト感ブルノアリマス、其金額ハ本年度ニ於キマシテハ八十四万圓、明年度ニ於テ百十二万圓ト云フ

豫定ヲシテゴザイマスノアリマスケレドモ、吾々ハ明年度ニ於キマシテハ、此額ヲ二倍若クハ三倍ニシテ貴ヒタイト云フ、此法案ハ諸君ノ御手許ニアリマス通り、大正十一年三月三十一日現在ニ於テ、國庫ヨリ增加恩給增加退隱料又ハ之ニ準スベキモノヲ受ケ、又ハ受クヘキ者ニ對シテハ、本法施行ノ日ヨリ當分ノ内ニ當分ノ内ニ其金額ノ外ニ、症項ノ差等ニ從テ左記ノ金額ヲ給ストアル、症項ト申シマスノハ其疾患ノ種類、負傷ノ種類アリマス、ソレハ諸君モ定メシ御承知デアラウト思ヒマスカ、甲種乙種トアリマシテ、甲種ハ六項ニ分レ、乙種モ六項ニ分レテアルノアリマス、是亦一寸半若クハ一寸半ヲ失ウタ者、第四項ハソレニ準ズル傷痍疾病、第五項ハ一眼若クハ一寸半ヲ失ウタ者、第六項ハソレニ準ズ者、斯ウアルノアリマス、而シテ今回ノ增加退隱料ノ割合ハ甲種ノ一項ハ其增加恩給、若クハ增加退隱料ヲ受ケマシタル其外ニ増額スベキモノヲ、一項ニ於テハ百八十圓、二項ニ於テハ百五十圓、三項ニ於テハ百二十圓、四項ニ於テハ百圓、五項ニ於テハ七十圓、六項ニ於テハ五十圓、是ガ甲種デアリマスガ、甲種ト云フノガ即チ廢兵ニ屬スルノデ、戰鬪線ニ立チマシテ傷ヲ受ケタ者ハ甲種ニ屬スル、而シテ乙種ハ一項ガ百六十圓、二項ガ百三十圓、三項ガ百圓、四項ガ八十圓、五項ガ六十圓、六項ガ四十圓、此乙種ト云フノハ廢兵デナク、是ハ市町村ノ小學校教員ノ退隱料及遺族扶助料ヲ受クル者、或ハ巡查看守ノ退隱料、或ハ遺族扶助料ヲ受クル者、又府縣若クハ地方費ノ中カラ退隱料若クハソレニ準ズルモノヲ受クル者ニシテ、矢張此疾病傷痍ノアタ場合ニ給スルモノニアリマス、是ダケノ此度ノ法律ノ改正デアリマス、併ナカラ先刻申シマス通り、吾々ハドウゾ明年度カラ財政ノ計畫ニ餘裕ガアリマスナラバ、倍額若クハ三倍ニモシテ欲シトイ云フコトノ希望ヲ持テ居リマスガ故ニ、委員會ニ於キマシテハ各派ノ諸君カラモ同様ナ御意見ガアリマシテ、希望ハ述ベテ置キマシタ次第アリマス、ソレデ尙ホ政府ニ對シテ希望ヲ述ベマシタノハ、一項カラ六項ニ至ル迄ノ差ガ餘り多過ギル、一項ハ百八十圓アリマスガ、六項ノ者ニハ五十圓シカ給サナイ、然ルニ此一項ニ當ル者ハ兩肢又ハ兩眼ヲ失ダノアリマスカラシテ、外ニ出テ歩クコトハ出來ナイ、全ク片輪者ニナシテ居ル、然ルニ三項以下ノ者デアル、此三項以下ノ者ニ對シテハ、僅カ五十圓許リ

給シタノハ甚ダ遺憾アル、併ナガラ財政ノ都合上唯是本年限リテ、ドウカ次年度ニ於キマシテハ、少クトモ此六項ニ當ル者ニ對シテハ百圓以上ノモノヲ給シテヤリタイ、斯ウ云フ希望ヲ持チマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ此案ヲ可決致シタ次第アリマス、尙ホ併セテ吾々ハ希望ヲ述べ置イタノアリマス、此三項以下ノ六項ニ至ル者ニ對シテハ乗車券ヲ與ヘテヤリタイト云フ、希望モアルノアリ、是モ政府當局ニ交渉ヲ致シマシタ、當局ニ於テモ頻ニドウカサウシタモ、是モ吾々ガ希望ヲ述ベテ置キマシタ次第アリマス、是モ、目前焦眉ノ急務ト致シテハ、斯様ナ事デ相濟ミマシタ次第アリマス、同時ニ申上げテ置キタイトノアリマス、此スカラ、ドウカ御諒承ヲ戴キタイ、茲ニ報告致シテ置キマスヤラ御諒致シマス

ハ大正九年以前ハ餘リ此件ニ付テハ一向御意見ガ出テ居テナリ、大正九年以前ハ尚更出ナリ、最近原内閣以後今日ノ現内閣ニ於テ、斯ノ如キ焦眉ノ急ト雖モ手當ヲ十分ニ増シマシテ、諸君ノ希望ヲ達スルヤウニ致シテ居ルノアリマスカラ、ドウカ御諒承ヲ戴キタイ、茲ニ報告致シテ置キマスヤラ御諒致シマス

○議長(奥繁三郎君) 本案ニ付テ第二讀會ヲ開クヤ否
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト
認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○鈴木錠藏君 直ニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通告リ可決確定アランコトヲ望ム、マス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

○議長(奥繁三郎君) 委員長ノ報告ナルモノハ政府提出案贊成ト云フ意味デ外ニ決議ガ多々アタト云フコトヲ出案贊成ト云フ意味デ外ニ決議ガ多々アタト云フコトヲアリマスケレドモ、ソレハ不明瞭——將來ニ於ケル希望デス、故ニ政府提出案通り、即チ委員長報告通り、議會ヲ省略シテ可決確定致シマシタ——只今貴族院ヨリ鐵道敷設法案ガ回付セラレマシク、此際ニ日程ヲ變更シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程モス
カ更換シマタク

鐵道敷設法案(政府提出)(貴族院回付)

○議長(奥繁三郎君) 貴族院回付ノ箇後ヲ朗讀致サセ
〔原田實紀官房顧〕

(小字及ハ貴族院修正)

鐵道敷設法案中貴族院回付ノ箇所左ノ如シ

第一條 政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲

〔別表ニ掲クル豫定鐵道線路ヲ調査敷設スル經費ノ
算定ノ額次繰續資トシテ帝國議會ノ協賛ヲ求ム〕

〔シ〕
第二條 政府ハ前項豫定鐵道線路ヲ調査敷設セムトスルトキ
ハ經費ノ豫算ヲ定メ畜産業者トシテ蓄産業會ノ協賛ヲ求
ムヘシ

第三條 豫定鐵道線路ニ該當スルモノト雖一地方ノ
交通ヲ目的トスルモノ在リテハ政府ハ地方鐵道トシ
テ其ノ敷設ヲ免許スルコトヲ特

〔五〕
第四條 豫定鐵道線路ヲ變更シ又ハ豫定鐵道線路中
新ニ工事を着手スルモノヲ定ムルトキハ鐵道會議ノ諮詢
ヲ經ヘシ

附 則
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法、北海道鐵道敷
設法、明治二十七年法律第六號乃至第十號、同年法
律第十二號乃至第十五號、明治二十九年法律第七十
二號乃至第七十七號、明治三十年法律第十一號、同
年法律第三十二號同年法律第三十三號及同年法律
第三十五號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前鐵道敷設費豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵
道線路ハ本法ニ依リ敷設スルモノト看做ス

○武藤金吉君 只今此鐵道敷設法案ニ付キマシテ、貴族
院ニ於テ修正セラレマシタ通り本員ハ同意致シマス
〔贊成〕
〔贊成〕
〔近藤達見君〕

○議長(奥繁三郎君) 一寸其以前ニ本案ニ付テ質疑ノ
通告ガアリマス、近藤達見君

〔近藤達見君登壇〕

○近藤達見君 只今貴族院ヨリ回付サレマシタ此修正
案デアリマスルガ、第一條ニ於テ「帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完
成スル爲政府ノ敷設スヘキ」ト訂正致サレタノアリマスル

ガ、此政府ノ敷設スペキト云フ意味ハ、政府が敷設セネバナ
ラヌ所ノ義務アル線路ト云フ意味デアリマセウカ、又ハ政府
が敷設シ得ル所ノ線路ト云フ意味デアリマセウカ、其點ヲ
御伺シタインデアリマス、此點ヲ明白ニ致シテ置カヌケレバ
ト思ヒマスカラ、此點ヲ明白ニ御答フ願ヒタイト思ヒマス
〔國務大臣元田肇君登壇〕

○國務大臣(元田肇君) 只今ノ御尋ニゴザイマルガ、帝
國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲政府ノ敷設スペキ豫定鐵
道線路ハ別表ニ掲クル所ニ依ルト云フ文字ノ通リデアリマ
ス、第一條第一條が引括メテ第一條トナテ居ラタノデアリ
マスルガ、貴族院ニ於キマシテハ向ホ明瞭ナラシメル爲ニ、之
ヲ二箇條ニ分クタニ承知致シテ居リマス、大體ノ趣旨ニ
於キマシテ變りハゴザイマセヌカラシテ、政府ニ於テモ此成
立ヲ希望スルガ爲ニ、本院ニ於テ御同意アランコトヲ願フ
イマシタ、何卒速ニ成立スルヤウニ希望致シマス
○近藤達見君 此席ヨリテ宜シウゴザイマスカ

○議長(奥繁三郎君) 宜シイ

○近藤達見君 只今ノ元田大臣ノ御答辭ハ文字ノ通り

デアルト云フ御答辯ニアリマシタガ、其文字ノ解釋ガ甚ダ不
明瞭デアリマス、其意味ヲ御尋シタノデアリマスカラ、其意
味ヲ明白ニ致シテ戴キタインデアリマス、即チ「スベキ」ト云フ
コトハ、政府ノ義務ニ屬シテ必ズ敷設セネバナラヌモノデア
ルカ、若クハ左様ナ意味デナク敷設シ得ルト云フ意味デア
ルカ、孰レノ意味ニ解釋シテ宜シイノカ、其一方ニ付テ御答
願ヒタイト思フ

〔國務大臣元田肇君登壇〕

○國務大臣(元田肇君) 御答致シマスガ、第一條ニ定メ
マシタノハ「帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲政府ノ敷設
スペキ豫定鐵道線路トス様ニアリマスカラ、此文字通り

ニ政府ノ敷設スペキ豫定鐵道線路デアリマス、サウデアリマ
スルガ、第三條ニ於キマシテ、一地方ノ交通ヲ目的トスルモ
ニ在リテハ除外例ヲ設ケテ、地方鐵道トシテ其敷設スル

コトヲ免許シ得ルト云フコトニ定メテア
ルノデアリマス、斯ク定メマシタ以上ハ、政府ノ敷設スペキ豫
定鐵道線路ト云フモノハ別表ノ通リテアリマス、法律デ定
メルノデアリマスカラ、當然ノ結果トシテ、早晚之ヲ敷設シテ
ケレバナラヌ、拘束力ヲ持テ居ルコトハ申スマデモナイコト、
思ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 鐵道敷設法案ハ貴族院ノ修正ニ

同義スルヤ否ヤ御詰リ致シマス、之ニ付テハ武藤君ヨリ
同意ノ意見ガ發表サレテ贊成ガゴザイマシタ、貴族院ノ修
正ニ同意ニ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

第五十一 大直鐵道建設速成ニ關スル建議案

議案(吉良元夫君外二名提出)

大直鐵道建設速成ニ關スル建議案

政府ハ速ニ久大線大分縣大分郡庄内郷ヨリ直入郡西

北部長湯、都野、久住ヲ經テ豊肥線ニ接續スル横斷鐵

道ヲ建設スヘシ

右建設ス

○吉良元夫君 簡單デアリマスカラ自席ヨリ申上グマス、
本建議案ハ第四十四議會ニ於テモ、滿場一致ヲ以テ通過

致シテ居る案デアリマス、即チ久大線大分縣庄内郷ヨリ直

入郡西北部長湯、都野、久住ヲ經テ、豊肥線ニ聯絡致シマス

鐵道デアリマス、然ルニ此鐵道ハ只今通過致シマシタ所ノ

鐵道敷設法案ニハ載シテ居リマセヌ、此載シテ居リマセヌ理由

ハ、現鐵道大臣が極テ公平ニシテ、此線路ノ必要ト云フコ

トハ非常ニ認メルケレドモガ、ドウモ大分縣ニ鐵道ヲ敷ケト

云フコトハ、沟ニ自分ノ出身地トシテ困ルト云フコトデ、故

ラニ是ハ御回避ニナシテ居ラレル、然ルニ此線路ハ昨年説明

ヲ致シテ置キマシタ通りニ、獨特ノ理由ガアル線路デアリマ

スルカラシテ、本年モ是非共是ガ成立致スヤウニ希望致ス

次第アリマス

○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾

間電力鐵道延長ニ關スル建議案外一二二件ノ委員ニ併

セテ付託セラレントコトヲ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕〔ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五十二、竹田

三田井間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス

第五十二 竹田三田井間鐵道速成ニ關スル建議案(吉良元夫君外三名提出)

〔提議〕

竹田三田井間鐵道速成ニ關スル建議案

竹田三田井間鐵道速成ニ關スル建議案

本線ハ豐肥線中竹田町ヨリ分岐シ玉來、宮城ノ經テ熊

山

限ル」/三十六字ヲ加フ

参考

第二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ

一一該當スルモノナルコトヲ要ス

一國防其他軍事ニ關スル事業

二官廳又ハ公署建設ニ關スル事業

三教育、學藝、又ハ慈善ニ關スル事業

四鐵道、軌道、道路、橋梁、河川堤防、砂防、運河、

用惡水路、溜池、漑渠、埠頭、水道、下水、

市場、電氣裝置、瓦斯裝置又ハ火葬場ニ關スル

事業衆住宅ノ建築其ノ公用ノ目的ヲ以テ國府縣郡

市町村其他公共團體ニ於テ施設スル事業但シ

公衆住宅ノ建築ニ付テハ其ノ收用又ハ使用スヘ

キ土地ニ建物ノ存セサルトキニ限ル

(2)改正案第二條ノ二ヲ左ノ通り修正ス

現ニ公共ノ利益ト爲ル事業ノ用ニ供セラル、土地ト

雖前條ノ規定ニ適合シ且ツ現在ノ事業ニ比シ一層

緊切ナル公コトヲ得

又ハ使用スルコトヲ得

(3)改正案第五條中、「同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ

加フ」トアル部分及ヒ以下ノ全文ヲ削除ス

(4)現行法第六十六條第一項中、二十箇年トアルヲ五

十箇年ト改ム

参考

第六十六條收用ノ時期ヨリ五十箇年内ニ事業ノ廢

止其ノ他ノ事故ニ因リ收用シタル土地ノ全部又ハ一部ク不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其相續人ハ

補償價額ヲ以テ之ヲ買受クルコトヲ得：

(5)改正案第七十六條中、「百圓」トアルヲ「二百圓」ト

改ム

(6)現行法第五十一條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第五十一條ノ二

收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル建物ノ使用者ニハ引

越料ヲ交付スヘシ但シ運搬費ノ外尙ホ明渡期間ノ長

短代用ノ建物ヲ得ルコトノ難易移轉及其準備ノ爲

メニ生スル休業ノ要否等ヲ斟酌シ建物使用者ノ受ク

ヘキ損失ヲ算定スヘシ

建物使用者カ商工業其他ノ業務ヲ營ミ他ニ移轉ス

ルコトニ因リ特ニ顯著ナル損失ヲ受クルトキハ別ニ老

本條一一定メタル引越料又ハ老舗料ハ其使用スル

建物ノ貨料三箇年分ヲ超過スルコトヲ得ス又タ引越

料及老舗料ヲ同時ニ交付スルトキハ通シテ其五箇

年分ヲ超過スルコトヲ得ス

第五十一條ノ三

收用又ハ使用スヘキ土地ノ小作人ニハ損失ノ補償トシテ小作ニ依リテ得ヘキ利益額ノ三年分ヲ交付スヘシ

前項ノ利益額ハ小作人ノ労力貢ヲ控除セシミテ之ヲ算定ス

○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮り致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ハナイト

認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○鈴木錠藏君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告、即チ政府提出原案ノ通り可決確定セラレントコトヲ望シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

土地收用法中改正法律案

第五十六 「タール」色素竝「カラメル」使

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマスター日本議程第五十六「タール」色素竝「カラメル」使用取締ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス——大林森次郎君

○議長(奥繁三郎君) 鈴木錠藏君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ハナイト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマスター日本議程第五十六「タール」色素竝「カラメル」使用取締ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス——大林森次郎君

○鈴木錠藏君 本案ハ伊藤廣綾君提出植物病理研究所設置ニ關スル建議案外四件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ガナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五十七、千代川改修速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、山本藤助君

○鈴木錠藏君 本案ハ伊藤廣綾君提出植物病理研究所設置ニ關スル建議案外四件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 千代川改修速成ニ關スル建議案

第五十七 千代川改修速成ニ關スル建議案

案(山本藤助君外一名提出)

○議長(奥繁三郎君) 千代川改修速成ニ關スル建議案

○大林森次郎君 此席カラ申上ゲマス——吾々が日常用品テ居リマス所ノ飲食物ハ人工ニ著色シ居ルモノガ多

イノアリマス、其著色料トシテ最毛廣ク且ツ盛ニ用井ラレテ居ル所ノモノハ「タール」色素及「カラメル」デアリマス「カラメル」ハ普通澱粉又ハ砂糖ヲ燃焼シテ製スルモノデアリ

ラメル「百八十度乃至二百度」熱ヲ加ヘテ製シラモノデス、砂糖ノ中デモ黃「ザラ」ト申シマス物ヲ熱シマスト、其熱度ガ百五十度ニ達スレバ、茲ニ最モ恐ルベキ有毒ナル「フォ

ルムアルデヒード」ト云フモノガ出來ルノデアリマス「カラメル」ハ、「百八十度乃至二百度」熱ヲ加ヘテ製シラモノデス、ソレ故ニ飲食物取締規則ニ於テハ、絕對ニ之ヲ飲食

物ニ加ヘルコトヲ禁止サレテ居ルノデアリマス、然ルニ一方ニ於テ飲食物ノ著色ラスルニ「カラメル」ヲ用井テアル、其「カラ

メル」ノ中ニハ「フォルムアルデヒード」ヲ含ンデ居ルガ故ニ嚴重ニ之ヲ取締ルト云フト、殆ド販賣サレテ居ル所ノ飲食物ニ於キマシテモ、禁止ヲシナケレバナラズモノガ多イデアリ

マスソレ故ニ此「カラメル」ノ使用ニ付テ制限ヲ加ヘテ貯ヒタイ、又「タール」色素ニ付キマシテモ、申上ゲタイ事ハ色彩アリマスケレドモ、是レハ專門ニ屬スル事デアリマスカラ、詳細ハ委員會申述ベルコトニ致シマスドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ伊藤廣綾君提出植物病理研究所設置ニ關スル建議案外四件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望シマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ガナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五十七、千代川改修速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、山本藤助君

○鈴木錠藏君 本案ハ伊藤廣綾君提出植物病理研究所設置ニ關スル建議案外四件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望シマス

○議長(奥繁三郎君) 千代川改修速成ニ關スル建議案

○議長(奥繁三郎君) 千代川改修速成ニ關スル建議案

八四三

此千代川ト申シマヌノハ、鳥取縣下ノ西南部ヲ北ニ流レテ

居リマス此邊アノ可ナリ大キナ川デアリマス、此川ノ水源地ノ山林ガ濱伐サレマシテ、又一ニハ河床ガ高クナリマシテ、少シ降雨ガ重ナリマスト、河水ガ氾濫致シマシテ、度々其附近ニ被害アリ且ボスノデアリマス、殊ニ去ル大正七年九月ノ大洪水ノ如キハ、其當時新聞デモ御承知デアリマセウガ、非常ナ惨状ヲ察シマシテ、市内ニ於テモ數百万圓ノ損害ガアタ

ノデアリマス、又郡部ニ於テモ千數百萬圓ノ損害カアタノデアリマス(簡単ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ)簡單ニヤリマス、由來此山陰ハ産業モ工業モ振ハナイノデアリマス、其原因ハ海ニ良港ガ無ク、又鐵道ノ敷設ガ非常ニ遅レタ爲デアリ

マスダ、併シ最モ主ナル原因ハ、此千代川ノ河水が度々氾濫致シマシテ、洪水ガ起リマス爲ニ、其不安デ産業工業ヲ起スコトヲ見合セル次第アリマス、ソレ故此地方ニ産業工織ガ一モ見ルベキモノガ無イ次第アリマス、政府ハ早ク此施設ノ計画ヲセスレマシテ、速ニ改修ノ實ヲ擧ケラレントヲ希望スル次第アリマス、此案ノ早ク成立スルト否トハ此地方ノ海ニ死活問題デアリマスカ故ニ、是非皆様ノ御賛同ヲ得マシテ早ク成立ツコトヲ希望致シマス

○鈴木綾藏君 本案ハ前田米藏君外九名提出多摩川改修費及水源涵養費國庫支辨ニ關スル建議案外七件ノ委員二併セテ付託セラレコトヲ望ミマス

第五十八 國有林野法中改正ニ關スル建議案(八田宗吉君外二名提出)

○謙長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認ムシタ、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五十八、國有林野法中改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、八田宗吉君

第五十九 青年團經費補助ニ關スル建議案(鈴木綾藏君提出)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認ムマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五十九、青年團經費補助ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、鈴木綾藏君

第六十 營業稅全廢ニ關スル建議案(上田彌兵衛君提出)

ノ十分ノニヨリ其地方ニ讓與セシムルト云フコトガ、本案提

出ノ主ナル理由デアリマス、詳シイ事ハ委員會ニ於テ申述

マス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木綾藏君 本案ハ八田宗吉君外二名提出國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シ、交付金下付ニ關スル建議案

外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレコトヲ望ミマス

ミマス

(「贊成」贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ガナイト認ムマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六十、營業稅全廢ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス――上田彌兵衛君

了ト共ト之ヲ廢止スヘキモノナルニ拘ラス、今尚存續スルハ甚タ其ノ當ヲ得サルモノナリ、從來全國各地ノ從業者ヨリ其ノ撤廃ヲ促スノ聲頻タル亦宜ナリ、而シテ業三二十年五ノ經過シタル今日ニ於テハ施行當時ニ比シ社會上經濟上著シキ變遷ヲ來シ時世ニ適應セサル、稅法ト謂フヘク且其ノ不備ノ點ハ(一)徵稅方法ノ不公平(二)稅率ニアリ、其ニ抵觸スル所定ノ課稅ヲ爲ササルヘカラサル實力アリ、今日ニ於テ特ニ緊要ノ事項ナリト認ム、政府ハ宜シク相助金支出ノ途ヲ開キ其ノ發達ヲ促進スルノ方法ヲ譲セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○上田彌兵衛君登壇

(「贊成」贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(奥繁三郎君) 上田彌兵衛君私ハ本案ノ提出者ト致シマシテ、提案ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタタイト存ジマス、我國ノ商工業者ガ此營業稅ノ全廢ヲ熱望シテ居リマスコトハ、吾ニ時今ノ問題デハナインデアリマス、過去十數年來、或ハ請願ニ或ハ陳情ニ、時ノ政府並ニ議會ニ向ヒマシテ、其希望ヲ開陳シテノ例ヲ見サルナリ依テ政府ハ速ニ之カ全廢ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○上田彌兵衛君登壇

(「贊成」贊成「ト呼フ者アリ」)

○上田彌兵衛君私ハ本案ノ提出者ト致シマシテ、提案ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタタイト存ジマス、我國ノ商工業者ガ此營業稅ノ全廢ヲ熱望シテ居リマスコトハ、吾ニ時今ノ問

題デハナインデアリマス、過去十數年來、或ハ請願ニ或ハ陳情ニ、時ノ政府並ニ議會ニ向ヒマシテ、其希望ヲ開陳シテ

居ルノアリマスダ、不幸ニシテ未だ其聲明ヲ徹底致シマセス

スガ故ニ、今尙其目的ヲ達スルコトガ出來得マセヌノハ、私共ノ沟ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、然ラバ

多大ノ困苦ト苦痛ヲ與ヘル次第アリマス、然ラバ

何故商工業者ガ營業稅ノ廢止ヲ熱望致シマスカト申シマ

スルト、此營業稅法――現行ノ營業稅法ニハ、沟ニ多クノ

スガ故ニ、今尙其目的ヲ達スルコトガ出來得マセヌノハ、私共ノ沟ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、然ラバ

多大ノ困苦ト苦痛ヲ與ヘル次第アリマス、然ラバ

何故商工業者ガ營業稅ノ廢止ヲ熱望致シマスカト申シマ

第六十二

鹿兒島地方裁判所大島支部事務取扱權限復活ニ關スル建

議案(福苗代君提出)

鹿兒島地方裁判所大島支部事務取扱權限復活ニ關スル建議案

鹿兒島地方裁判所大島支部事務取扱權限復活ニ關スル建議案

議案(福苗代君提出)

鹿兒島地方裁判所大島支部事務取扱權限復活ニ關スル建議案

鹿兒島地方裁判所大島支部事務取扱權限復活ニ關斯ル

形ノ標準アリマスカラ、之ニ依テ査定サレマス以上ハ、其營業ノ種類ニ依リマシテ、又商品ノ種類ニ依リマシテハ、營業者ノ負擔ノ上ニ極メテ、大ナル不公平ガ生ジテ、金額同一デアリマシテモ、甲乙丙ト其人ニ依リマシテ課税セラル額が違フナデアリマス、又現行法ハ收益ノ有無多少ヲ法理上度外ニシテ居リマスガ故ニ所謂勉強ヲ致シマシテ、薄利多賣主義ニ依テ多クノ賣上ヲ得、而シテ少キ利益ヲ取りマシタ者ガ、所謂暴利ニ依リマシテ、少ク賣上げテ多クノ利益ヲ取ッタ者ヨリモ、反比例ニ多クノ營業稅ヲ負擔シナケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如キハ即チ商業道德ヲ破壞スルモノアリマシテ、又商人ノ節制ヲ無節制ニ導ク虞ガアルノデアリマス、殊ニ外形標準アリマスガ故ニ……

○議長(奥繁三郎君) 上田君、アナタガ演説ヲ始メタキトキト違テ、定員ニナシテ居リマセヌ、今定員ニ達シテ居リマセヌ、暫ク——定員が無イカラアナタガ演説ヲシテモ是カラハ效果ヲ生シナイ譯デス、今日ハ成ベク建議案總デノ済マセタイト考ヘマスガ(賛成下呼フ者アリ)暫ク其儘ニ居テ休憩シテ貰ヒマス

○上田彌兵衛君(續) モウ五分間程アリマスガ……

○議長(奥繁三郎君) 今調ベテ居リマスガ、定員ニ滿タナイト恩ヒマス、暫ク席ニ御著キナシテ居テ下サイソレデハ暫時休憩ヲ致スコトニ致シマシテ、暫ク控席ニ御息ニアリマス、サウシテ本日ハマダ案件ガ多クテ、此建議案ナド要明言ノ委員會ニ總テ付託ニナルコトダラウト思ヒマス、明日ノ委員會ニ付託ニナラズベ、二十四日ノ本會議ニ提出シテ委員付託ニナレバ、事ニ依ルト折角ノ熱心ヲ以テ提出シテ居ル案モ、本議ニ懸ケルコトが出來ナイトモ限ラストハ暫時休憩ヲ致スコトヲ此處デ宣告を明言ノ委員會ニ總テ付託ニナルコトダラウト思ヒマス、明

○上田彌兵衛君(續) シテ委員付託ニナレバ、事ニ依ルト折角ノ熱心ヲ以テ提出シテ居ル案モ、本議ニ懸ケルコトが出來ナイトモ限ラストハ暫時休憩ヲ致スコトヲ此處デ宣告を明言ノ委員會ニ總テ付託ニナルコトダラウト思ヒマス、明

○上田彌兵衛君(登壇) シテ委員付託ニナレバ、事ニ依ルト折角ノ熱心ヲ以テ提出シテ居ル案モ、本議ニ懸ケルコトが出來ナイトモ限ラストハ暫時休憩ヲ致スコトヲ此處デ宣告を明言ノ委員會ニ總テ付託ニナルコトダラウト思ヒマス、明

○上田彌兵衛君(續) 潤ニ時間ヲ取りマシテ相済マヌ譯アリマスガ、此案ハ極ニ苦々商工業者ニ取リマシテ重要ナシノアリマスカラ、暫ク御清聽ヲ願ヒマス、此現行ノ營業總法ハ損失ヲ致シマシタ者ニ對シテモ、矢張同率ノ課稅ヲヤレマスルガ故ニ、其負擔ニ堪ヘシテ廢業スル者ガアリ、又之が爲ニ破産ノ運命ニ遭遇シ者モ少クナインアリマス、専門課稅ノ稅率が過重アリマスルガ故ニ普通一般場合ニ於キマシテモ、本稅ニ所得稅並ニ附加稅ヲ加算致シマスルナラバ、到底營業上ノ收益ヲ以チマシテハ、負擔ヲ支拂スルコトが出来ナインアリマス、ソレ故ニ課稅ノ上ニ於

午後四時二十九分休憩

午後五時五十二分開議

○議長(奥繁三郎君) 依憩前引續イテ會議ヲ開キマス、澤第六十、上田彌兵衛君——尙ホ演説ノ續カアリマスカラモシテアリマス、
○議長(奥繁三郎君) ソレハ繼續ナサイ
○上田彌兵衛君(續) 潤ニ時間ヲ取りマシテ相済マヌ譯アリマス(下呼フ者アリ)休憩ヲ宣

キマシテハ常ニ紛議ガ生ジマシテ、又虛偽リカ起リマシテ、營業者ト徵稅者ノ間ニハ一種ノ懸引ガ起リマシテ、常ニ混雜シテ居偽リヨリモ、此虛偽リヲ申スト云フ事ハ、輸テハ思想ヲ悪化セシムルト云フ缺點ガアルノデゴザイマスル、惟フニ此稅法ハ最初佛蘭西ニ起リマシテ、我國ガ之ヲ摸倣シタモノアリマス、ルガ、今日デハ世界ノ何レニ於キマシテモ、營業稅法ヲ國稅トシテノ制度ハ有セラレテ居ラナイデアリマス、此一事ニ於キマシテモ、廢止スベキガ至當デアラウト思フノデアリマス、新設セラレタモノアリマシテ、日露戰後ニ於キマシテハ非常特別稅トシテ十五割ノ増徴ヲセラレテ居ルノデアリマスル、其際ニモ時ノ政府ハ戦後直ニ之ヲ廢スルト云フコトヲ聲明セラレテ居ルノデアリマスルガ、其後軍備擴張ノ爲ニ、遂ニ恆久稅トシテ今日ニ至ラ、ノデアリマスル、今ヤ軍縮ノ結果軍備が縮少セラレルト云フコトニアラバ、此歴史沿革カラ行キマシテモ、當然廢止ザルベキモノト信ズルノデアリマス、私共ハ此營業稅ノ全廢ヲ主張ハシテ居リマスルガ、之ガ爲ニ我商工業者ヲモサセナイト云フ意味デハナイノデアリマス、若シ國民全體ト致シマシテ、合理的平等ナル課稅アリマスルナラバ、商工業者モ亦之ヲ負擔スベキハ當然ノ事ト思ヒマスルガ故ニ、此意味合ニ於キマシテ營業稅ノ廢止ヲ主張スル所以アリマスルカラ、ドウカ皆様ニ於キマシテモ、慎重御審議ノ結果、本案ニ御賛成アランコトヲ希望スル次第アリマス(拍手)
○鈴木錠藏君 本案ハ大岡育造君外二十九名提出、軍備縮少ニ基因シテ生ズベキ失業労働者ノ善後ニ關スル建議案、外一件ニ委員ニ併セテ付託セラレントナ望ニマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六十一、第六十二提_出者同一ナル議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、日程第六十一、鹿兒島縣各離島築港國庫補助ニ關スル建議案第一、鹿兒島縣各離島築港國庫補助ニ關スル建議案第六十二、鹿兒島地方裁判所大島支部ノ事務取扱權限復活ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス

第六十一 鹿兒島縣各離島築港國庫補助ニ關スル建議案(福苗代君提 出)

第六十二 鹿兒島縣各離島築港國庫補助ニ關スル建議案(福苗代君提 出)

○議長(奥繁三郎君) 竹上藤次郎君登壇

○竹上藤次郎君時間ガ切迫シテ居リマスカラ、極ク大要ヲ簡略ニ申上ゲテ、諸君ノ御協賛ヲ得タイト思ヒマス、營業稅ノ減稅タル事ハ、實業社會ノ輿論トナリノ居ルノデアリマス、唯實業者ハ何ノ爲ニ惡稅アルカト云フコトハ、少シ不明瞭アルノデアリマス、私ガ之ヲ考ヘマスルト、一ツハ徵收セシメタ後ニ於キマシテ、交付金ヲ之ニ交付スル結果、織物稅ノ減稅タル事ハ、實業稅モ矢張此徵收方法ヲ變ヘマスレバ、營業稅ハ善稅アルト私ハ信ズルノデアリマス、

大體此營業稅ノ歴史ヲ考へマスト、今モ上田君ガ少シ申サレタヤウニ、軍費ノ爲ニ營業稅ガ起り、且増稅サレタノアリマスが故ニ、軍備ニ縮少サレル今ノ場合ニ於テハ、全廢デナクシテ、吾々ハ輕減サレルガ本當デアル思ヒマス、若シ軍備ノ全廢ヲサレル時ニハ、營業稅亦全廢サレテ可ナリト信ズルノデアリマス、而シテ私ハ十五億圓ノ豫算ニ、僅カ七千万圓位ノ營業稅ノ廢稅ヲスルノハ何モナイト云フ、議論デアリマス、又軍縮ニ依デ三億圓以上ノ金ガ餘ルカラ、之ニ依テ營業稅ヲ全廢セヨト云フ實業社會ノ輿論デアリマス、併ナガラ是ハ政治ニ疎キ、財政ヲ知ラナイ所ノ實業者デアルカラ斯様ナ事ヲ言フノアリ、十五億圓ノ豫算ハ、一千万圓ノ教育資金スラ出スコトガ出來ナイ所ノ緊縮シタル所ノ豫算デアル、且又軍縮ニ依リマシテ——吾々ハ尙ホ調査申テアリマスガ、是モ約一億圓程シカ無イノデアリマスカラ、我黨ハ治水モヤラナケレバナラヌ、教育費ニモ之ヲ増サナケレバナラヌ、而シテ其殘リヲ營業稅ニ貰テ丁度宜イモノト思シテ、私ハ全廢說ニ反對シテ、若シ國庫ニ餘裕ガ有リマスナラバ、全廢ヲ希望シ、餘裕ノ無い場合ニ於テハ輕減說ヲ私ハ主張スルノデアル、殊ニ此院内閣全廢說ノ如キモノ述ブルコトハ、甚ダ慎シニ貰ヒタイト思フノアリマス、何故ナラバ知ラナイ所ノ實業家ガ全廢說ヲ唱ヘテ居レニ、之ニ共鳴スレバ政府ガソレヲ行ハサル時ニ於テハ、其政府ハ惡い政府トナルサウデハナイ實際ニ吾々ハ御互ニ豫算ノ審議權ヲ持チ、私豫算ヲ知テ居ルノデアルカラ、茲ニ輕減說ニ止メテ置クノアル、全廢ニ共鳴スルコトハ所謂煽動政治家ナルノアリマス、丁度大隈内閣ノ以前山本内閣ノ時ニ、憲政會ノ諸君カ吾々同業者ヲ約一千人ハ許リ東京ニ集メテ、而シテ我黨一度内閣ヲ組織スルトキハ、營業稅ハ全廢シテヤルト云フコトヲ明ニ言ハレタノデアル、ソレカラ營業稅ト云フモノハ惡税デアルト云フコトヲ吾々ハ初テ知テ、之ニ共鳴シタノデアル、所ガ憲政會内閣が出來マスト、其事ヲバ吾々ガ申込ミマスト、現ニ武富君尾崎君ト吾々ハ演説シテ巡タノデアル、長ク一絆ニ運動シタノデアル、サウシテ内閣ノ出來マシタ時ハドウデアリマスカラ、サウシテフ事ハクロリト忘レタヤウナ頃シテ出來ナイト言ハレタ（拍手）即チ憲政會ハ營業稅ニ對シテ一枚舌ヲ使ハレタノデアル、遠キ將來ニ憲政會内閣ガ出來テ、營業稅全廢ヲ行ハレタナラバ、免モ角モ、又實行不可能ナトキニハ四枚舌トナリマスカラ、此私ノ改正案位ニ、罪滅シノ爲ニ御賛成ヲ願ヒタノデアリマス（拍手）○議長（奥繁三郎君）本案ニ付テ質疑ノ通告ガアリマス、作間耕逸君

（作間耕逸君登壇）

○作間耕逸君 本案ハ建議案デアリマスルケレドモ、政友會中ノ有力ナル竹上藤次郎君外二十一名ノ御提案アリ、之三同黨ノ有力ナル議員數十名署名シテオ井田アリマスカラ、私ハ本案ヲ以テ政友會ノ營業稅改正案トシテ之ヲ認諾スノデアリマス、而シテ他ノ國民黨、並憲政會、並ニ庚申俱樂部ノ意見ヨリ後レテ、後カラ出サレテ參ラレマシタケマス

○武藤金吉君 緊急動議ヲ出シテ居リマス
○議長（奥繁三郎君）議長ノ宣告ガ早ウゴザイマス
○鈴木錠藏君 本案ハ大閭有造君外二十九名提出、軍備縮少ニ基因シテ生ズベキ失業勞働者ノ善後ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレント

タル竹上君ハ大ニ氣焰ヲ吐カレマシタガ、其内容ノ疑義ノ全廢ヲサレル時ニハ、營業稅亦全廢サレテ可ナリト信ズルノデアリマス、而シテ私ハ十五億圓ノ豫算ニ、僅カ七千万圓位ノ營業稅ノ廢稅ヲスルノハ何モナイト云フ、議論デアリマス、又軍縮ニ依デ三億圓以上ノ金ガ餘ルカラ、之ニ依テ營業稅ヲ全廢セヨト云フ實業社會ノ輿論デアリマス、併ナガラ是ハ政治ニ疎キ、財政ヲ知ラナイ所ノ實業者デアルカラ斯様ナ事ヲ言フノアリ、十五億圓ノ豫算ハ、一千万圓ノ教育資金スラ出スコトガ出來ナイ所ノ緊縮シタル所ノ豫算デアル、且又軍縮ニ依リマシテ——吾々ハ尙ホ調査申テアリマスガ、是モ約一億圓程シカ無イノデアリマスカラ、我黨ハ治水モヤラナケレバナラヌ、教育費ニモ之ヲ増サナケレバナラヌ、而シテ其殘リヲ營業稅ニ貰テ丁度宜イモノト思シテ、私ハ全廢說ニ反對シテ、若シ國庫ニ餘裕ガ有リマスナラバ、全廢ヲ希望シ、餘裕ノ無い場合ニ於テハ輕減說ヲ私ハ主張スルノデアル、殊ニ此院内閣全廢說ノ如キモノ述ブルコトハ、甚ダ慎シニ貰ヒタイト思フノアリマス、何故ナラバ知ラナイ所ノ實業家ガ全廢說ヲ唱ヘテ居レニ、之ニ共鳴スレバ政府ガソレヲ行ハサル時ニ於テハ、其政府ハ惡い政府トナルサウデハナイ實際ニ吾々ハ御互ニ豫算ノ審議權ヲ持チ、私豫算ヲ知テ居ルノデアルカラ、茲ニ輕減說ニ止メテ置クノアル、全廢ニ共鳴スルコトハ所謂煽動政治家ナルノアリマス、丁度大隈内閣ノ以前山本内閣ノ時ニ、憲政會ノ諸君カ吾々同業者ヲ約一千人ハ許リ東京ニ集メテ、而シテ我黨一度内閣ヲ組織スルトキハ、營業稅ハ全廢シテヤルト云フコトヲ明ニ言ハレタノデアル、ソレカラ營業稅ト云フモノハ惡税デアルト云フコトヲ吾々ハ初テ知テ、之ニ共鳴シタノデアル、所ガ憲政會内閣が出來マスト、其事ヲバ吾々ガ申込ミマスト、現ニ武富君尾崎君ト吾々ハ演説シテ巡タノデアル、長ク一絆ニ運動シタノデアル、サウシテ内閣ノ出來マシタ時ハドウデアリマスカラ、サウシテフ事ハクロリト忘レタヤウナ頃シテ出來ナイト言ハレタ（拍手）即チ憲政會ハ營業稅ニ對シテ一枚舌ヲ使ハレタノデアル、遠キ將來ニ憲政會内閣ガ出來テ、營業稅全廢ヲ行ハレタナラバ、免モ角モ、又實行不可能ナトキニハ四枚舌トナリマスカラ、此私ノ改正案位ニ、罪滅シノ爲ニ御賛成ヲ願ヒタノデアリマス（拍手）○議長（奥繁三郎君）本案ニ付テ質疑ノ通告ガアリマス、作間耕逸君

（作間耕逸君登壇）

○作間耕逸君 本案ハ建議案デアリマスルケレドモ、政友會中ノ有力ナル竹上藤次郎君外二十一名ノ御提案アリ、之三同黨ノ有力ナル議員數十名署名シテオ井田アリマスカラ、私ハ本案ヲ以テ政友會ノ營業稅改正案トシテ之ヲ認諾スノデアリマス、而シテ他ノ國民黨、並憲政會、並ニ庚申俱樂部ノ意見ヨリ後レテ、後カラ出サレテ參ラレマシタケマス

○武藤金吉君 緊急動議ヲ出シテ居リマス
○議長（奥繁三郎君）議長ノ宣告ガ早ウゴザイマス
○鈴木錠藏君 本案ハ大閭有造君外二十九名提出、軍備縮少ニ基因シテ生ズベキ失業勞働者ノ善後ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレント

（「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君）鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、只今貴族院ヨリ借地

借家調停法案が回付サレマシタ、日程第六十五、第六十

六ハ提出者同一ナルニ依リ、一括議題ト致スニ御異議アリ

監イタノデアリマス、貴族院ニ於テ之ヲ修正致シマシタノハ、決シテ辯護士ノ地位ニ對シテドウノ斯ウト云フノデハナイノデアリマス、矢張素人ハ素人ニヤラセル場合ガ多イノニアリカラ、ソレヲ元ニスル方ガ宜カラウト云フ意見デアリマス、此原案ノ規定モ當事者ガ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テ代理人ヲ出ス時ニ於テハ、其當事者ガ許可ヲ得ロト云フノニアリマシテ、辯護士ノ此事件ニ携ハルコトガ、事件ノ妨害ニナルト云フ考ハ毛頭無イノアリマス、サウ云フ意見ハ貴族院ニ於テハ一言モ出テ居ナイノアリマス、サウ云フ次第アリマシテ、是ハドチガ宣カラウカト云フ位ノ程度デ、ドチニシタ方が簡単デアラウカト云フ位ノ程度ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論私ハ此案ノ趣旨ハ何所ニ在ルカト言ヘバ、固ヨリ多クノ場合ニ於テ此素人デ済ム事ハ済マセタイ、而シテ是ハ此衆議院ノ委員會ニ於テモ申上ダタ通リニ、若シ此訴訟業者ト云フ者ガ茲ニ携ハルコトニナシテハ、甚ダ積白クナイカラト云フコトガ、此代理人許可ニ付テノ規定ヲ置イタ所ノ以テアリマス、ソコデ此事件ニ付テ代理人ヲ本人ガ必要トシテ出ス場合ニ於テ、辯護士ヲ代理人トスルト云フコトニナレバ、私ハ原則トシテノレハ勿論本人ニ許可スル積リデアリマスト云フコトニ、實際ノ運用ヲヤリタイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯特ニ許可ノ事ニ付テ考ヘナケレバナラヌコトハ通常ノ代理ノ代理入アル(即チ辯護士以外ノ代理人ニ付テ是ハ注意シナケレバナラヌ、本人ガ既ニ辯護士ニ願ラナケレ

續ヲ始メル場合ニ於テハ、別段司法當局ニ於テ何トモ言ハズニ置イテモ、裁判所ハ之ヲ許スト恩ノアリマス、許スト云フノハ本人ニ許スノデ、辯護士ニ許スト云フノデハナイ、サウ云フ次第アリマスカラ、辯護士ヲシテ代理人トスルト云フコトハ通常行ハレテ、裁判所ニ於テモ之ヲ無條件デ許可セシムルト考ヘテ居ルノデアリマス、ドウカ其點ハ能タ御了承ヲ願ヒタイノアリマス○中西六三郎君 本案ニ付テ貴族院ガ本院ノ議決ニ修正ヲ加ヘテレタコトヲ遺憾ト致シマスルガ、サリナガラ吾等ハ本案ノ成立ヲ希望スルカ爲ニ、此際貴族院ノ修正ニ同意致シマシテ(ノウ)其可否ハ暫ク他日ノ實驗ノ上ニ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、此際ハ此修正ニ同意ヲ致シマス

○議長(奥繁三郎君) 起立多數、仍テ貴族院修正ニ同意スルニ決シマシタ尙ホ一件ハ感化法中改正法律案ノ第1讀會ヲ開キマス、小橋内務次官

〔賛成者 起立〕

〔賛成者 起立〕

〔賛成「反対」富徳ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 討論ノ通告ガアリマセヌカラ、採決致シマス、借地借家調停法案ノ貴族院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤラ御詔リ致シマス、貴族院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

感化法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
第五條第一號中「十八歲」ヲ「十四歲」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ加フ
四 少年審判所ヨリ送致セラレタル者
第六條中「第三號」ノ下ニ又ハ第四號ヲ加フ
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條第一號ニ規定スル地方長官ノ權限ハ少年法ニ依ル保護處分ノ實施セラレタル地區ニ限り、仍從前ノ例ニ依ル

(政府委員小橋一太君登壇)

○政府委員(小橋一太君) 本改正案ハ至シテ簡單ナモノデアリマシテ、襄ニ提案セラレタル少年法ノ制定ト相應ジテ感化院法ヲ改正スル必要ガアルノデ改正スルノアリマス、即チ少年法ニ於テハ十四歳以上十八歳未満ノ少年ニシテ刑罰法令ニ觸ルル行爲ヲナシ、又ハ其處アル者ノ少年法ニ於テ保護處分ヲ行フコト、ナリマシケル結果トシテ、感化院ニ於テハ十四歳未満ノ者ヲ原則トシテ收容スルト云フコト、少年審判所ニ於テ審判セラレタル者中ニ於テ、感化院ニ送り來タル場合ニ、之ヲ感化院ニ收容シ得ルノ途ヲ設ケタルノ一點ニアリマス、極ク簡単ナル改正ニアリマス、慎重御審議ノ上御協賛アランコトヲ望ミマス(拍手)○議長(奥繁三郎君) 右議案ノ審査ヲ付託スペキ委員ノ選舉ヲ議題トシマス

○鈴木錠藏君 本案ハ上島益三郎君提出、家産法案外八件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動訴ニ御異議ナシト認ム、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六十八、硫化染料輸出獎勵ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス

○鈴木錠藏君 本案ハ永屋茂君外二名提出、巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外十三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認ム、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六十八、硫化染料輸出獎勵ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス——金光庸夫君

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
八件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動訴ニ御異議ナシト認ム、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六十七、家祿賞典祿給與未濟額給與ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——秋亮君

第六十七 家祿賞典祿給與未濟額給與ニ關スル建議案(秋亮君外五名 提出)

家祿賞典祿給與未濟額給與ニ關スル建議案

政府ハ速ニ明治三年九月十日憲制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者ニシテ明治九年太政官第百八號布告及同年太政官第百五十二號布告ヲ施行スル迄ノ間ニ於テ之ヲ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサル者若ハ相當額給與ニ不足アル者ニ對シ明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法及明治三十二年法律第八十四號スル公債證書ヲ以テ之ヲ給與スヘキ法律案ヲ制定シ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第六十八 硫化染料輸出獎勵ニ關スル建議案(金光庸夫君提出)

硫化染料輸出獎勵ニ關スル建議案

政府ハ硫化染料製造業者ニ對シ其ノ製造ニ係ル硫化染料ヲ外國ニ輸出スルコトヲ獎勵スル為左記各項ノ趣旨ニ基づ法律案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

一 輸出ニ係ル硫化染料ニ對シテハ獎勵金ヲ交付スルコト

二 輸出ニ係ル硫化染料ノ原料トシテ使用セシ石炭

右建議ス

○金光庸夫君 極テ簡單ニ當席ヨリ説明シマス、硫化染料ノ製造事業ハ最近數年間に於キマシテ、非常ナル發達ヲ致シマシテ、内地ノ需要ヲ充シ、尙ホ海外ニ輸出スルコト六百万斤ノ多キニ達シ、益々販路ノ擴張ヲ見シタル時ニ方リマシテ、獨逸ヤ米國ノ商品が支那市場ニ於テ我國ノ製品ヲ驅逐セントシテ非常ナル大競爭申ニアルノアリマス、サウシテ我が硫化染料者ハ非常ナル困憊ニ陥テ居ルノアリマス、然ルニ此硫化染料ノ原料品ハ火薬ノ硝石等モ含シ居リマス、火藥ノ爆發ヲ防ぐ所ノ安定架タル「チエニ」等ヲ使

用スルノデアリマスカラ、此染料製造業ヲ存續セシムルトキハ、一朝有事ノ際ニ於テ軍需品トシテ之ヲ利用スルコトガ出来マスカラ軍備縮小ノ標語タル經濟の軍備ノ意義ニモ最モ適應スルノデアルト思ヒマス、隨テ硫化染料ノ輸出ニ對シテ獎勵法ヲ設クルト云フコトハ大ニ意義アルコトデアリマス、是レ本案ヲ提出シタル理由デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ山邊常重君提出、印紙稅法中改正法律案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成〕〔賛成〕ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第十九、古社寺保存法改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス——本下謙次郎君

第六十九 古社寺保存法改正ニ關スル建議案(本下謙次郎君外五名提

古社寺保存法改正ニ關スル建議案(本下謙次郎君外五名提)

○木下謙次郎君 當席ヨリ申上ダマス、本日ハ時間カ甚ダ切追致シテ居リマスカラ、私ハ議長ノ御許ヲ得テ私ノ説明材料ヲ速記錄ニ掲載スルコトニ依テ、私ハ演説ヲ省略シタイト考ヘマス

〔参考照〕
古社寺保存法制定以來今日ニ至ル二十七年間ニ於テ當局ノ熱心ナル努力ニカカハラズ建造物並ニ國寶類ノ修理ヲ終ヘタルモノ全體ノ三分一ニ達セズ今後修理ヲ要スルモノ建造物ニ於テ七百二十棟國棟ニ於テ四千四百七十八點之ニ要スル費用二千三百六十八万二千四百圓ノ多キニ達ス現行法十六條ノ(理由書三十二條トアルハ誤リナリ此機會ニ訂正ス)年額二十萬圓ヲ以テコレ支辨セントセバ今後百二十年ノ歲月ヲ要スルコトナルベシ尤モ此中ヨリ二割内外ヲ社寺ノ寄附ニ待ツモノト

モノトセバ其間頽敗朽腐救治スペカラザルモノ少ナカラズ二千數百万圓ニ對シ年二十萬圓ノ保護ハ一滴ノ水ヲ以テ大干之痛苦ヲ救ハントスル如キモノニテ其目的ヲ達スルコト至難ト云フノ外ナシ政府ハ速ニ右第十六條ヲ改正シ適度ノ増額ヲナシ法律ノ目的ヲ貫徹スルコトニ努メラレンコトヲ望ムモノナリ

官報號外 大正十一年三月二十三日 案議院議事速記錄第三十三號

古社寺保存法改正ニ關スル建議案(櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案)

一部ノ論者中ニハ生産ニ直接關係ナキ開事業トシテ經費ノ支出ヲ拒否セントスルモノガアリマス此等ノ論者ハ日本ニ於ケル東洋古美術古工藝ノ位置ニ付テ一顧ヲ與ヘラレンコトヲ希モノナリ御承知ノ通り支那ハ美術工藝ニ於テハ古來我國ノ先覺者ノ位置ナルニ拘ハラズ種々ノ原因主トシテ歷代戰亂ノ禍ト綱紀弛廢ノ結果ニヨリ一切ノ藝術殆んど壞滅ニ歸シ或ハ外國ニ流入シ其ノ頽敗悽惨ノ狀語ルニ堪ヘザル有様アリマス從テ東洋ノ古美術ハ獨リ日本ニ於テコレヲ見ルヲ得ルノミ則チ日本ニ於テコレヲ見ルヲ得ル所以ノモノハ日本が萬世一系ノ帝治ニ居リ支那ノ如ク歴朝ノ革命毎ニ前代ノ文物ヲ破壊シ盡スノ不祥事ニ逢著セザリシト今一ヶハ古ヨリ朝廷ノ古美術ニ對スル保護が相當ニ行屆キ居リシコトニ歸セザルベカラズ現ニ奈良朝時代ニ於ア社寺ニ資財帳ヲ備ヘシメ朝廷ノ監督ノ下ニ置カレシコトヨリ見ルモ現行古社寺保存法ノ淵源スルトコロ遠シト云フベシデアリマス此クシテ星移り物換爾幾千年ノ秋ニ耐ヘ世界ニ比肩スペキモノナキ我法隆寺ノ壯麗大觀ニ對シ人誰レカ感激ノ情ナカラニヤ續テ平安時代藤原時代鎌倉桃山江戸時代ヲ經テ明治大正ノ今日ニ至ル或ル時ハ莊麗典雅或時ハ豪華雄大、或ル時ハ優美精巧各時代ノ精神ヲ表彰シ蔚然トシテ東洋美術ノ大系ヲナセリ是豈我國體ノ精華ヲ語ル一端ナラズヤ誰レカ我國ニ於ケル古美術ノ保護が國民思想ノ涵養ニ裨益ナシト云ヒ得ルモノノ歐洲各國が各自ノ(ナシヨナルモニユーメント)ノ保護ニ熱中セルコトハ云フマデモナク一切ヲ破壊セント試ミツ、アル露西亞ノ現政府スラモ例ノ赤大根ノ議論ニヨリ専門家ヲ雇用シテ古藝術ノ保護ヲ試ミツ、アリト云フ亦夕印度政府ノ(アーケヲルジカルデパートメント)ノ組織ノ如ク本案實際上ノ參考資料トスルニ足ラント信ジマス大體以上ノ理由茲ニ本建議ヲ提出シ滿場ノ御賛成ヲ乞フ

○議長(奥繁三郎君) イヤ見ナイデハ許シマセヌ
○木下謙次郎君 尚ホ一言申上ゲテ置キマスルコトハ、皆様ノ御手許ニ廻テ居リマスル提案ノ理由書ノ中ニ現行法〔第十一條〕トアリマスノハ「第十六條」ノ誤リデアリマスカ
〔此際訂正ヲ致シテ置キマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス(拍手)〕
○鈴木錠藏君 本案ハ高草美代藏君提出、櫻原神宮第一期宮城擴張及建物修築ニ關スル建議案外十三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成〕〔賛成〕ト呼フ者アリ
○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第七十一、四日市關ケ原本ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、天春文衛君

○大道寺慶男君 極ク簡単デスカラ、此席カラ説明致シマス、本鐵道ハ既成線デアリマスル奈良ノ櫻井驛カラ伊賀ノ南部ヲ通過致シマシテ、三重縣松坂驛ニ連絡スル線路デアリマス、此速成建議案ハ前年來既ニ二回本院ヲ通過シテ居ルモノデアリマスカラ、理由ノ詳細ハ説明ヲ省略致シマス、免ニ角我が鐵道網中第一ニ著手スベキ必要ノ線路デアルトセテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾間電力鐵道延長ニ關スル建議案外二十五件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成〕〔賛成〕ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第七十一、四日市關ケ原本ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、天春文衛君

第七十 櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案(大道寺慶男君外六名提出)

櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案(大道寺慶男君外六名提出)

櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案(大道寺慶男君外六名提出)

本鐵道ハ關西線四日市驛ヨリ東海道線關ケ原本驛ヲ經由シテ北陸線木ノ本驛ニ達スル線路ニシテ本州中部ニ於ケル太平洋ト日本海トノ聯絡接續スル最短距離ノ横斷線ニシテ三重岐阜滋賀ノ三縣ニ涉ル沿道ノ富源ヲ開發シ國家產業政策上ニ資スルコト多ナルミナラス四日市港ト敦賀港ノ接觸ヲ保チ延テ浦鹽方面元山方面ノ交通ヲ盛ニシ更ニ軍事國防上一日ヲ緩フスヘカラサ

四日市關ケ原本ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案(成ニ關スル建議案(天春文衛君外三名提出))

成ニ關スル建議案(天春文衛君外三名提出)

本鐵道ハ關西線四日市驛ヨリ東海道線關ケ原本驛ヲ經由シテ北陸線木ノ本驛ニ達スル線路ニシテ本州中部ニ於ケル太平洋ト日本海トノ聯絡接續スル最短距離ノ横断線ニシテ三重岐阜滋賀ノ三縣ニ涉ル沿道ノ富源ヲ開發シ國家產業政策上ニ資スルコト多ナルミナラス四日市港ト敦賀港ノ接觸ヲ保チ延テ浦鹽方面元山方面ノ交通ヲ盛ニシ更ニ軍事國防上一日ヲ緩フスヘカラサ

官報號外 大正十一年三月二十三日 案議院議事速記錄第三十三號

古社寺保存法改正ニ關スル建議案(櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案)

本鐵道ハ關西線四日市驛ヨリ東海道線關ケ原本驛ヲ經由シテ北陸線木ノ本驛ニ達スル線路ニシテ本州中部ニ於ケル太平洋ト日本海トノ聯絡接續スル最短距離ノ横断線ニシテ三重岐阜滋賀ノ三縣ニ涉ル沿道ノ富源ヲ開發シ國家產業政策上ニ資スルコト多ナルミナラス四日市港ト敦賀港ノ接觸ヲ保チ延テ浦鹽方面元山方面ノ交通ヲ盛ニシ更ニ軍事國防上一日ヲ緩フスヘカラサ

○伊坂秀五郎君 天巻君ガ銀座アリマスカラ、併テ本
案提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ三重縣ノ四日市ヨリ
滋賀縣ノ木ノ本ニ遠スル鐵道敷設ニ關スル速成ノ建議案
デアリマス、本案ハ豫て本會ニ於テモ通過ヲ致シテ居リマス
ル關係モアリマスカラ、何卒先例ニ從テ満場ノ諸君ノ御賛
成アランコトヲ望ミマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾
間電力鐵道延長ニ關スル建議案外二十六件ノ委員ニ併
セ付託セラレントコトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」ノ聲起ル〕
○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマサ――日程第七十二、東京神戸
間高架度交通機關設備ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、
櫻内幸雄君

第七十二 東京神戸間高架度交通機關設備ニ關スル建議案
〔君外三名提出〕
東京神戸間高架度交通機關設備ニ關スル建議案
乗客ノ滿員貨物ノ過滞ヲ告ケツアリ若現狀ニ放往々
ムカ國運ノ進展ニ伴ヒ日ニ交通ノ頻繁ヲ加フルニ從ヒ
遠カラス其ノ運輸ニ支障ヲ來スハ明ナルトコロナルニナ
ラス全國ニ於ケル鐵道ノ延長並增設ハ勢ヒ鐵道線路ノ
中権タル本線ニ乗客貨物集中スヘキヲ以テ其ノ輸送力
ノ缺乏ハ遠ニ全國鐵道ニ一大障害ヲ招クヘキハ疑ヲ容
レサルトコロナリ故ニ政府ハ速ニ電氣動力ニ據ル高架度
交通機關ノ設備ヲ爲シ從來ノ幹線ニ對スル補助機關ト
シ主トシテ遠距離乗客ヲ運ヒ以テ一般乗客及貨物輸
送ノ圓滑ヲ計ルコト最急務ナリト認ム

右建議ス

○櫻内幸雄君 本案ハ極テ簡單アリマスカラ、當席カラ
御許シフ頗ヒマス、提案ノ趣旨ハ御手許ニ廻シテアリマス
建議案ノ案文ニ詳カアリマスカラ、詳細ノ説明ハ委員會
ニ讀リマシテ皆様ノ御賛成ヲ仰ギタイト思フノアリマス
(拍手) 鈴木錠藏君 本案ハ植場平君外一名提出、片町長尾
間電力鐵道延長ニ關スル建議案外二十七件ノ委員ニ併
セ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――日程第七十三、生絲
〔賛成「賛成」ノ聲起ル〕

第七十三 生絲検査所擴張ニ關スル建議

案(武藤金吉君外一名提出)

生絲検査所擴張ニ關スル建議案
生絲検査所擴張ニ關スル建議案

右建議ス

○武藤金吉君 嘉島ヨリ發言ヲ御許シテ願ヒタイ、横濱
市場ニ於ケル生絲取引ヲ世界共通ノ正量取引ニ改メル
ニ付テ、現在ノ検査所ニ於キマシテハ狹隘ニアリ、且ツ總子
ノ機關カ足リマセヌカラ、之ヲ擴張シケイト云フ希望ノ建議
デアリマス、詳細ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマス、何卒御賛
成ヲ仰ギマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」
外九件ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス

○鈴木錠藏君 本案ハ土井權大君提出農業組合法案
〔賛成「ト呼フ者アリ」
外九件ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナイト
認ム(アリマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七十四、宗教
法制定ノ調査機關設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、
高見之通君)

第七十四 宗教法制定ノ調査機關設置直ニ 關スル建議案(高見之通君外)

宗教法制定ノ調査機關設置ニ關スル建議案
〔君外三名提出〕

アタナラ、速記録ニ載セルコトハ許シマスガ、サモナイ限リハ
二期宮域擴張及建物修築ニ關スル建議案外十四件ノ委
員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス
ケレバ許シマセヌ

○議長(奥繁三郎君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○木下謙次郎君 議事進行ニ付テ發言ヲ望ミマス

〔異議なしト呼フ者アリ〕

○木下謙次郎君 私ハ先刻古社寺保存法ノ改正ニ關ス
ル建議案ノ説明ノ際ニ當リマシテ、私ノ説明材料ヲ速記録
ニ掲載スル事ヲ議長ニ御許シテ願ヒマシタノデアリマスルガ、
議長ハ御許シガナイト云フ御宣告ニ承リマシタノデアリマス
併シ只今議長ノ御話ノ中ニ、檢閱濟ノ上ハ之ヲ許シテモ宜
イト云フ御話ガアタノデアリマスカラ、茲ニ議長ニ御願ヒ致
シマスル事ハ、ドウカ私ノ説明材料ヲ一應御檢閱下サイマシ
テ、問題ガアリマセヌヤウデアリマシタナラバ、議事錄ニ掲載
スルコトヲ御許シテ願ヒタイト考ヘマス

○議長(奥繁三郎君) 宜シウゴザイマス、日程第七十五、
曆法改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、早川龍介君

〔議長(奥繁三郎君) 宜シウゴザイマス、日程第七十五、
曆法改正ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、早川龍介君
期セラレムコトヲ望ム

○議長(奥繁三郎君) 出席デアリマセヌカラシ
ス、本日ノ日程ハ是ニテ議了致シマシタ、明日ハ本會議ハ
カズ、是ハ延バシマス

○鈴木錠藏君 提案者ノ説明ヲ省略シテ宜シイデスナ
ラ、速ニ適當ノ案ヲ立て、此宗教法ト云モノヲ作シテ貴
ハ、宗教法ヲ制定スル爲ニ調査機關ヲ設置シテ戴キタイト
云フノガ目的デアリマス、今日此宗教ニ關スル色々ノ規則
ガアリマスケレドモ、非常ニ不完備アル爲ニ、權利義務
ノ關係ハ如何ニモ不安定ノ狀態ニナシテ居ルノデアリマスカ
ラ、速ニ適當ノ案ヲ立て、此宗教法ト云モノヲ作シテ貴
部選出豫算委員鈴木久次郎君ヨリ、常任委員辭任ノ申
出ガアリマシタ、其部ニ於テ速ニ補缺選舉アランコトヲ望
マス、本日ハ是ニテ散會

〔議長(奥繁三郎君) 出席デアリマセヌカラシ
ス、本日ノ日程ハ是ニテ議了致シマシタ、明日ハ本會議ハ
カズ、是ハ延バシマス

○議長(奥繁三郎君) 川龍介君提出

曆法改正ニ關スル建議案
〔君外三名提出〕

〔議長(奥繁三郎君) 高見君ニ申シマズガ、此議會ニ
テ印刷サレテ居ル多數ノ方が見テゴザルベキ性質ノモノデ
正誤